

小樽市観光入込調査 デジタル技術活用業務 分析結果（総括版）

2025.3.25



Pacific
Consultants

令和6年度 小樽市観光入込調査デジタル技術活用業務

【業務目的】

- 小樽市では、昭和35年度から観光入込客数調査を実施しているが、外国人の日帰り客数や観光客の移動等については把握していない。また、適時性・迅速性に欠け、調査協力施設等（観光地点）の確保が難しいといった課題がある。
- 外国人観光客が増加するなど小樽観光を取り巻く状況は変化しており、データ分析に基づく「打ち手」を検討する必要があることから、本業務においては、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準（令和5年改訂版）」の調査要領に準じ、GPS人流データを活用し多サンプルに基づく来訪者（国内・外国人）の把握を目的とする。
- また、小樽市がこれまで実施してきた観光入込客数調査をGPS人流データを使用した調査に切り替える場合の両者の結果の違いの傾向を把握するとともに、GPS人流データを用いる際の観光入込客の定義や、観光入込客の移動元・移動先分布に係るデータ取得のあり方、観光消費額算定上の観光入込客数（実人数）把握のあり方についての検討も併せて行うことを目的とする。

【調査対象地】 小樽市全域のほか、以下の8エリア

- ① **中心部エリア** : 稲穂、花園、色内1・2丁目、港町（第3ふ頭除く）、堺町、東雲町、山田町、相生町、入船1・2丁目、住之江、住吉町、若松
- ② **小樽運河** : 小樽運河周辺（運河公園～浅草橋先）
- ③ **祝津・高島・手宮エリア** : 色内3丁目、手宮、高島、祝津
- ④ **天狗山エリア** : 天狗山、最上2丁目
- ⑤ **築港エリア** : 有幌町、信香町、築港（勝納ふ頭除く）
- ⑥ **朝里川温泉エリア** : 新光5丁目、朝里川温泉
- ⑦ **銭函・張碓エリア** : 張碓町、春香町、桂岡町、銭函1～3丁目、見晴町、星野町
- ⑧ **第3ふ頭〈クルーズ〉** : 港町（第3ふ頭のみ）

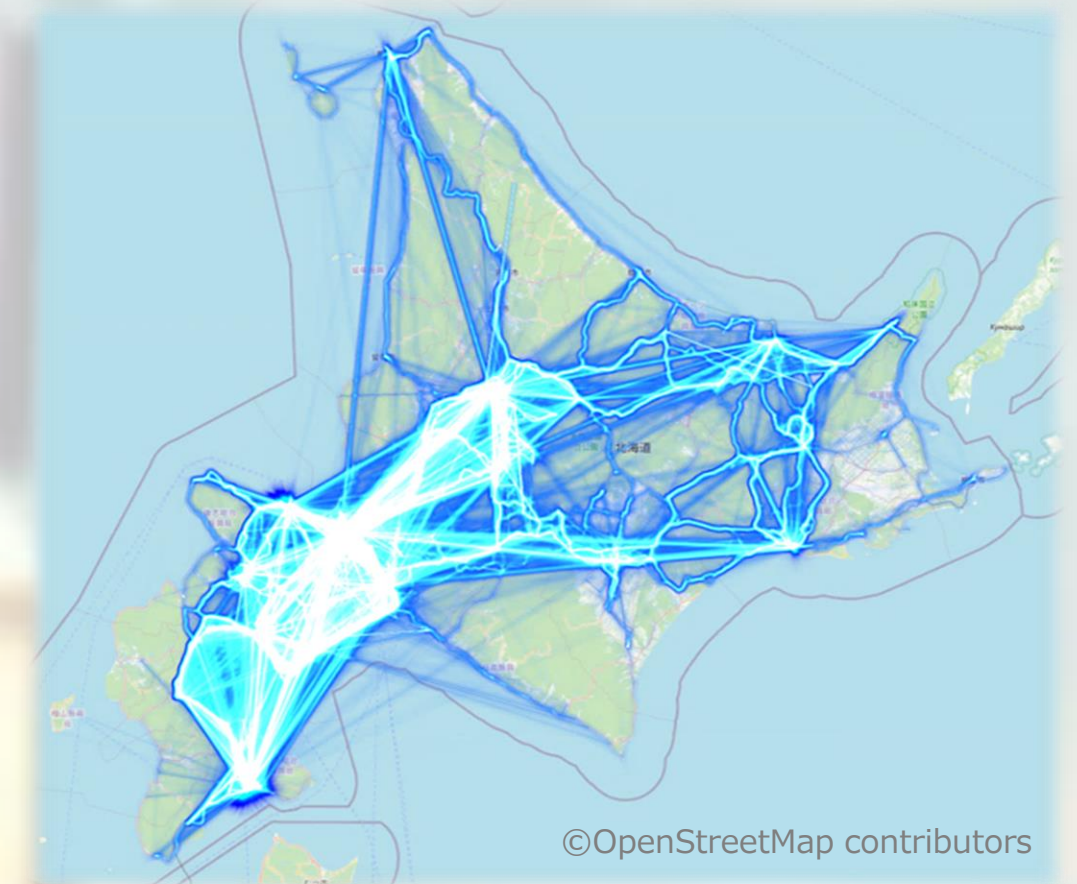


全国インバウンド統計

【網羅性】 24時間365日、全国数千万人のインバウンドの移動を高精度に把握

【機能性】 独自のロジック (特許技術) から、来訪・周遊動向を居住国別や交通手段別に分析

【有用性】 ご要望に応じ可視化・解釈や施策検討まで伴走、真に役立つアウトプットを提供

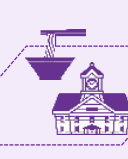


できること

インバウンド携帯端末のGPS位置情報 Powered by  **Azira**™

メニュー

施設来訪分析 

エリア来訪分析 

広域周遊分析 

分析項目

※選択内容によりお見積りいたします。

来訪人数 / 宿泊客数

滞在時間 / 宿泊日数

居住国 (中・露は除く)

交通手段・移動経路

+ オプション ・性別 ・年代 ・拡大推計(居住国別) ・消費スタイル ・集客施策案の検討

ユースケース

観光

- ・各観光地等への来訪状況の把握
- ・in-out空港や周遊ルートの把握
- ・重点ターゲット・ペルソナの検討
- ・プロモーション検討、効果検証 等



交通

- ・二次交通検討・周遊ルート造成
- ・多言語対応コンテンツによる誘客
- ・道路整備効果検討の多角化
- ・交通安全対策検討の強化

商業・不動産

- ・商品仕入・テナント誘致の最適化
- ・ライバル施設等への来客分析
- ・出店候補地への来訪客層把握
- ・開発・不動産投資の重点検討

項 目	内 容
「（日本人）観光客」の定義について	日本人全体から、小樽市民のほか、小樽市に月6回以上来訪している人※および小樽市内が通勤/通学先と判定されている人を除いたもの。 ※「観光入込客統計に関する共通基準（令和5年改訂版）」（以下「共通基準」という）の定義に基づく。
インバウンドの捕捉について	国家体制上、中国人の位置情報は捕捉することができないため、以下の方法で人数の補完を行っている。 ①新千歳空港の出入国管理統計から、「中国人」と「台湾人＋香港人＋韓国人」の比率を算出。 ②人流データにおける「台湾人＋香港人＋韓国人」の合算値に上記比率を掛け合わせ、「中国人」の人数を補完。 ※中国人のほかロシア人の位置情報も捕捉することができないが、統計上無視できる状況にある（新千歳空港の入管統計で約2.5人/日）。
拡大推計について	主に、国別のサンプル率（日本人・インバウンド）、人口統計（日本人）、出入国管理統計（インバウンド）により、国別の拡大推計を実施している（いずれも詳細は非公開）。 なお、拡大推計も含め本頁記載の各種ロジックは、同一業務内で変更されるものではなく、安定性を確保している。
滞在判定について	15分以上 同一の500mメッシュに位置情報が存在した場合に「滞在」、それ以外を「移動」と判定している。 なお、エリアが狭域である小樽運河に限り、5分以上 エリア内に位置情報が存在した場合に「滞在」、それ以外を「移動」と判定している。
宿泊地/居住地判定について	午前2-3時台に最も多く滞在していた地点を宿泊地、数か月間に最も多く滞在していた宿泊地を居住地と判定している。 ※共通基準では「午前4時に滞在していた地点を宿泊地とみなす」としているが、午前4時ちょうどに位置情報を捕捉できるとは限らないため。
交通手段判定について	位置情報の「移動ルート」と「移動速度」により判定を行っており、JR/クルーズ/自動車/徒歩 の4つに分類される。 なお、自転車については走行速度に幅があることから、10km/hを閾値として自動車または徒歩に振り分けている。
個人情報保護について	位置情報から個人が特定されないよう、緯度経度がずらされて記録されることがある。 また、同様の観点から一定の閾値を下回ったデータは秘匿されるが、その可能性は分析項目により異なる。 インバウンドの一例として、「居住地」は国のみで細分化されており秘匿可能性が比較的低いが、「来訪時間帯×周遊先分布」は、国・時間帯・周遊先の掛け合わせとなるため秘匿可能性が高くなる。

入込客数等

小樽市の観光入込客数等（2024年）

● 居住地別の入込客数・宿泊客数

エリア	項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
小樽市全域	観光入込客数	592,513	664,042	549,240	431,169	531,715	633,254	764,602	826,114	658,581	680,940	489,755	763,546	7,585,471
小樽市全域	うち道内	416,719	497,804	380,726	293,194	367,638	480,065	533,240	566,533	456,696	472,713	343,860	543,990	5,353,177
小樽市全域	うち道外(外国人含む)	175,795	166,238	168,514	137,975	164,077	153,189	231,362	259,581	201,885	208,227	145,895	219,557	2,232,294
小樽市全域	うち外国人	106,893	103,775	106,953	82,631	93,596	73,283	152,393	173,698	128,346	119,568	92,152	141,229	1,374,518

エリア	項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
小樽市全域	宿泊客数	67,764	69,826	60,361	53,086	70,332	75,584	87,043	100,479	84,288	71,919	61,606	74,896	877,184
小樽市全域	うち道内	21,457	24,840	24,311	20,848	32,316	33,261	24,150	28,603	24,963	27,448	21,473	25,019	308,689
小樽市全域	うち道外	14,860	13,974	17,213	15,091	21,553	20,399	17,276	21,906	18,844	19,393	14,109	16,352	210,971
小樽市全域	うち外国人	31,447	31,012	18,838	17,147	16,464	21,924	45,617	49,971	40,480	25,078	26,023	33,524	357,524

● エリア別の入込客数

人流データによる入込客数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
来訪判定エリア：小樽市全域	592,513	664,042	549,240	431,169	531,715	633,254	764,602	826,114	658,581	680,940	489,755	763,546	7,585,471
来訪判定エリア：中心部	247,400	267,846	231,329	192,075	229,128	230,327	324,759	348,657	275,252	279,849	201,139	318,332	3,146,092
来訪判定エリア：運河	11,047	16,520	10,152	6,643	11,855	9,241	30,876	30,431	19,798	23,190	12,859	26,159	208,770
来訪判定エリア：祝津・高島・手宮	28,187	31,105	23,884	18,784	25,761	25,462	39,928	41,373	31,188	31,963	21,285	38,427	357,348
来訪判定エリア：天狗山	6,475	6,762	5,847	3,945	5,243	6,348	8,690	9,399	6,929	7,107	4,003	10,113	80,860
来訪判定エリア：築港	43,932	51,387	43,316	32,259	40,476	47,665	62,635	68,617	53,393	53,340	37,869	60,667	595,559
来訪判定エリア：朝里川温泉	21,084	24,735	17,352	14,504	16,490	17,738	24,747	25,395	22,663	21,935	15,691	28,041	250,375
来訪判定エリア：銭函・張碓	70,404	82,651	61,560	46,965	61,594	87,459	87,318	94,208	72,320	77,917	55,533	90,555	888,483

小樽市の観光入込客数等（2024年）

● 入込客数 道内客 ※上位20市町村

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
道内（小樽市除く）	416,719	497,804	380,726	293,194	367,638	480,065	533,240	566,533	456,696	472,713	343,860	543,990	5,353,177
札幌市	304,568	368,500	278,307	214,450	265,278	340,214	382,771	406,058	327,905	338,696	245,355	391,786	3,863,889
石狩市	10,933	12,212	9,530	7,302	9,432	14,655	13,845	14,807	11,481	11,497	9,139	14,762	139,596
余市町	7,775	9,324	7,175	5,689	7,009	24,112	9,956	11,351	9,365	10,364	7,123	11,641	120,883
江別市	9,247	9,915	8,441	6,372	8,134	8,440	11,458	11,948	10,297	10,738	7,969	12,323	115,283
旭川市	7,829	8,793	7,182	5,127	7,226	7,098	9,847	10,850	8,076	8,464	6,443	9,625	96,559
苫小牧市	7,775	9,513	6,635	5,513	6,529	6,926	10,003	10,395	8,603	8,129	6,237	9,327	95,586
函館市	6,317	7,635	6,087	4,086	5,973	6,946	9,668	10,500	8,206	7,657	5,848	9,577	88,499
千歳市	6,438	6,453	5,824	4,086	5,838	5,737	8,580	8,899	6,503	6,816	5,280	7,703	78,157
北広島市	4,839	5,331	4,313	3,095	4,074	5,123	5,842	6,533	5,205	5,259	3,731	6,259	59,603
倶知安町	4,046	5,304	3,548	3,398	3,971	6,013	5,896	5,558	5,676	5,121	3,720	6,479	58,730
恵庭市	4,240	4,525	3,126	2,527	3,280	3,509	5,266	4,942	4,670	4,215	3,302	4,832	48,435
岩見沢市	3,656	4,405	3,034	2,561	3,012	3,723	4,745	5,728	3,868	4,403	3,169	5,137	47,440
帯広市	2,903	3,565	2,612	2,098	2,910	2,732	4,084	4,696	2,717	4,086	2,606	4,181	39,190
釧路市	2,231	2,708	2,038	1,481	2,148	2,440	3,142	3,692	2,603	2,903	2,061	2,973	30,421
岩内町	1,774	2,356	1,609	1,360	1,707	3,119	2,761	2,651	2,279	2,715	1,854	2,675	26,861
室蘭市	1,882	1,903	1,484	1,481	1,868	2,125	2,528	2,434	1,735	2,365	1,587	2,471	23,861
北見市	1,633	1,920	1,411	1,008	1,401	1,488	1,960	2,575	1,905	1,802	1,325	1,977	20,406
登別市	1,572	1,808	1,339	1,124	1,343	1,699	1,820	2,130	1,881	2,006	1,325	2,079	20,126
共和町	1,001	1,388	1,339	980	1,004	2,076	1,719	1,922	1,702	1,769	1,236	1,788	17,926
伊達市	1,425	1,705	1,313	942	1,177	1,719	1,929	1,676	1,249	1,476	1,169	1,326	17,105

小樽市の観光入込客数等（2024年）

● 入込客数 道外客 ※上位20都府県

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
道外（外国人除く）	68,902	62,463	61,561	55,344	70,481	79,906	78,969	85,883	73,539	88,659	53,742	78,327	857,777
東京都	17,376	15,527	15,232	13,589	17,421	20,296	18,675	21,146	17,299	21,435	12,574	18,724	209,292
神奈川県	7,799	6,990	6,780	6,437	8,076	9,276	8,562	9,920	8,689	10,703	6,212	9,100	98,545
大阪府	7,641	7,251	7,286	6,187	7,441	7,521	8,336	8,999	8,675	9,467	5,839	8,515	93,159
埼玉県	5,776	4,984	4,864	4,442	5,818	6,506	6,733	6,847	5,771	6,787	4,353	6,238	69,120
千葉県	5,400	4,777	4,845	4,672	6,106	6,631	6,149	7,123	5,715	7,079	4,084	6,238	68,818
兵庫県	3,822	3,254	3,274	2,679	3,368	3,908	3,990	4,354	3,931	4,333	2,858	4,155	43,926
愛知県	3,348	2,907	3,021	2,867	3,417	3,911	4,296	4,282	3,343	4,597	2,944	3,951	42,884
宮城県	1,546	1,397	1,325	1,246	1,678	1,912	1,877	1,998	1,630	2,031	1,190	1,791	19,621
福岡県	1,356	1,235	1,311	1,111	1,505	1,584	1,481	1,676	1,583	1,812	1,157	1,584	17,396
茨城県	1,225	1,027	1,058	824	1,192	1,412	1,527	1,353	1,190	1,403	929	1,284	14,424
京都府	1,033	1,030	940	820	1,085	1,247	1,219	1,403	1,114	1,271	827	1,237	13,223
静岡県	956	797	1,007	822	1,050	1,130	1,309	1,240	1,099	1,455	855	1,147	12,867
新潟県	830	708	662	700	915	1,000	953	1,015	1,022	1,167	722	926	10,620
青森県	774	688	643	568	725	1,000	1,033	1,005	851	1,069	659	921	9,936
栃木県	709	612	660	612	747	925	964	977	839	1,000	646	856	9,547
福島県	756	688	723	592	755	839	988	802	806	931	617	963	9,460
広島県	585	668	537	610	720	764	773	877	721	920	527	778	8,479
長野県	651	590	590	552	613	705	770	977	774	837	533	789	8,380
群馬県	601	554	549	420	599	735	730	774	597	670	410	591	7,229
奈良県	529	458	465	404	541	622	658	752	659	729	445	588	6,851

小樽市の観光入込客数等（2024年）

● 入込客数 外国人 ※上位20か国

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
外国人	106,893	103,775	106,953	82,631	93,596	73,283	152,393	173,698	128,346	119,568	92,152	141,229	1,374,518
韓国	34,728	35,996	36,193	29,940	37,618	34,062	74,461	88,009	61,076	54,526	40,052	50,051	576,713
台湾	44,759	42,079	48,221	33,898	36,326	26,185	49,478	55,673	46,832	41,229	33,358	51,910	509,949
香港	8,777	8,705	6,211	6,070	8,246	4,485	10,815	10,005	5,193	6,272	5,600	11,239	91,617
中国	5,339	6,443	4,951	3,309	3,171	2,968	7,889	10,649	6,619	6,209	6,120	13,661	77,328
タイ	3,063	3,167	4,969	1,996	1,304	985	2,299	2,723	969	2,282	2,189	4,735	30,681
インドネシア	999	1,173	705	917	1,187	916	1,776	1,030	1,276	1,314	1,044	871	13,206
シンガポール	1,109	983	1,068	608	516	609	975	885	973	1,108	312	2,199	11,345
ベトナム	2,277	910	457	1,147	677	574	690	708	998	1,468	253	753	10,911
オーストラリア	696	798	714	973	688	445	446	496	718	490	452	910	7,827
フィリピン	297	273	536	731	733	289	829	1,032	1,162	494	662	759	7,797
マレーシア	629	882	429	290	525	363	512	187	417	707	354	1,613	6,908
アメリカ	621	371	258	295	250	156	343	245	254	185	149	222	3,349
イギリス	257	268	337	158	136	80	381	179	205	240	200	240	2,679
インド	311	72	510	270	256	156	81	92	168	97	412	180	2,605
ブラジル	227	208	152	134	253	160	227	91	65	160	128	210	2,015
イラン・イスラム共和国	391	290	*	68	258	156	*	92	83	291	*	357	1,987
ドイツ	316	122	103	41	*	24	184	239	94	278	30	147	1,576
フランス	188	192	34	73	*	115	163	136	128	142	85	227	1,484
カナダ	61	155	158	109	61	132	128	104	88	91	154	193	1,433
ニュージーランド	159	148	90	81	170	82	80	175	*	149	98	32	1,263

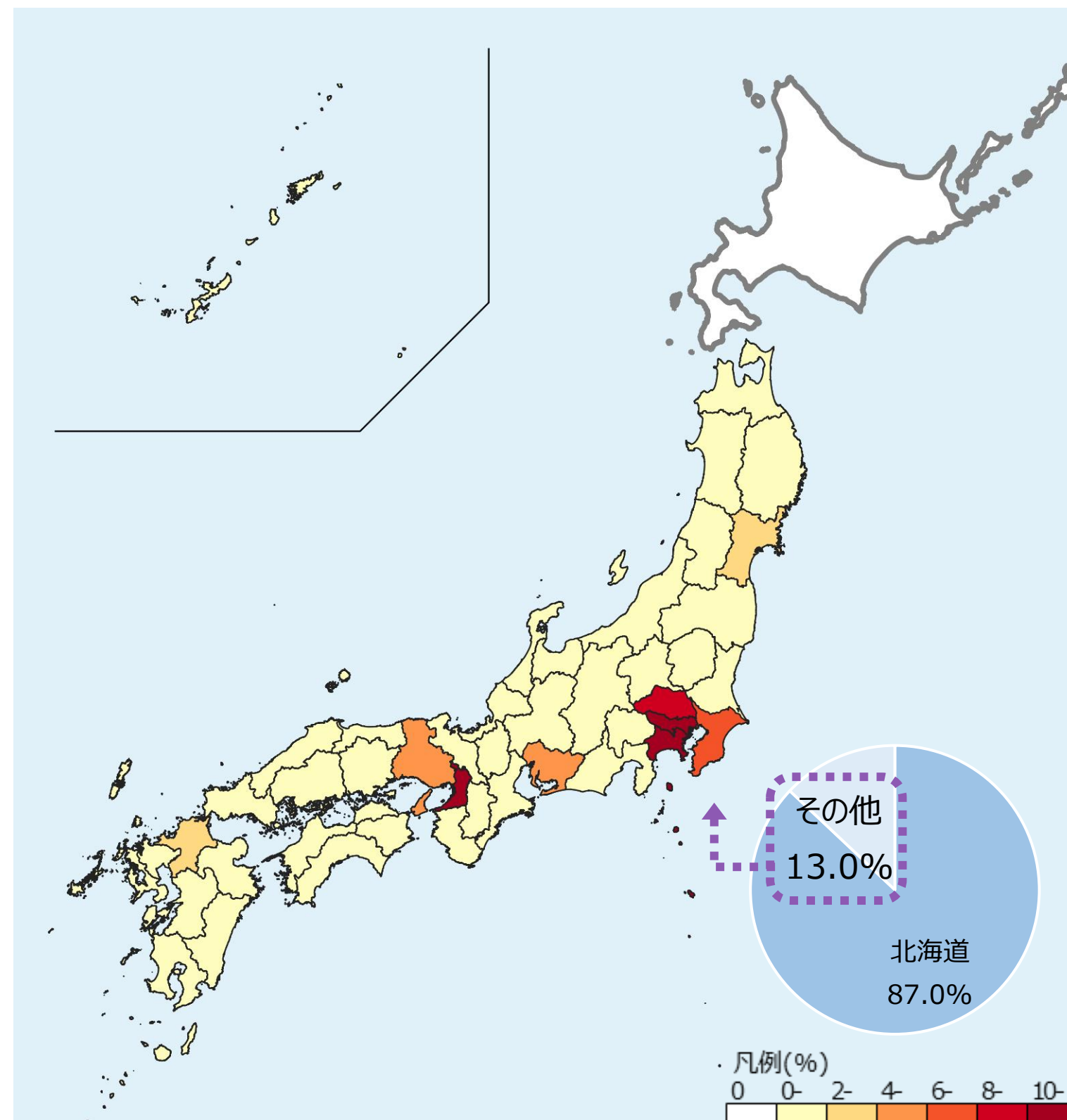
居住地

小樽市全域来訪者の居住地（2024年）

- 道外客は東京・神奈川・大阪からの来訪が特に多い。道内客は道央のほか旭川・函館からの来訪が特に多い。
- インバウンドは韓国が最も多くおよそ4割を占め、次いで台湾・香港が多い。

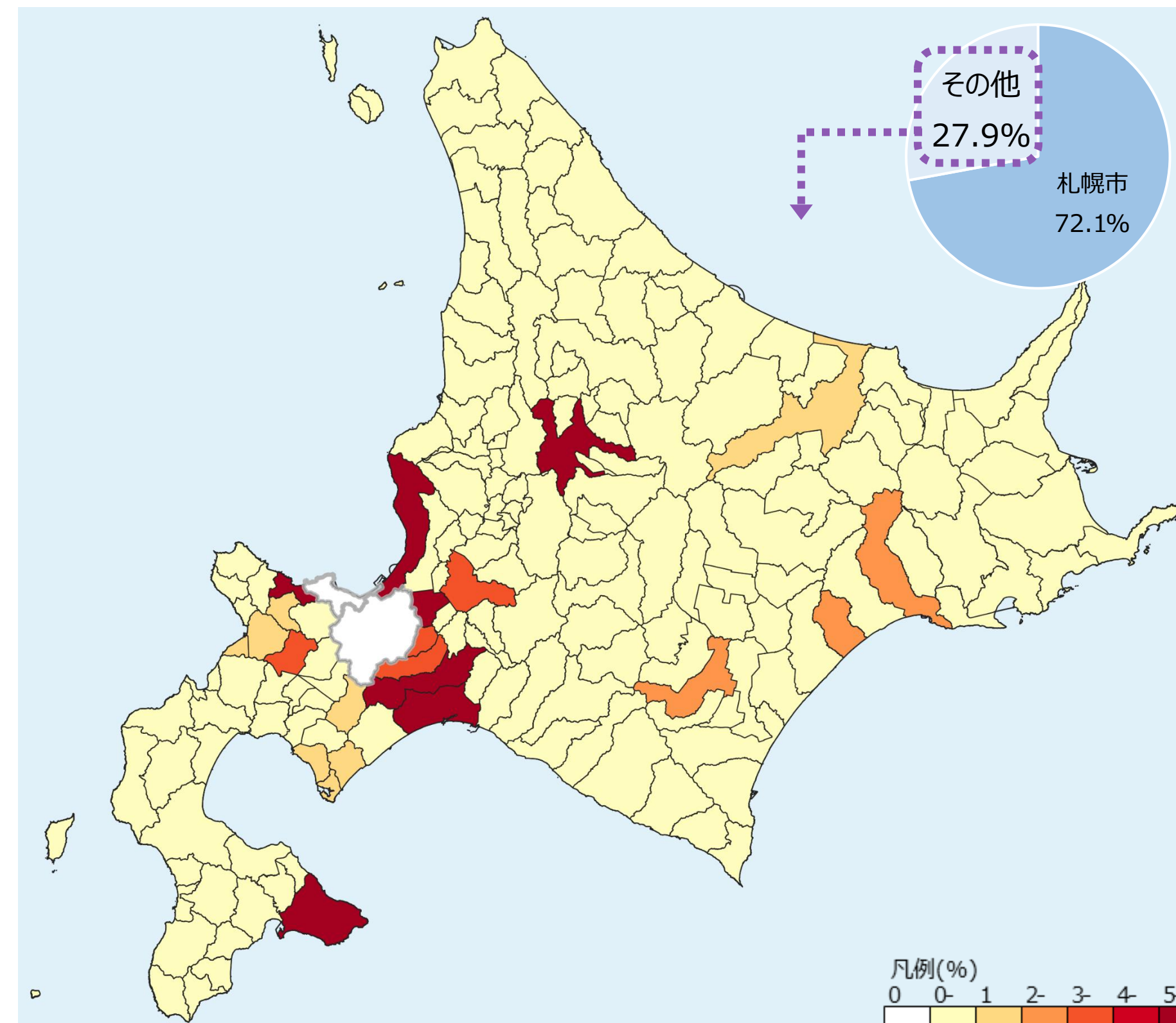
● 居住地（日本人観光客-全国）

道外客2,255.0人、道内客15,049.1人（一日当たり）



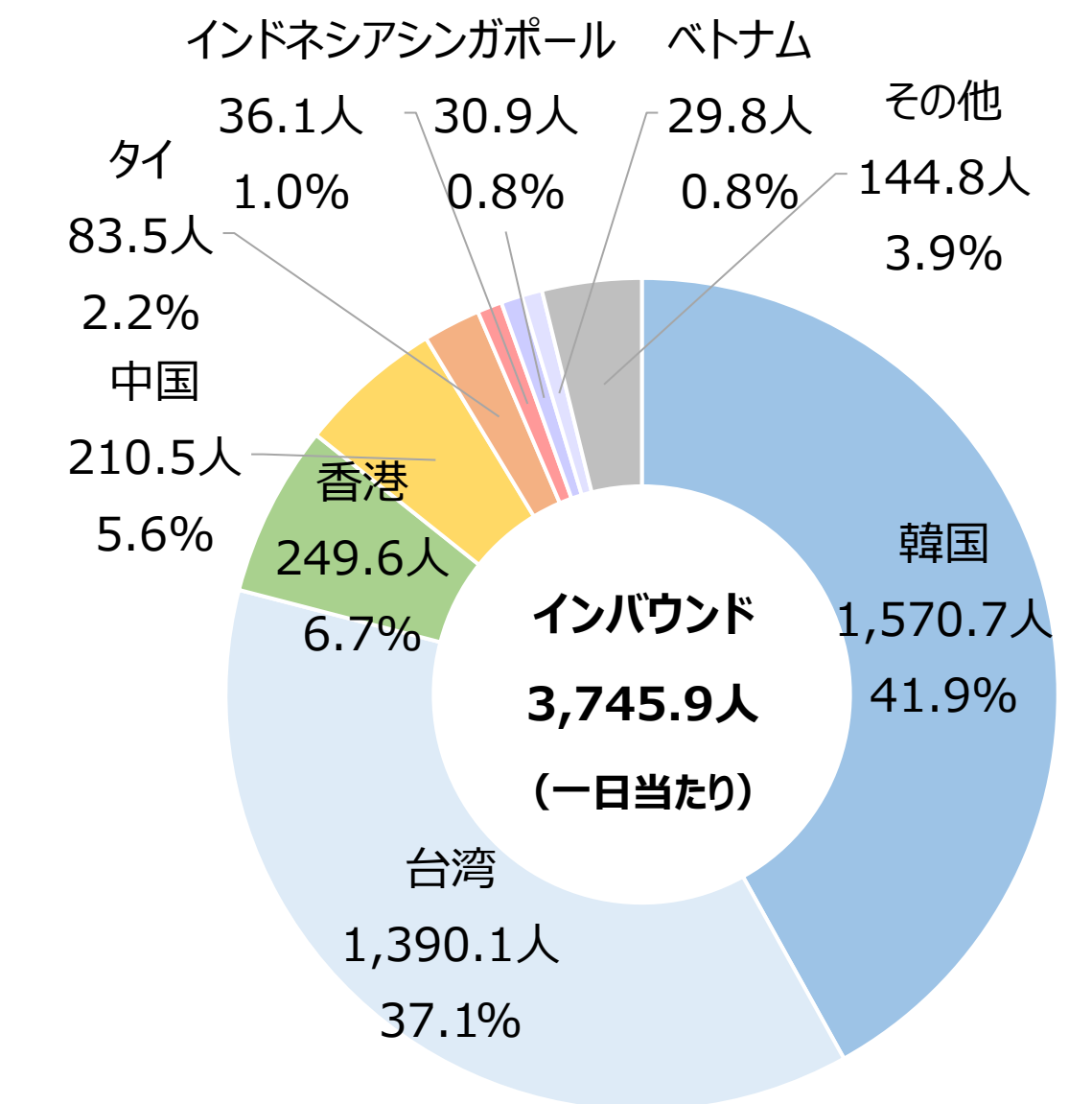
※ヒートマップは、北海道民を除いた全国の合計値を100%としている。

● 居住地（日本人観光客-全道）



※ヒートマップは、小樽市民と札幌市民を除いた全道の合計値を100%としている。

● 居住地（インバウンド）



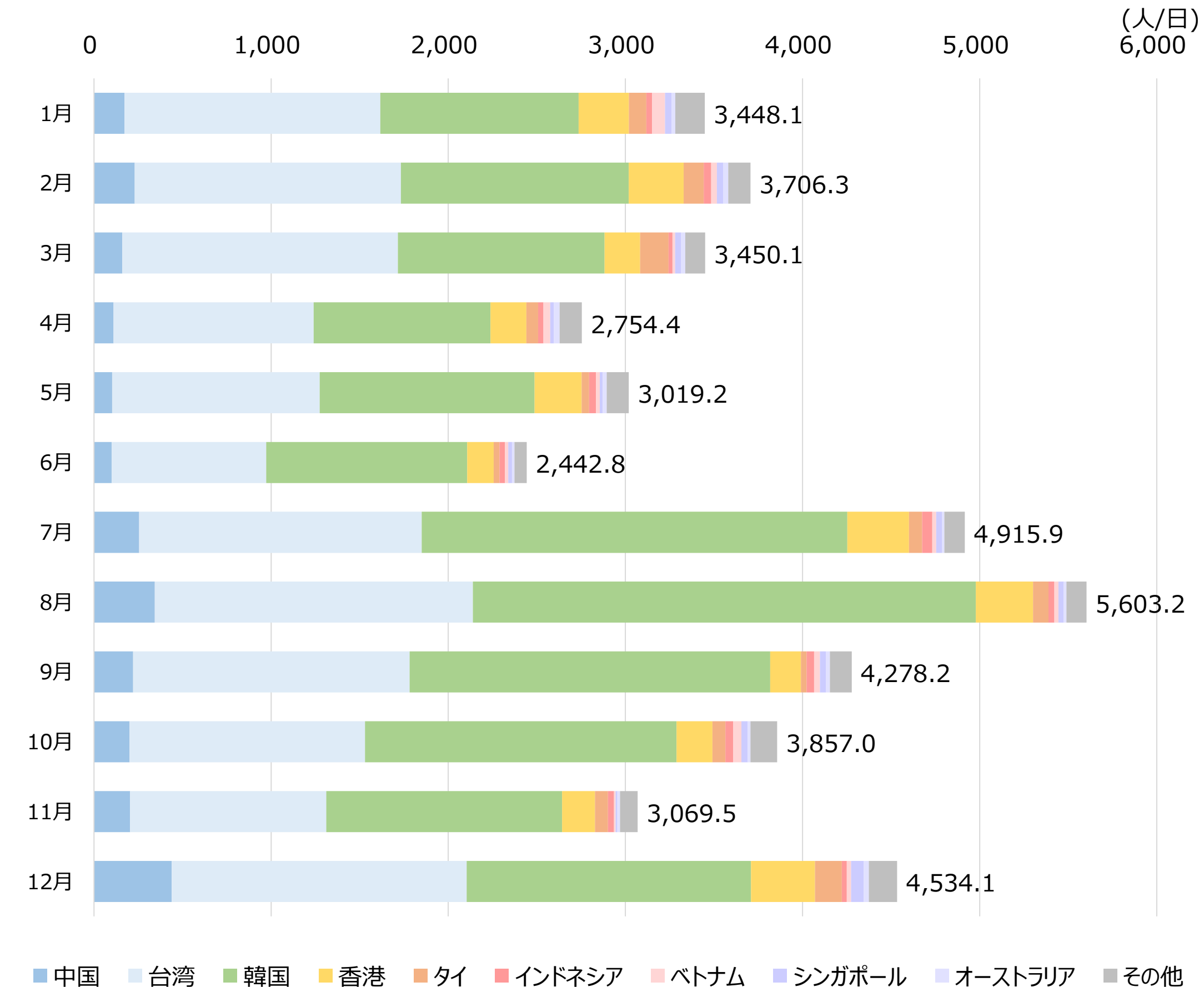
※インバウンドの合計値を100%としている。
 なお、中国人・ロシア人については位置情報を取得できないため、別途推計を行っている（詳細はp.4を参照）。

小樽市全域来訪者の居住国（インバウンド）

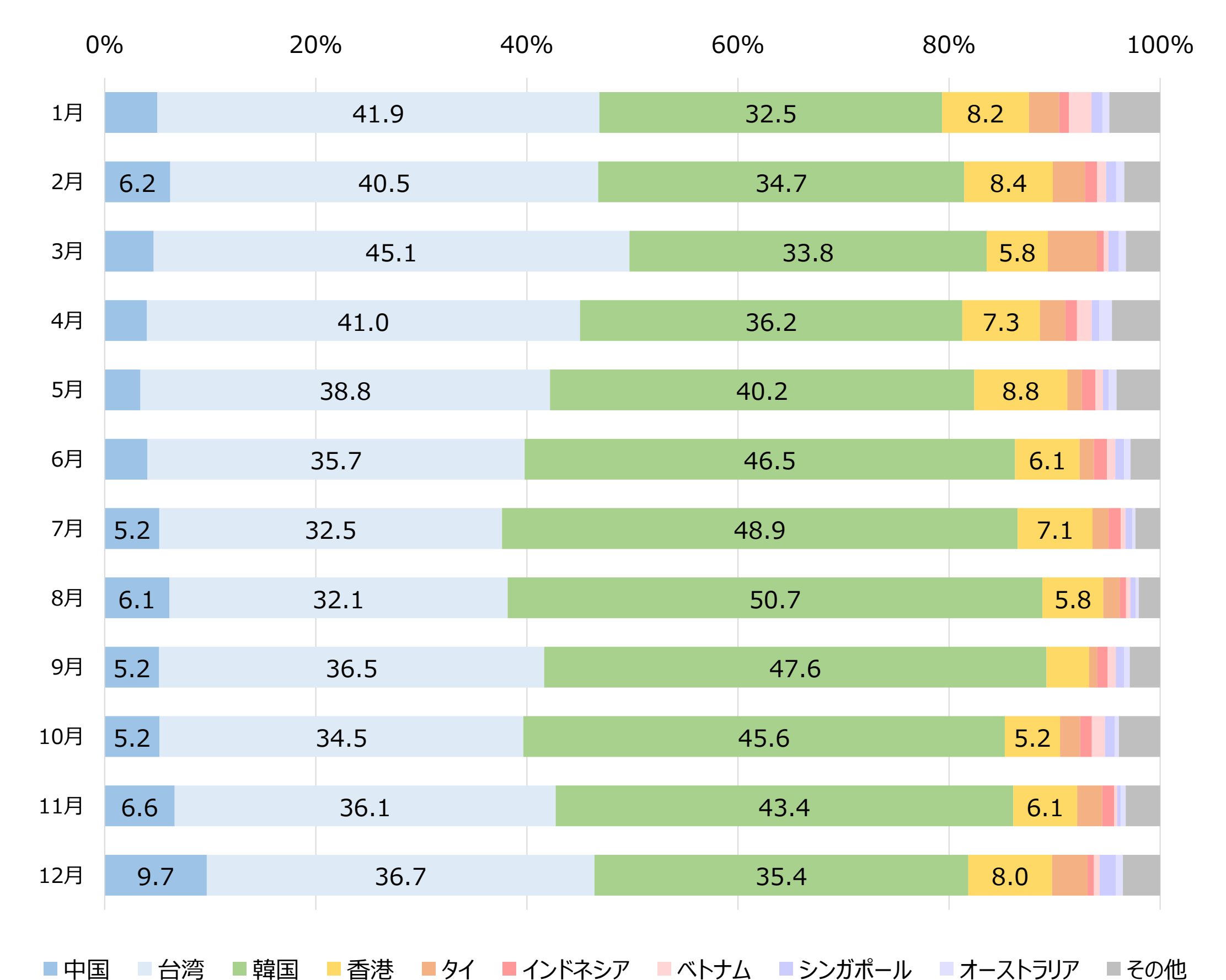
- 実数では、8月・7月の来訪が多く、6月・4月は来訪が落ち込む。
- 割合では、1月～4月・12月は台湾からの来訪が最多であるが、5月～11月は韓国からの来訪が最多となる。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉

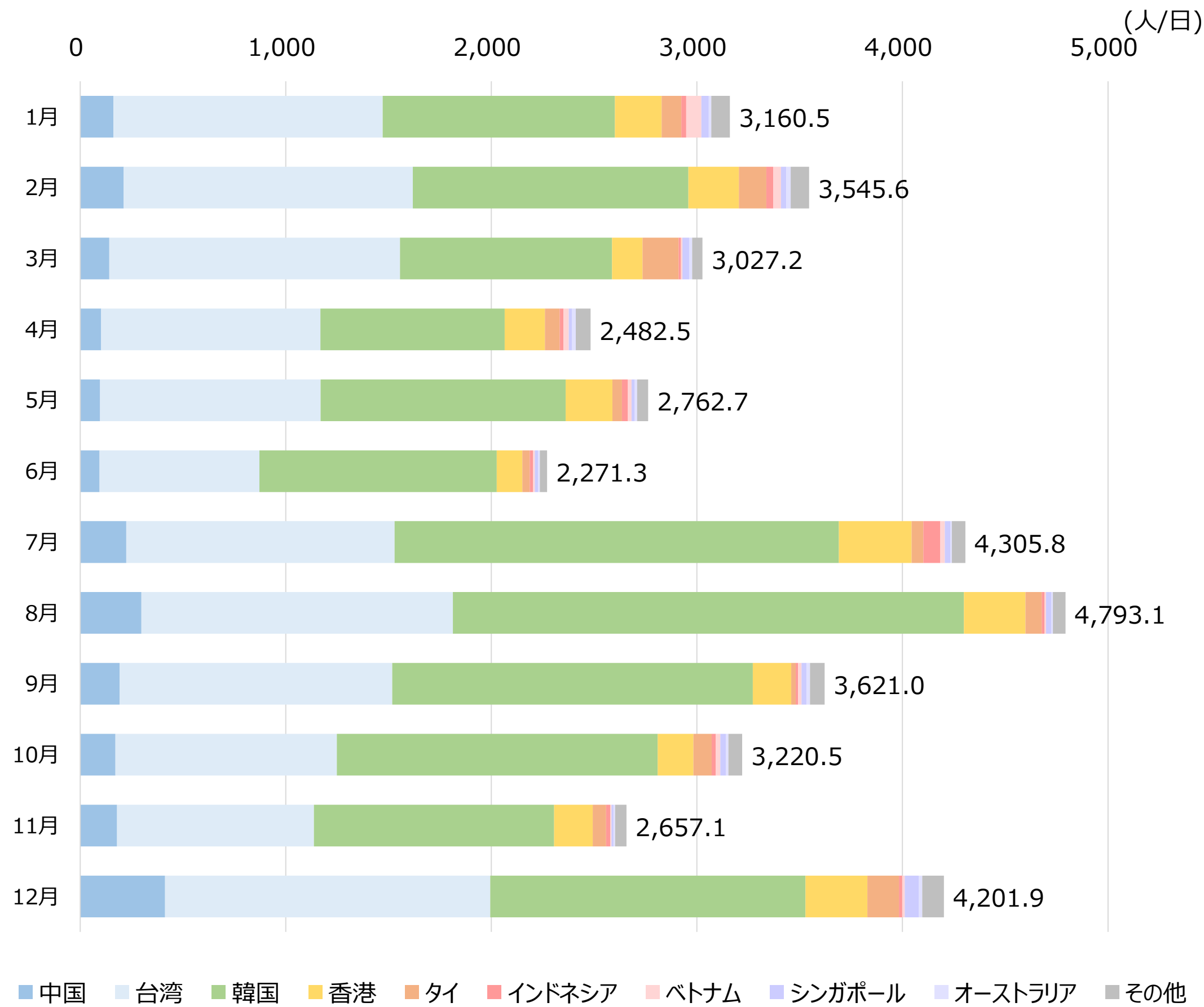


中心部エリア来訪者の居住国（インバウンド）

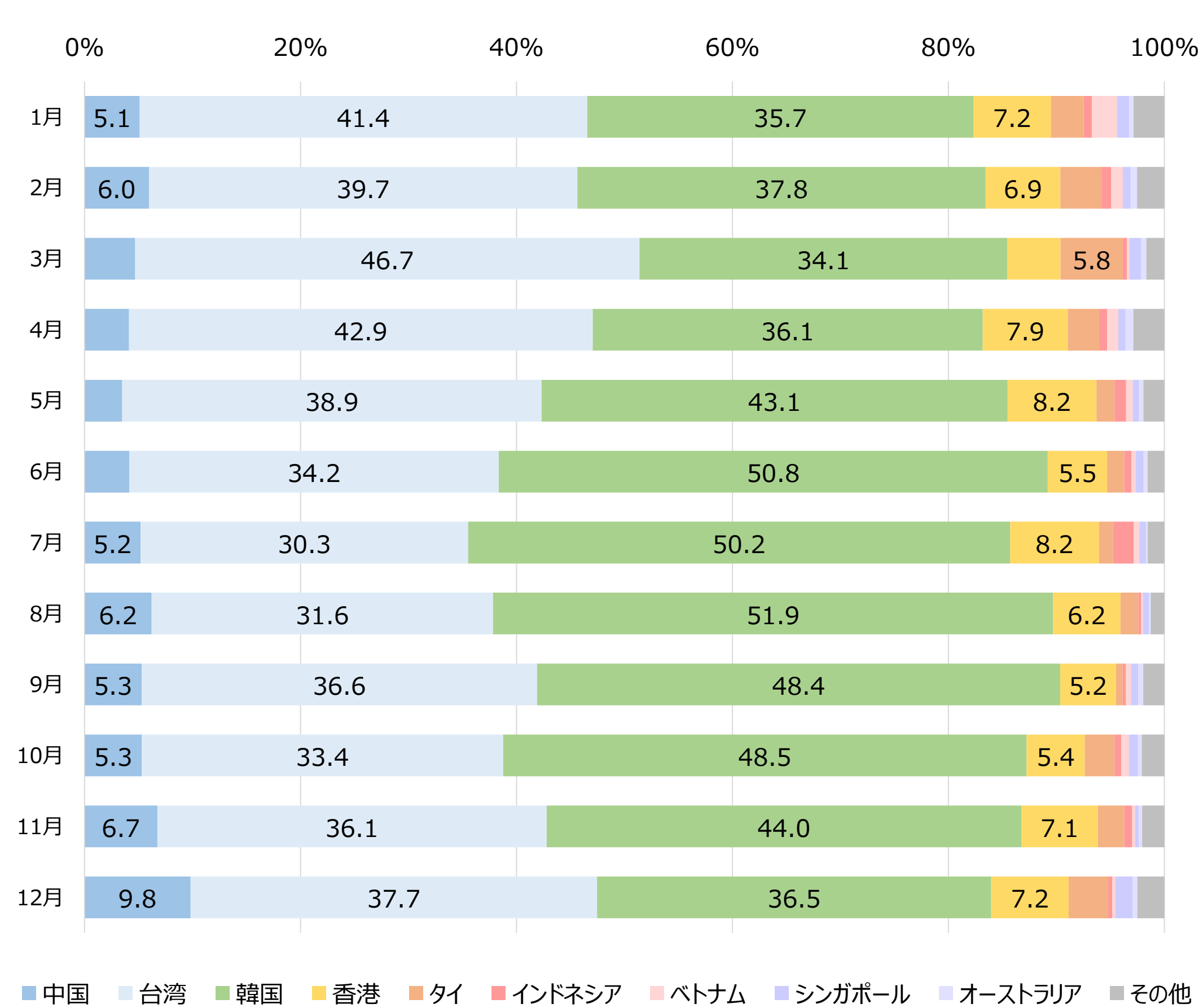
- 実数では、8月・7月の来訪が多く、6月・4月は来訪が落ち込む。
- 割合では、1月～4月・12月は台湾からの来訪が最多であるが、5月～11月は韓国からの来訪が最多となる。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉

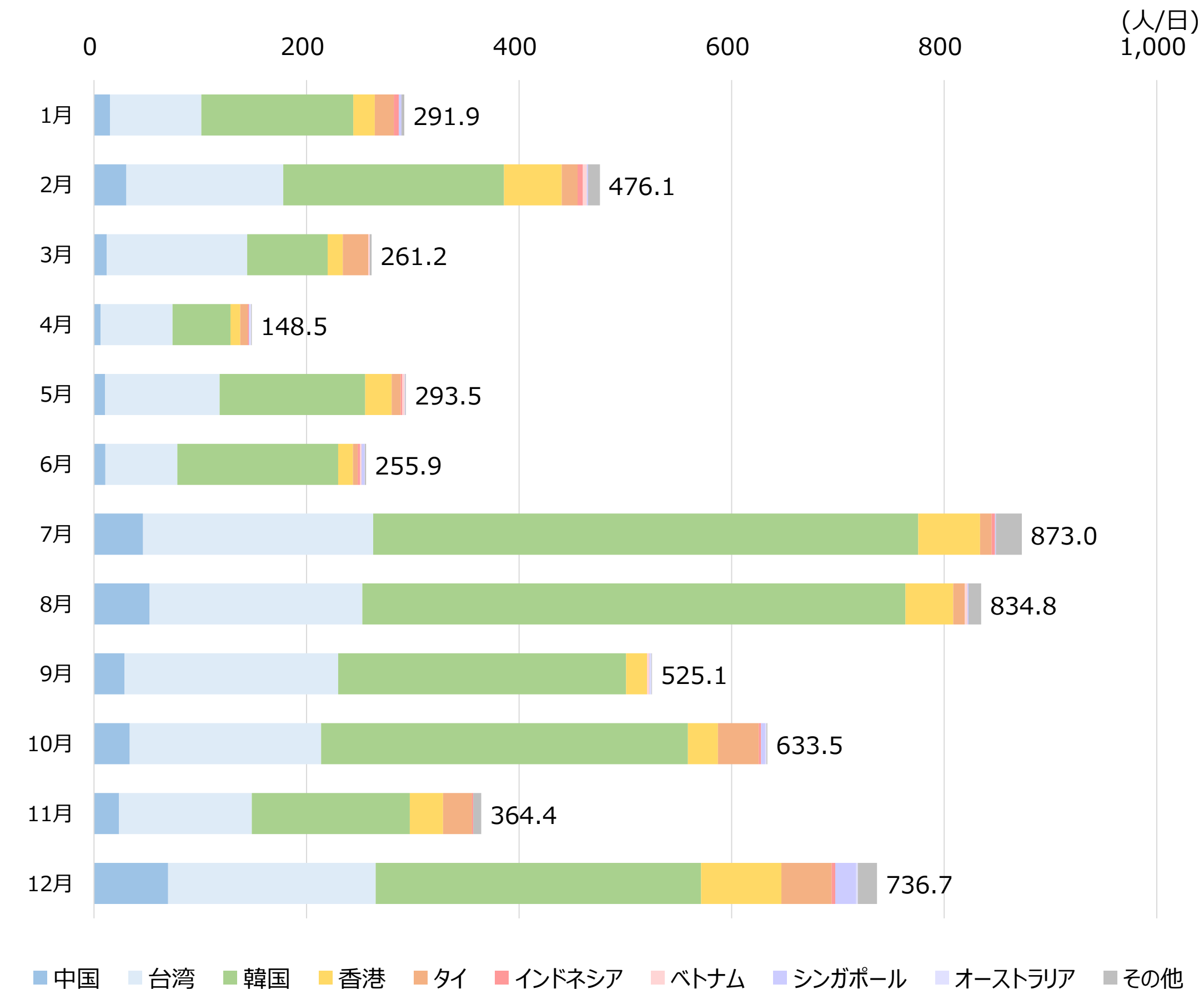


小樽運河来訪者の居住国（インバウンド）

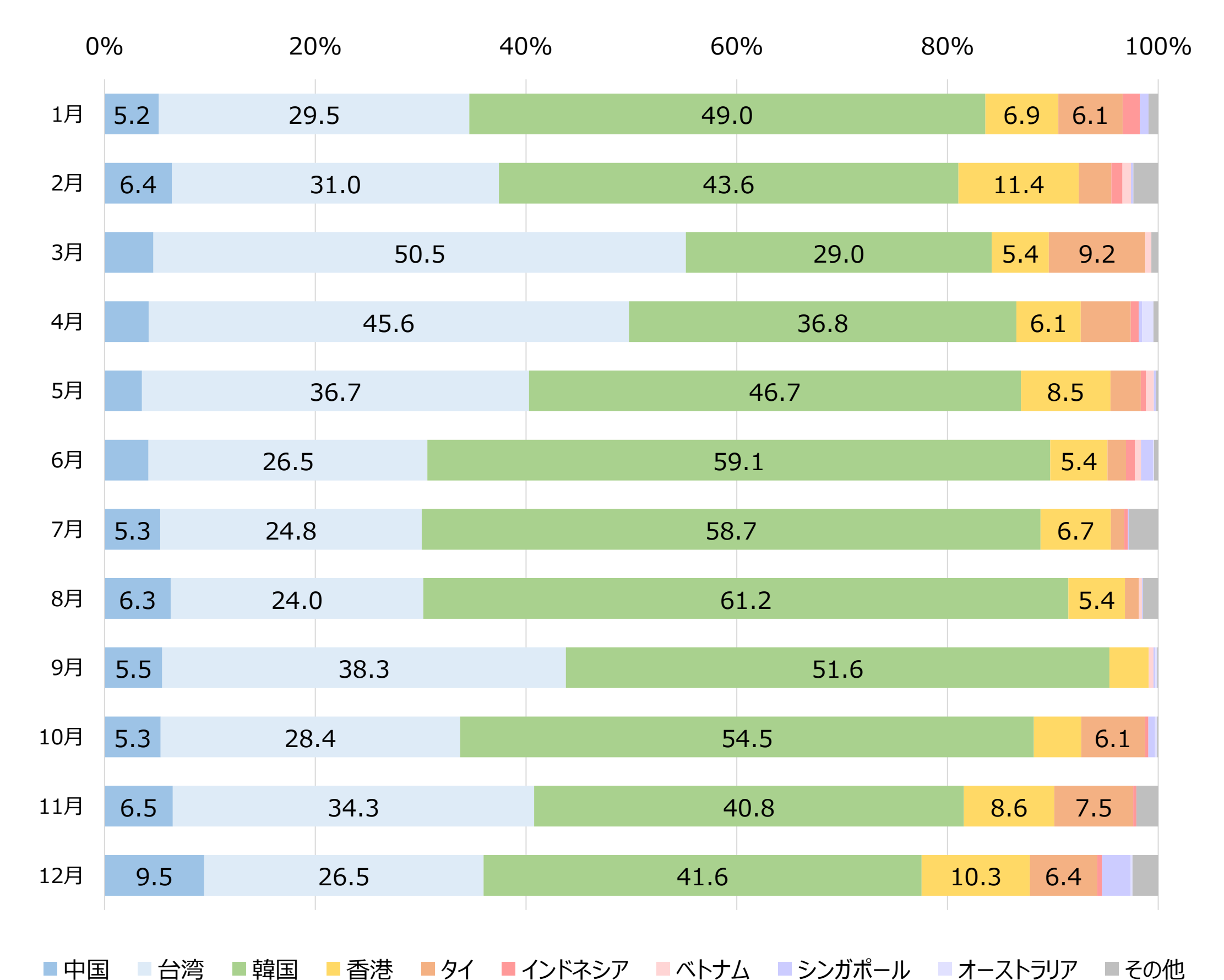
- 実数では、7月・8月の来訪が多く、4月・6月は来訪が落ち込む。
- 割合では、3月・4月は台湾から、それ以外の月では韓国からの来訪が最多である。中心部に比べ、冬季は香港・タイからの来訪も目立つ。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉

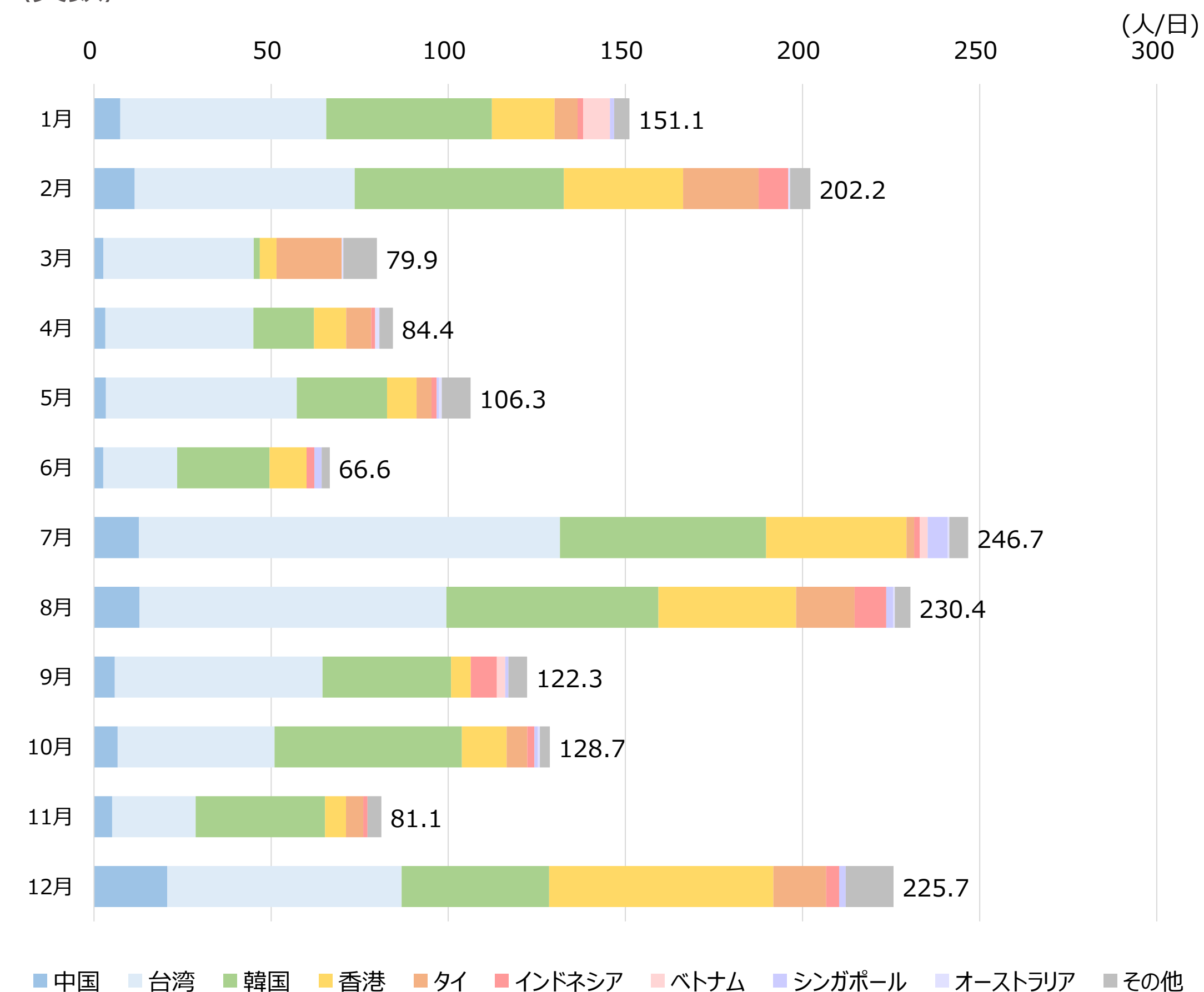


祝津・高島・手宮エリア来訪者の居住国（インバウンド）

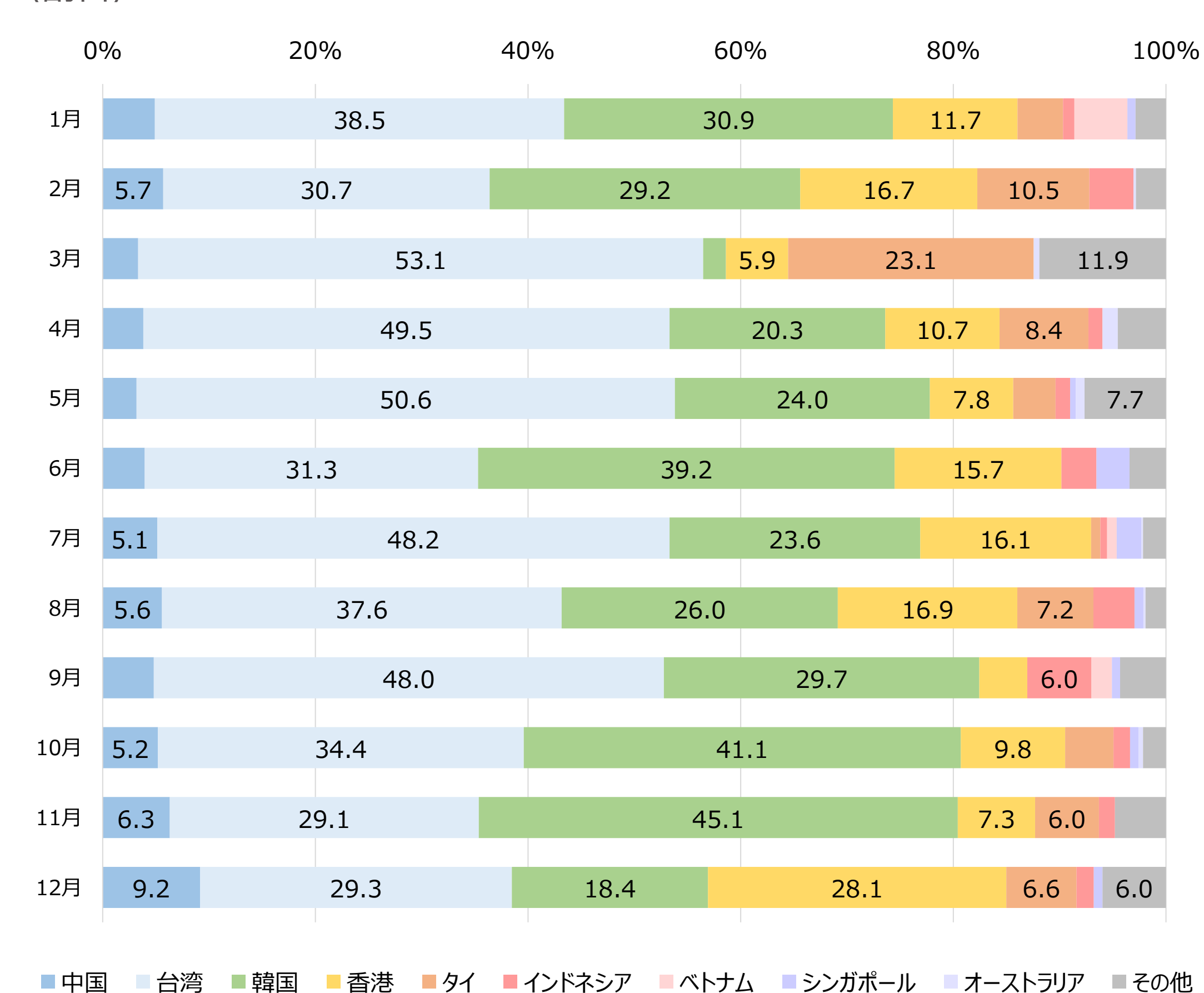
- 実数では、7月・8月の来訪が多く、6月・3月は来訪が落ち込む。
- 割合では、6月・10月・11月は韓国から、それ以外の月では台湾からの来訪が最多である。中心部に比べ、香港・タイからの来訪も目立つ。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉

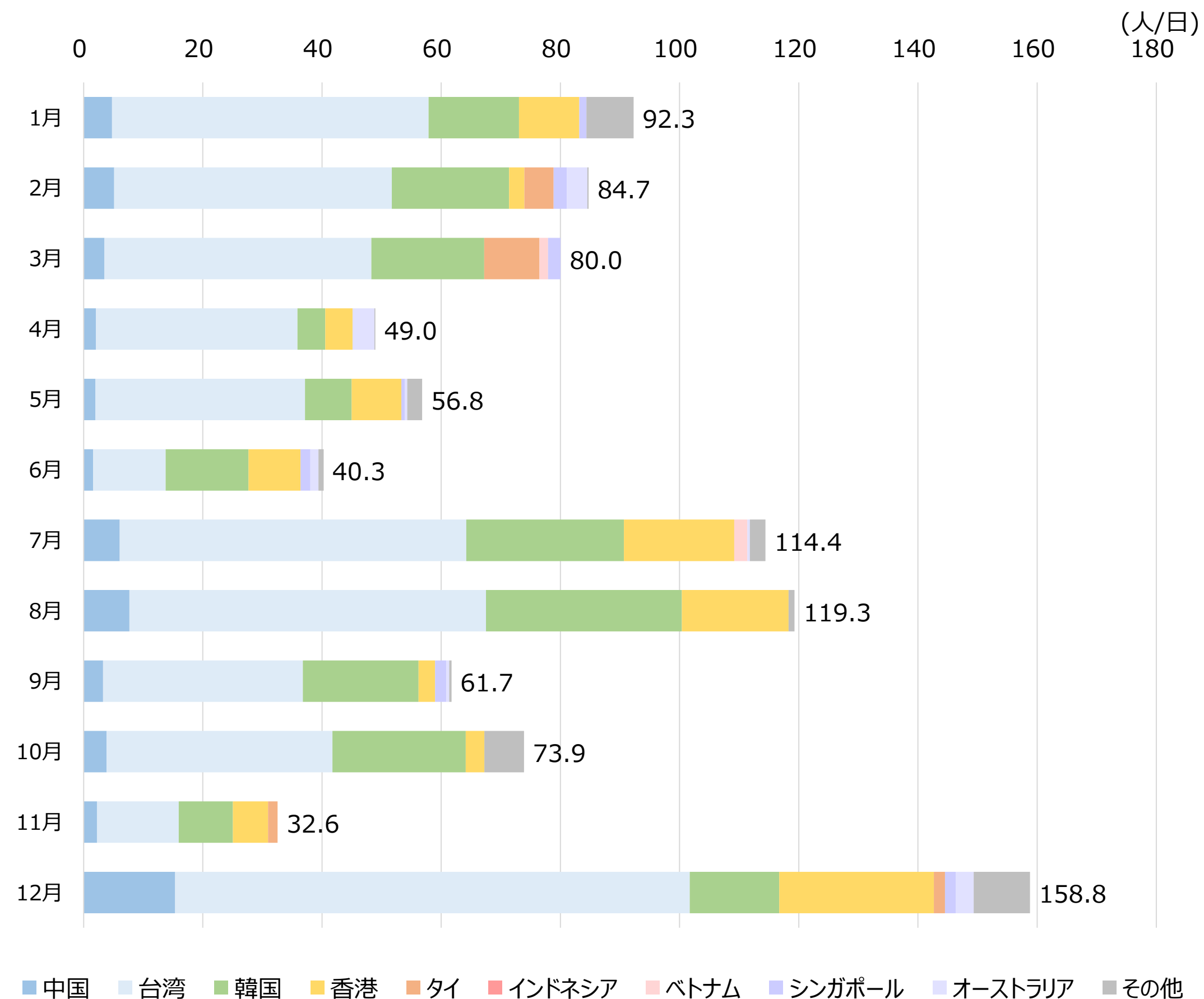


天狗山エリア来訪者の居住国（インバウンド）

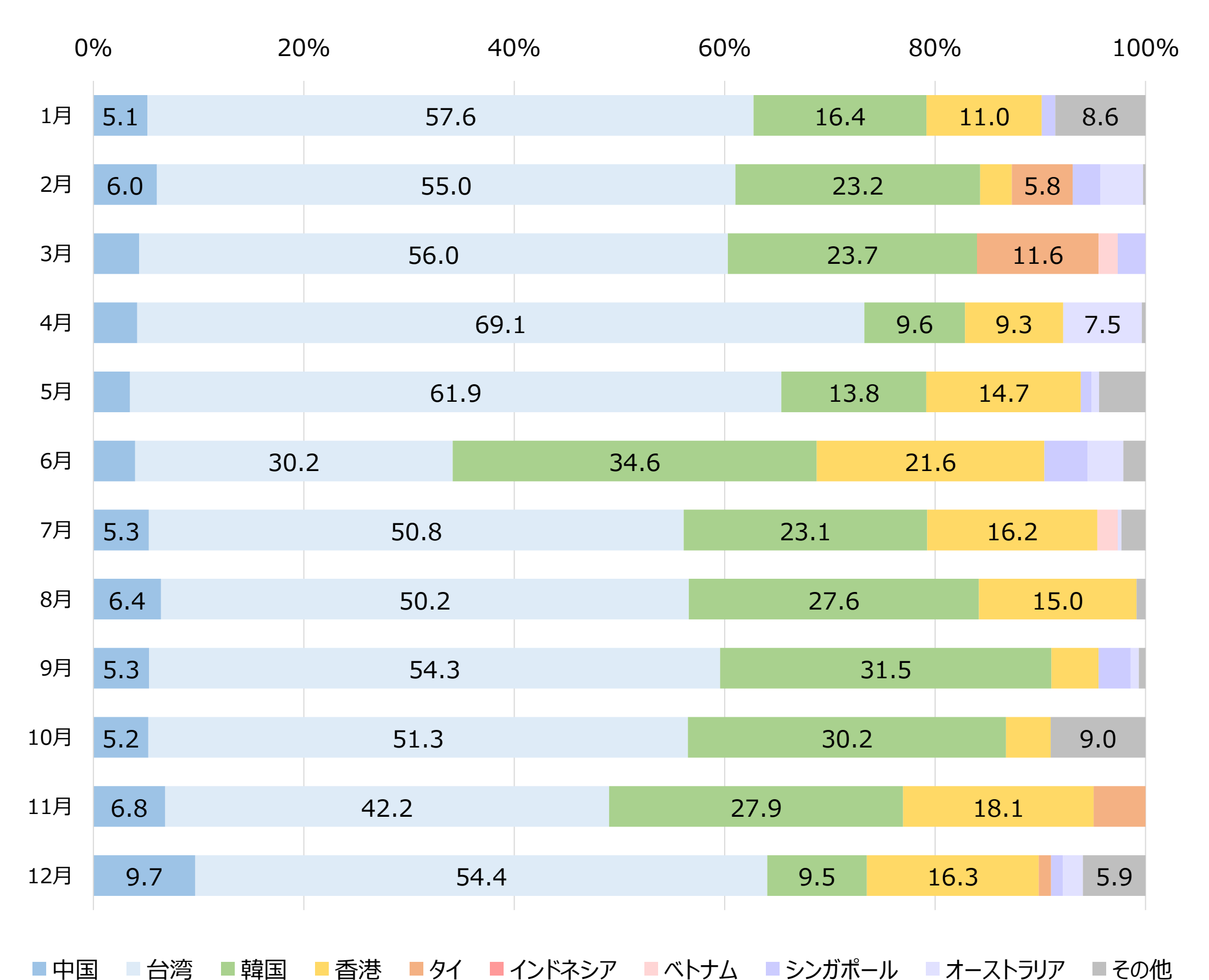
- 実数では、12月・8月の来訪が多く、11月・6月は来訪が落ち込む。他のエリアとは異なる傾向である。
- 割合では、6月は韓国から、それ以外の月では台湾からの来訪が最多である。他のエリアに比べ、台湾と香港の多さが特徴的である。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉

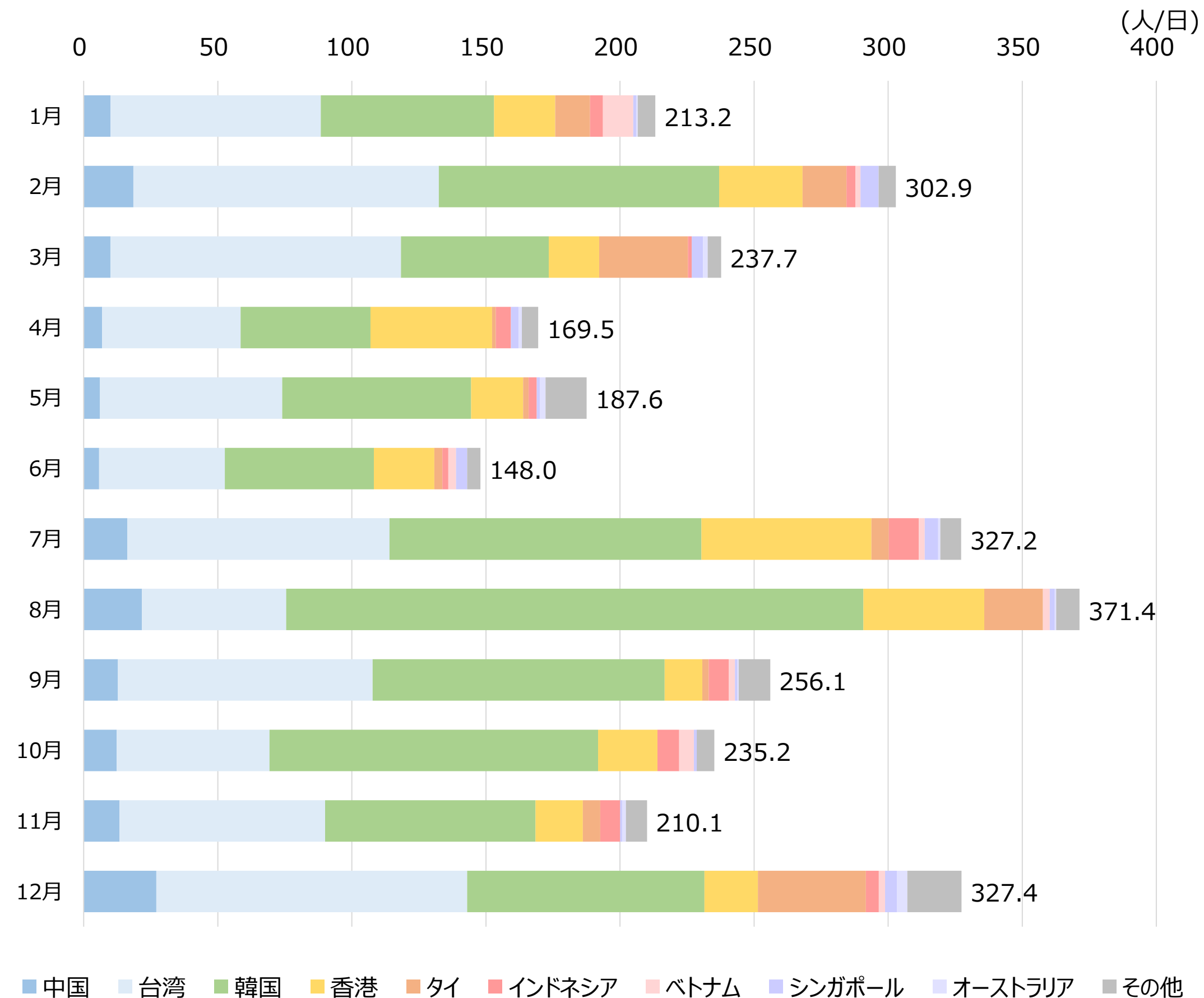


築港エリア来訪者の居住国（インバウンド）

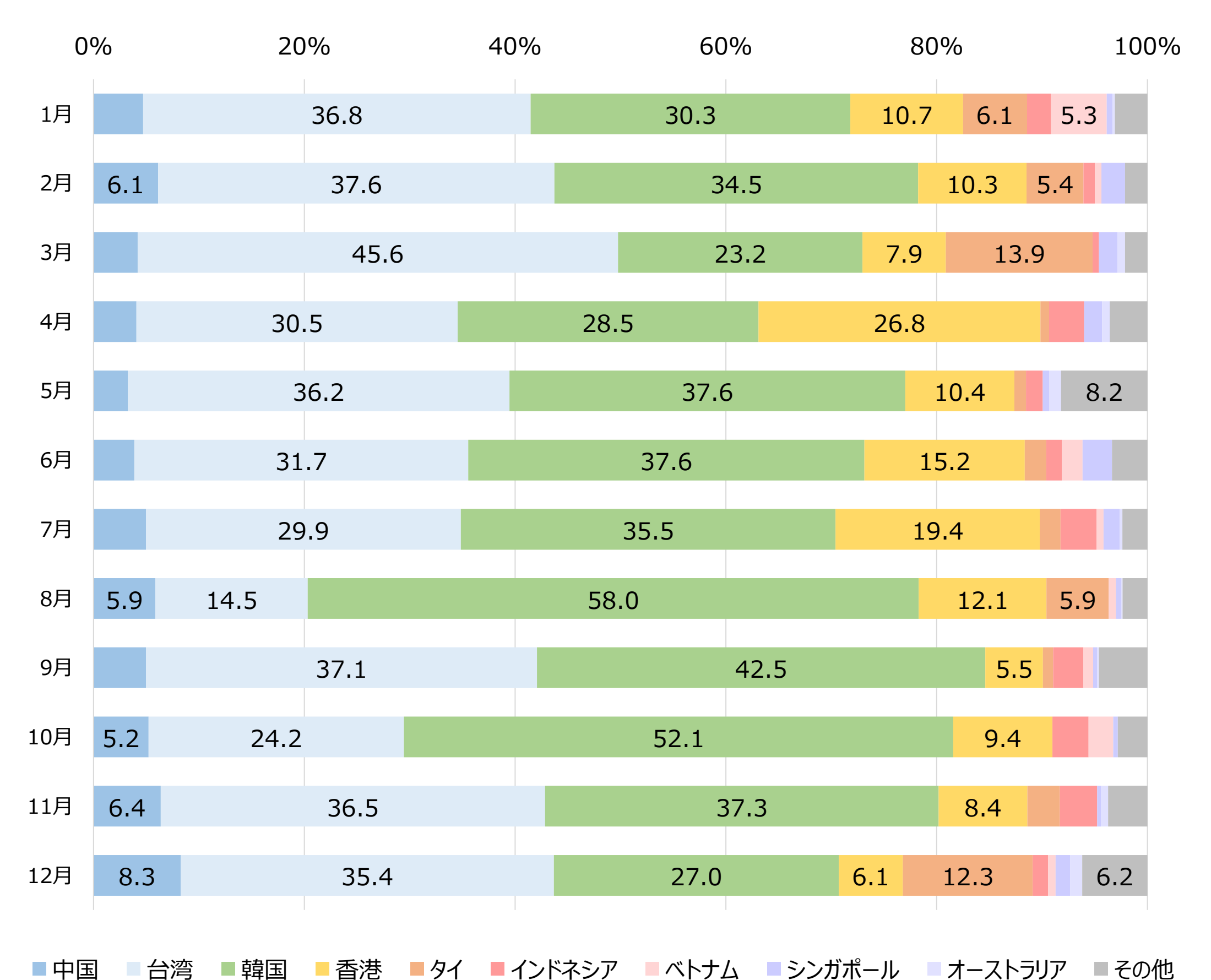
- 実数では、8月・12月の来訪が多く、6月・4月は来訪が落ち込む。
- 割合では、1月～4月・12月は台湾からの来訪が最多であるが、5月～11月は韓国からの来訪が最多となる。4月は香港も目立つ。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉

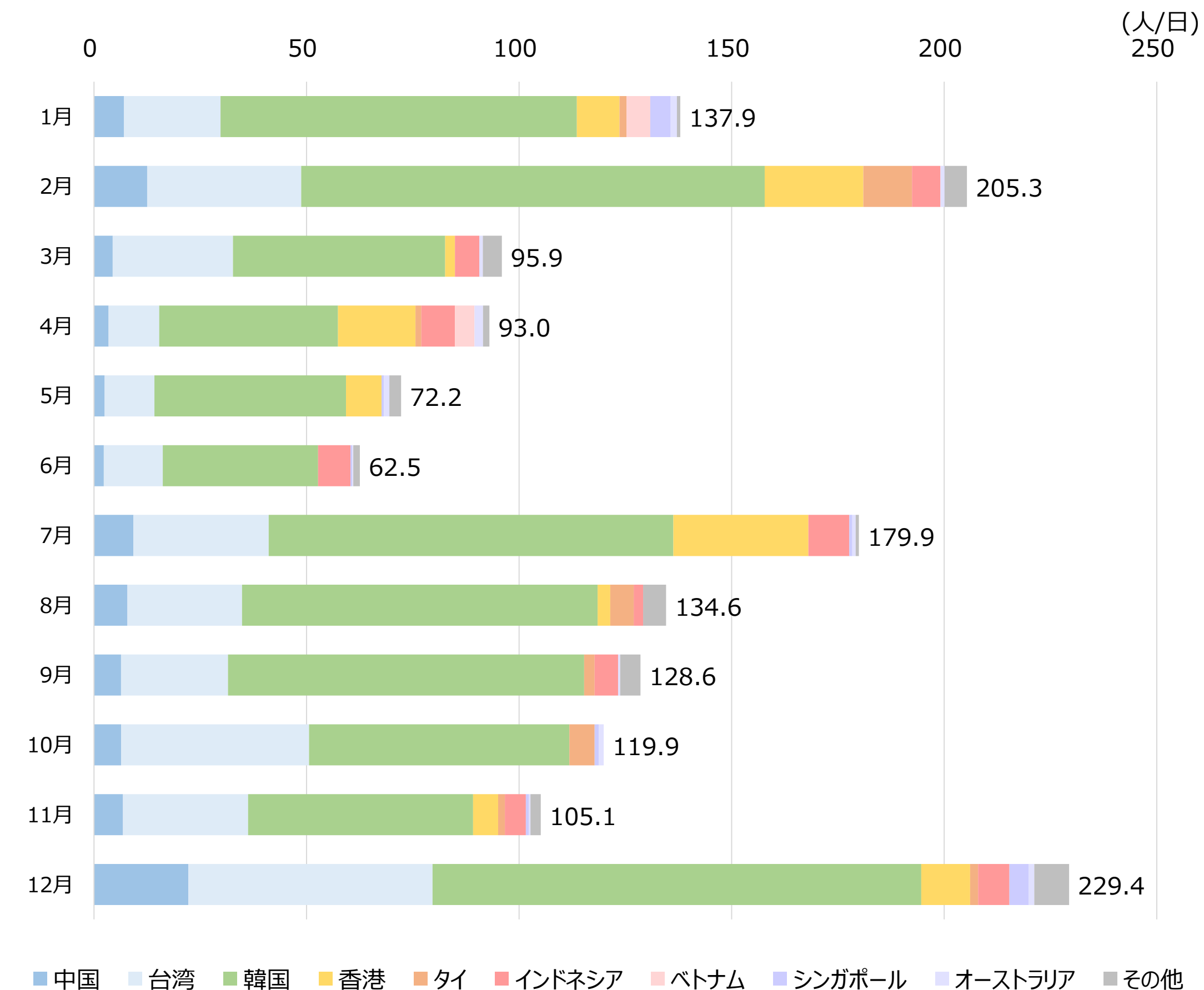


朝里川温泉エリア来訪者の居住国（インバウンド）

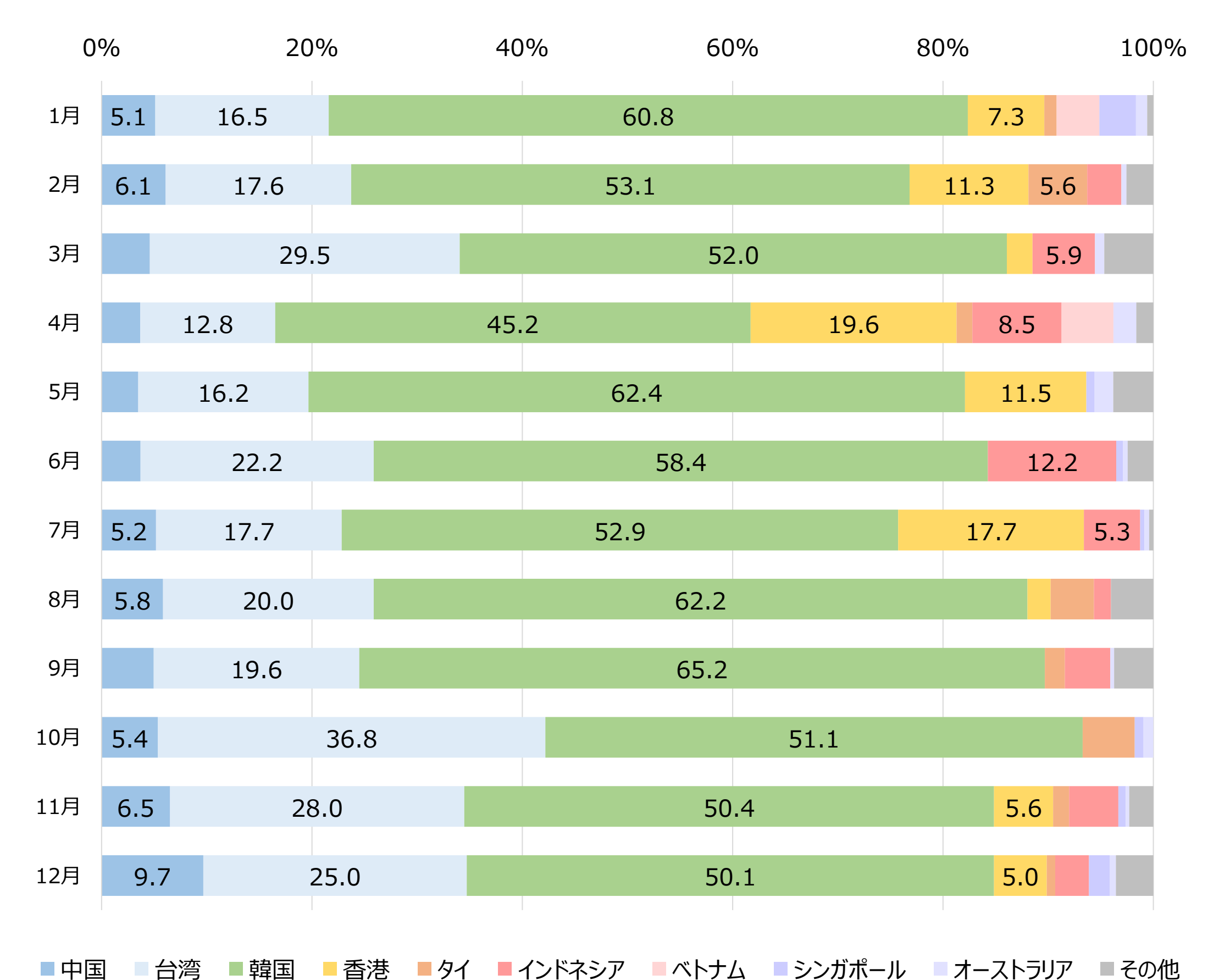
- 実数では、12月・2月の来訪が多く、6月・5月は来訪が落ち込む。他のエリアとは異なる傾向である。
- 割合では、一年を通して韓国からの来訪が最多である。4月・7月は香港、6月・4月はインドネシアからの来訪も目立つ。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉

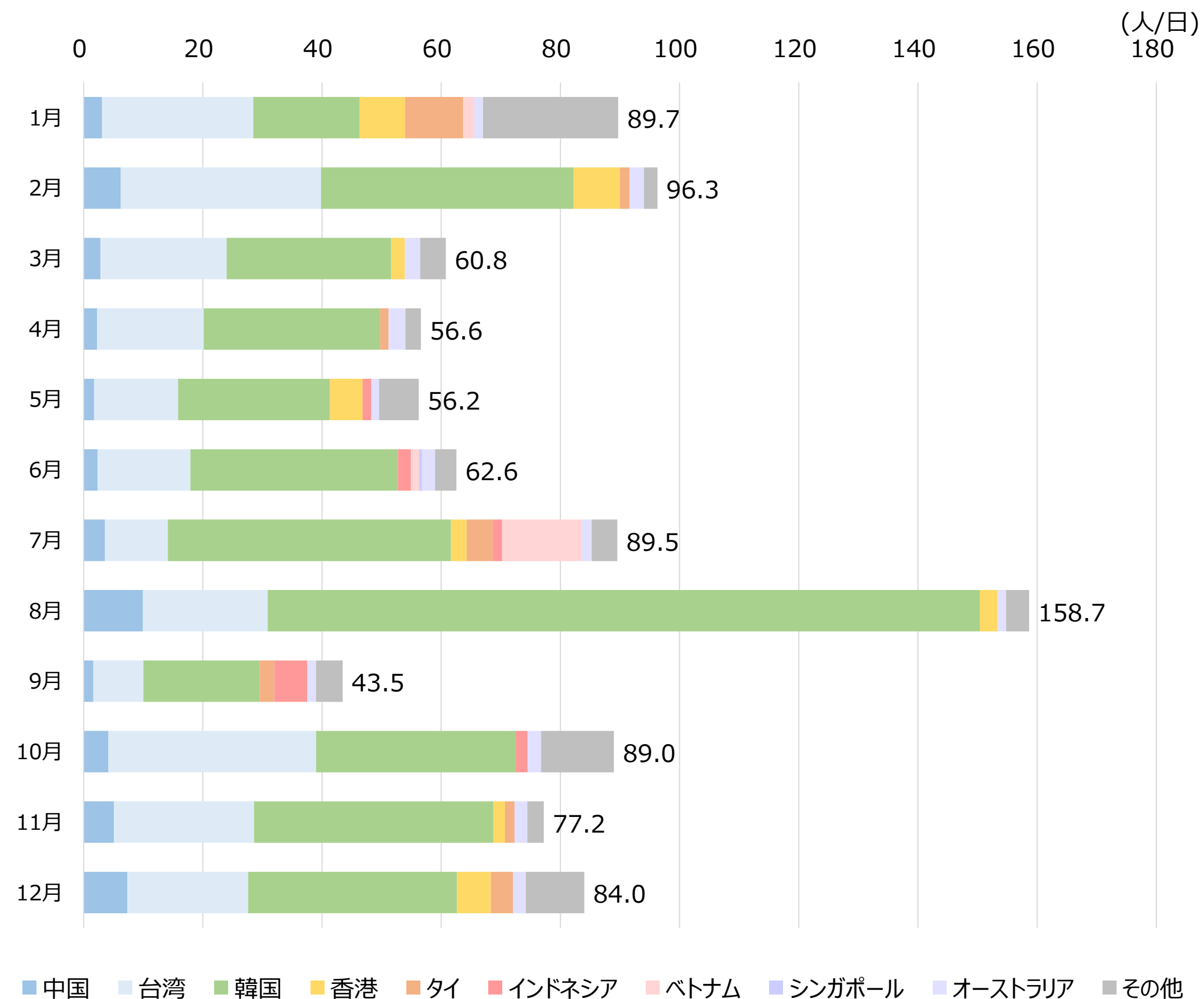


銭函・張碓エリア来訪者の居住国（インバウンド）

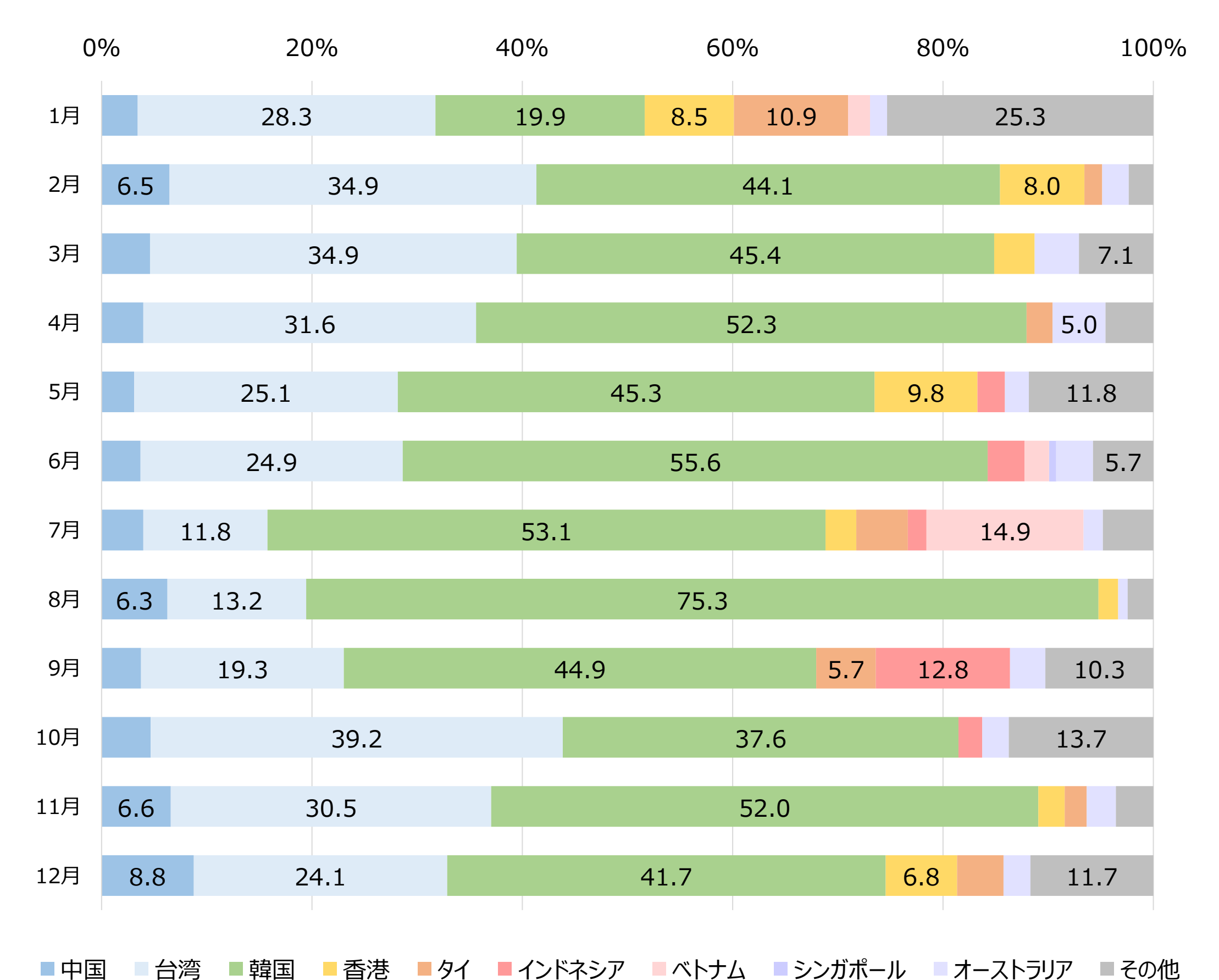
- 実数では、8月の来訪が顕著に多く、9月は来訪が落ち込む。他のエリアとは異なる傾向である。
- 割合では、1月・10月は台湾から、それ以外の月では韓国からの来訪が最多である。7月はベトナム・9月はインドネシアも目立つ。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



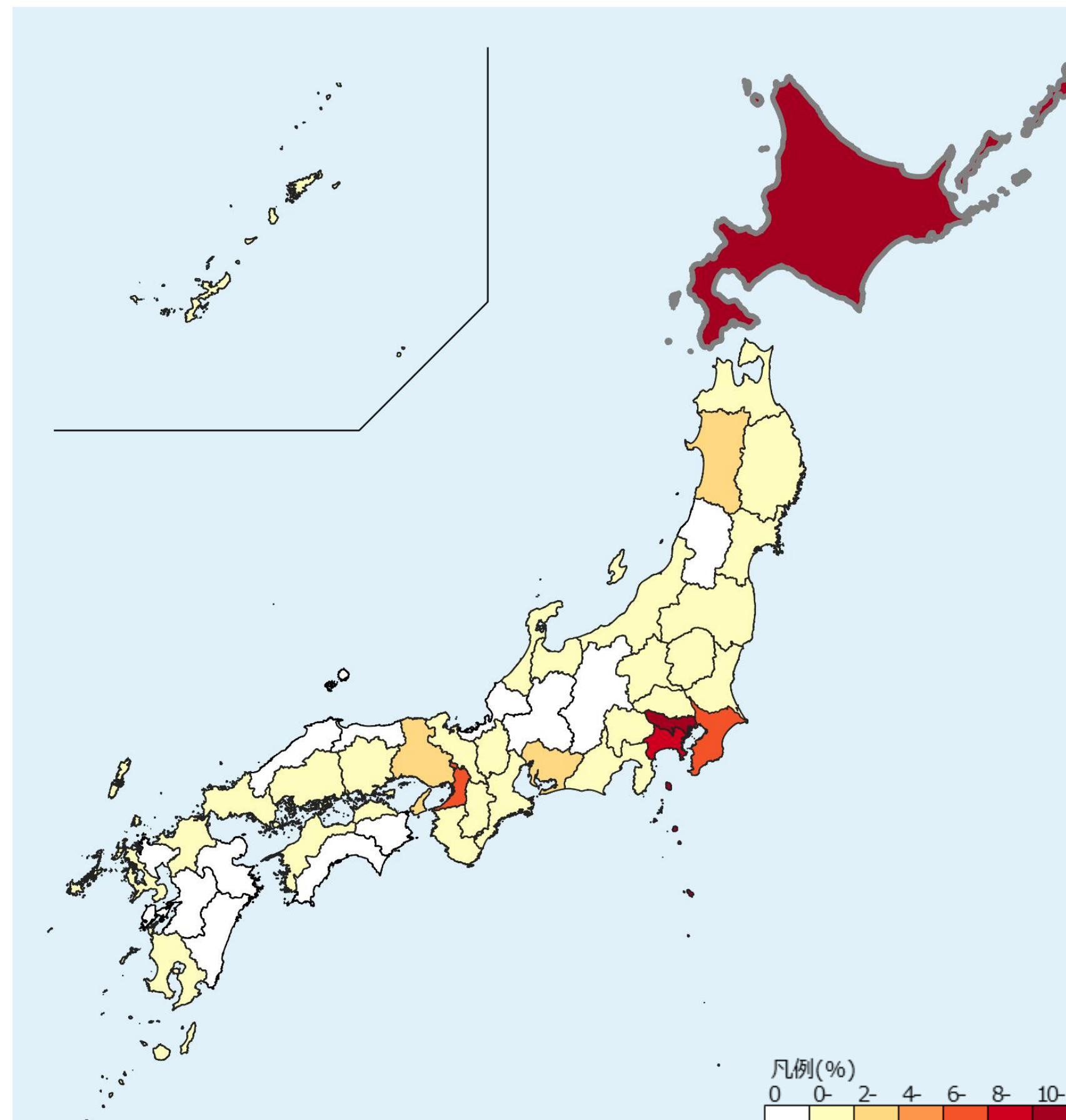
〈割合〉



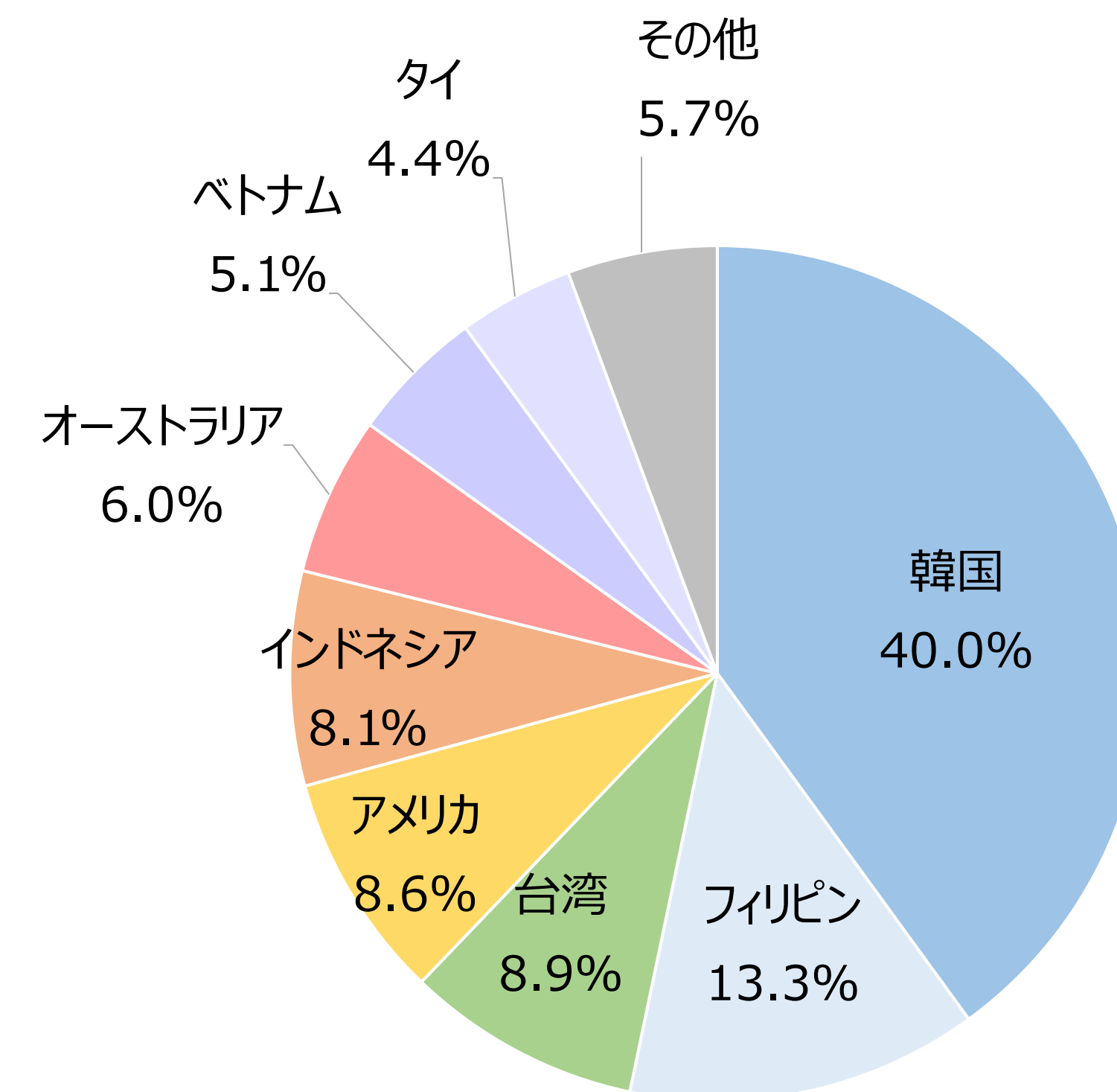
第3 ふ頭〈クルーズ〉来訪者の居住地（2024年）

- 日本人は、北海道・東京・神奈川からの来訪が特に多く、次いで千葉・大阪が多い。
- インバウンドは、韓国からの来訪が最も多く4割を占め、次いでフィリピン・台湾が多い。

● 居住地（日本人観光客、2024年4～12月）



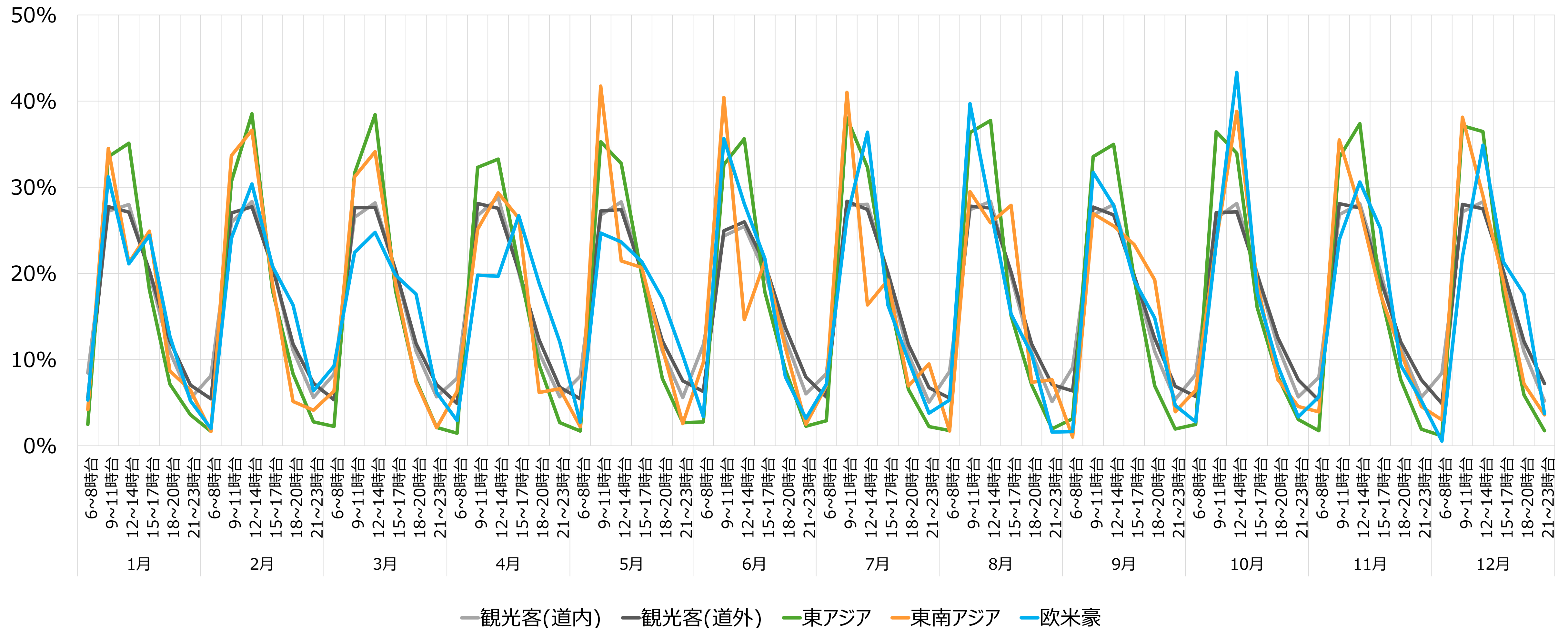
● 居住地（インバウンド、2024年4～12月）



來訪時間帶

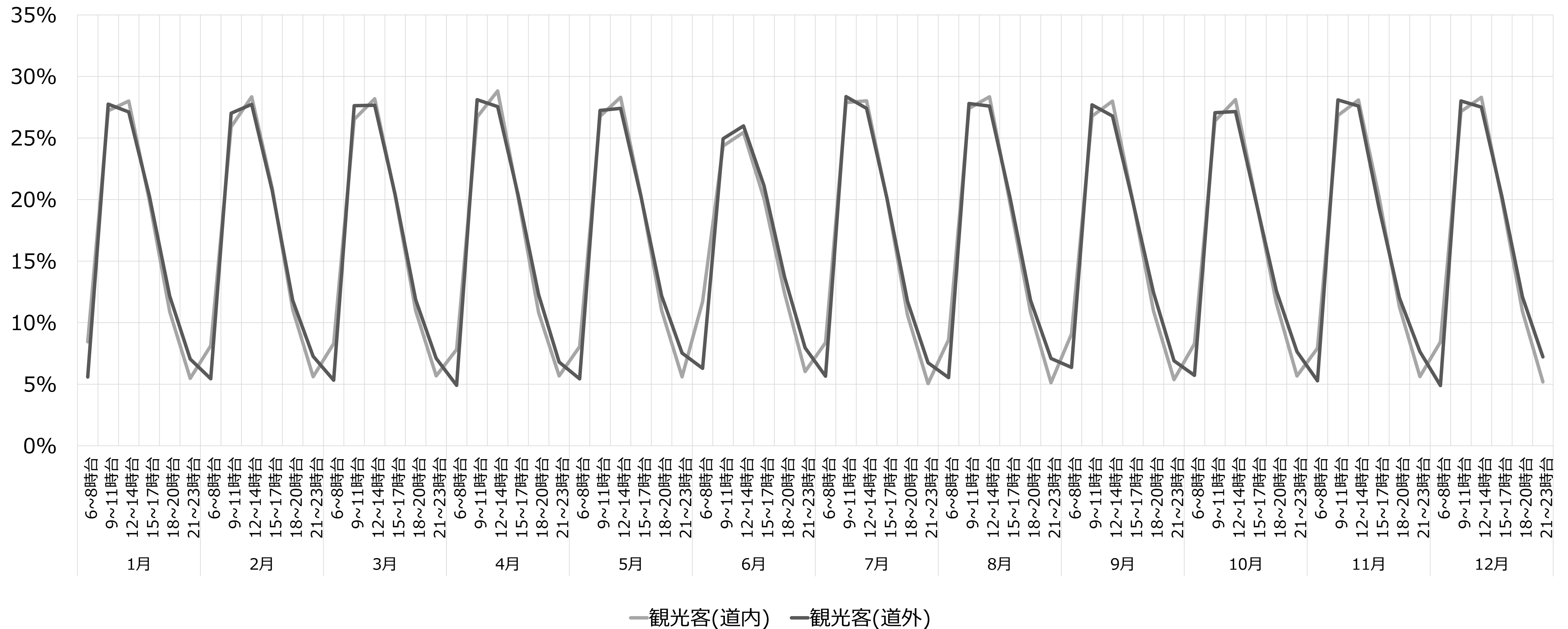
小樽市全域の来訪時間帯分布

➤ 日本人に比べて、インバウンドでは9～14時台に来訪が集中する傾向にある。



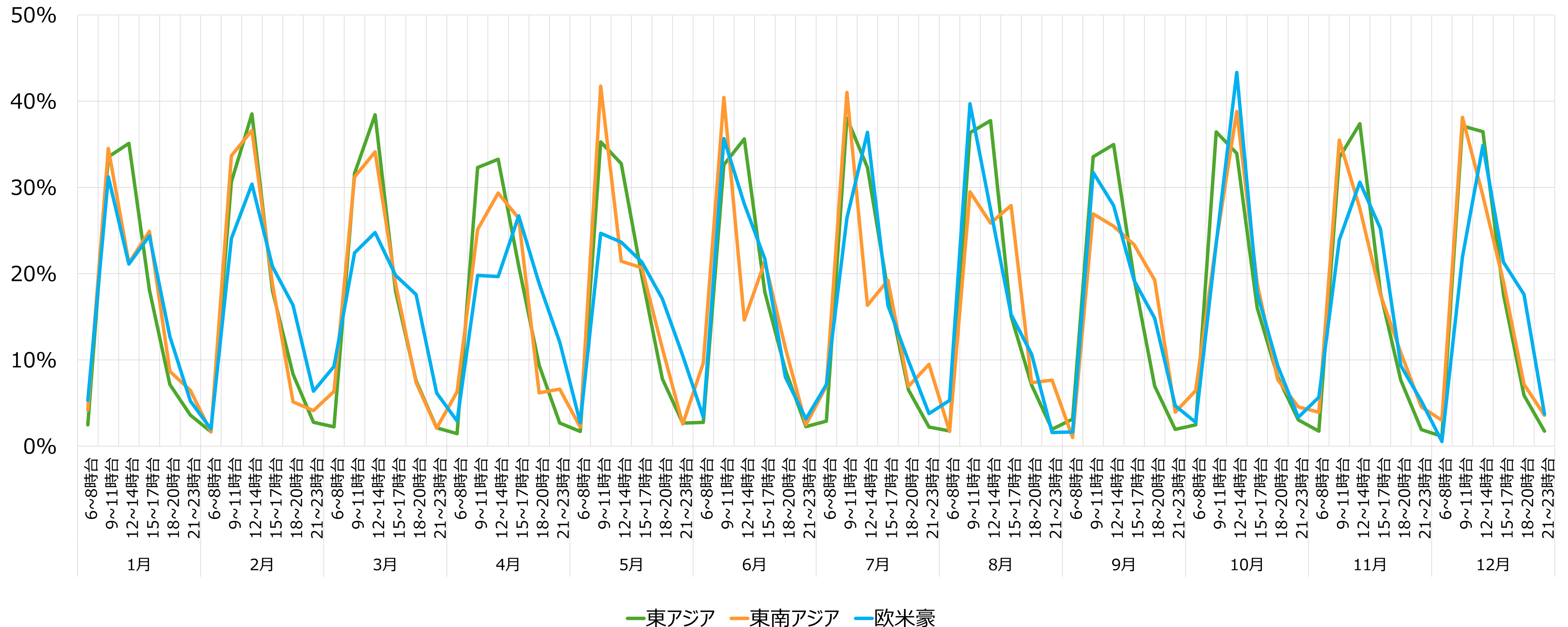
小樽市全域の来訪時間帯分布

- 道内客は一年を通して12～14時台が来訪ピークである。
- 道外客は2月・5月・6月・10月が12～14時台、それ以外の月は9～11時台がピークである。



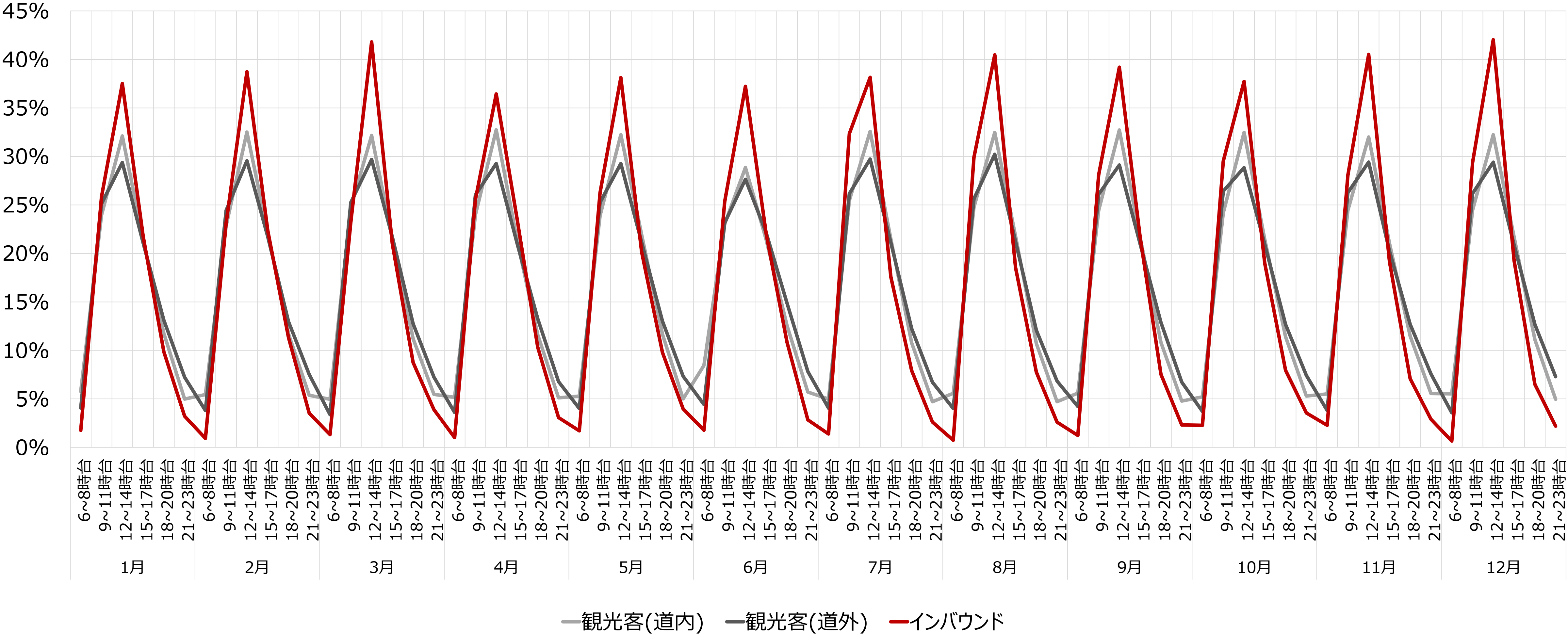
小樽市全域の来訪時間帯分布

- 東アジア居住者は、5月・7月・10月・12月が9～11時台、それ以外の月は12～14時台が来訪ピークである。
- 東南アジア居住者は夏季において、また欧米豪居住者は春先において、15時以降の来訪が比較的多くなることが特徴的である。



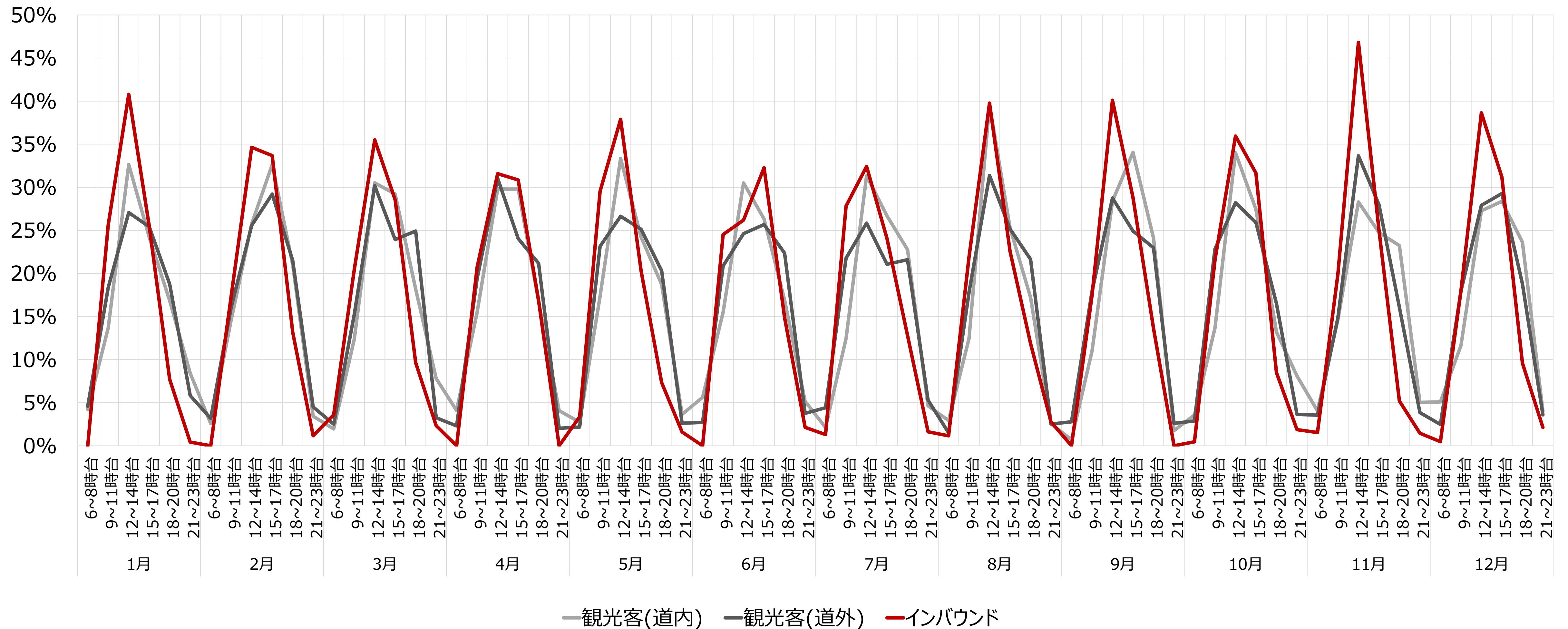
中心部エリアの来訪時間帯分布

➤ 道内客・道外客・インバウンドともに、一年を通して12～14時台が来訪ピークであり、特にインバウンドでその傾向が顕著である。



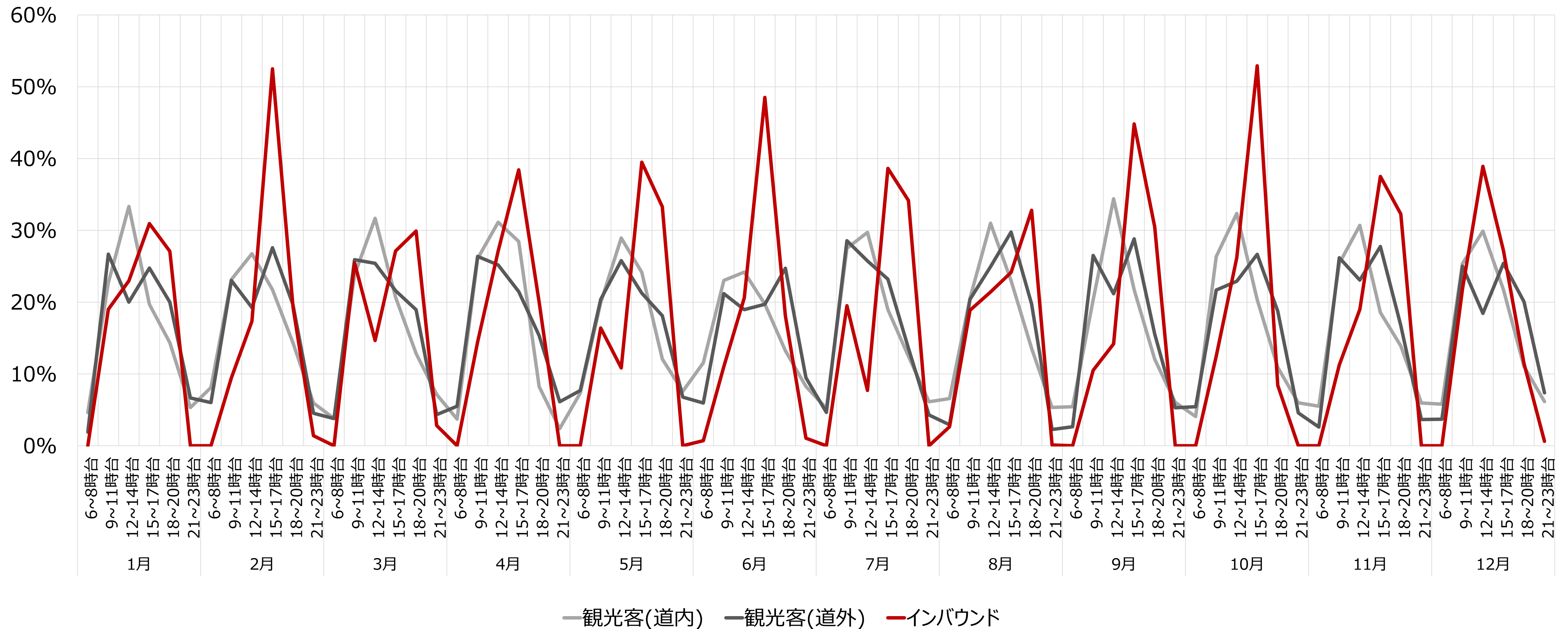
小樽運河の来訪時間帯分布

➤ 中心部エリアとは異なり、来訪ピークは月や居住地により変動がみられるが、インバウンドでは6月を除き12～14時台がピークとなっている。



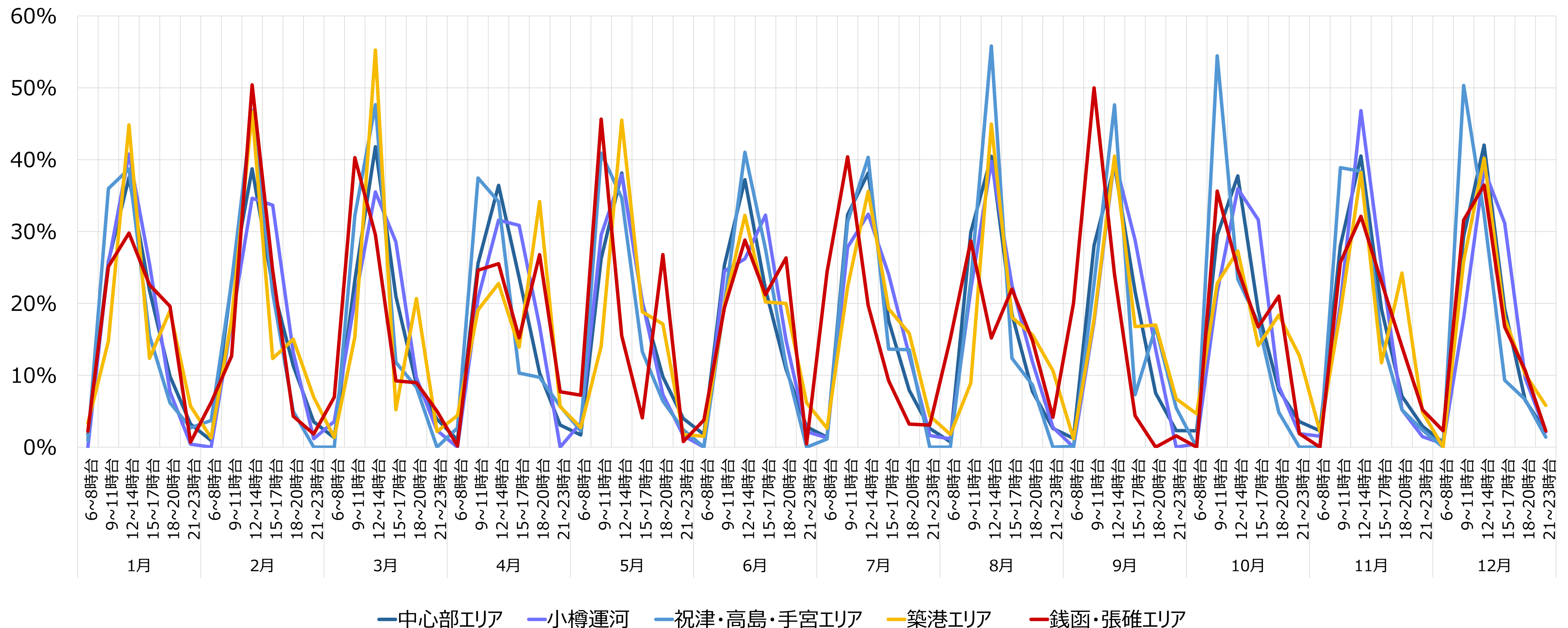
天狗山エリアの来訪時間帯分布

➤ 多くの月で、日本人とインバウンドで来訪ピークが異なる。インバウンドでは、総じて15～20時台の来訪が多いことが特徴的である。



各エリアの来訪時間帯分布（インバウンド）

➤ 夜景需要がみられる天狗山エリアと、チェックイン/アウトの影響を受ける朝里川温泉エリアを除く各エリアをみると、2月・3月・8月などでインバウンドの特定時間帯への集中がみられる。他方、4月や6月はインバウンドの来訪時間帯が比較的分散している。

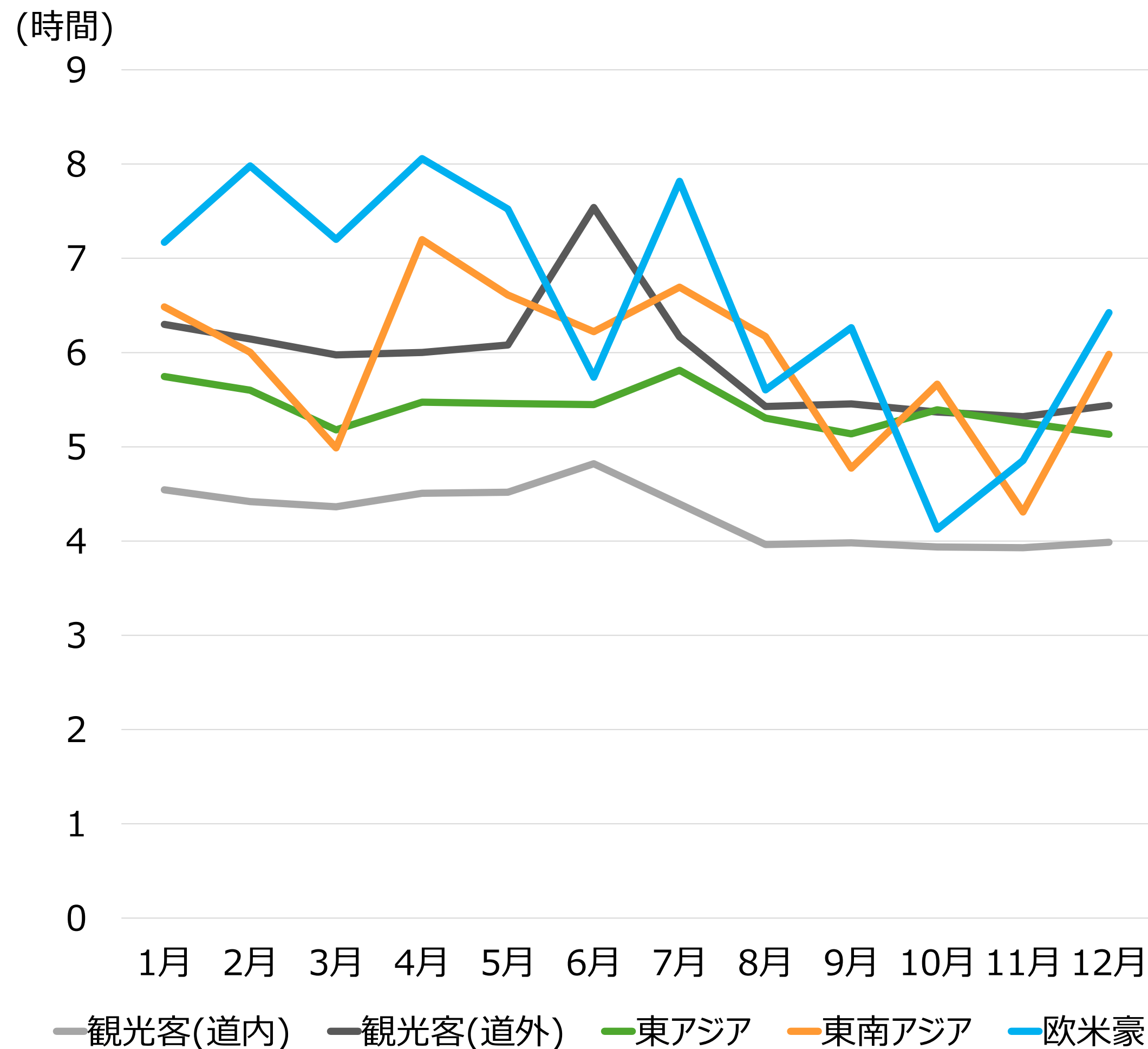


滞在時間・市内宿泊数

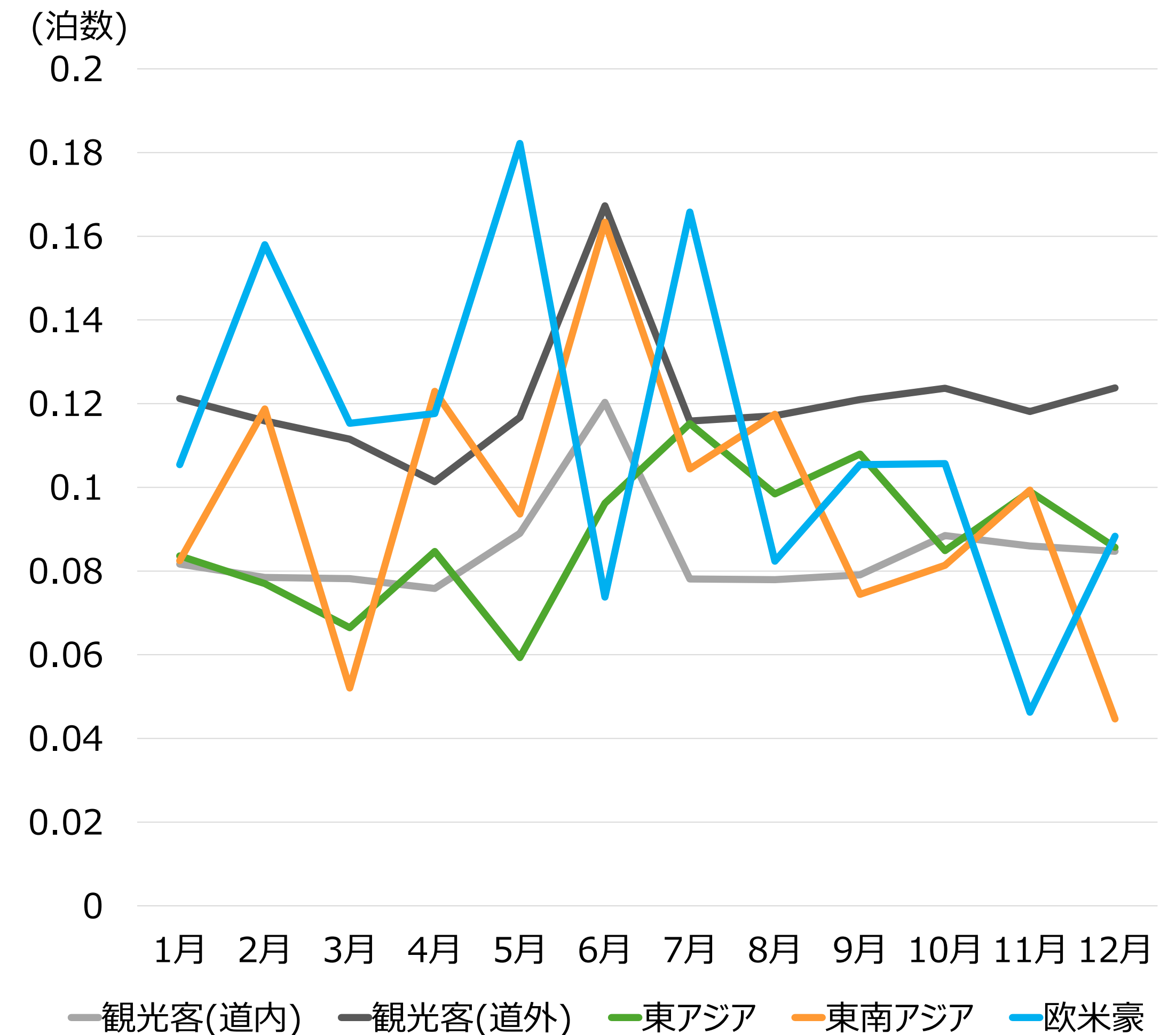
小樽市全域来訪者の平均滞在時間・平均市内宿泊数

➤ 道外客に比べて、東アジア居住者は平均滞在時間・平均市内宿泊数ともに少なく、短期滞在傾向がみられる。

● 平均滞在時間



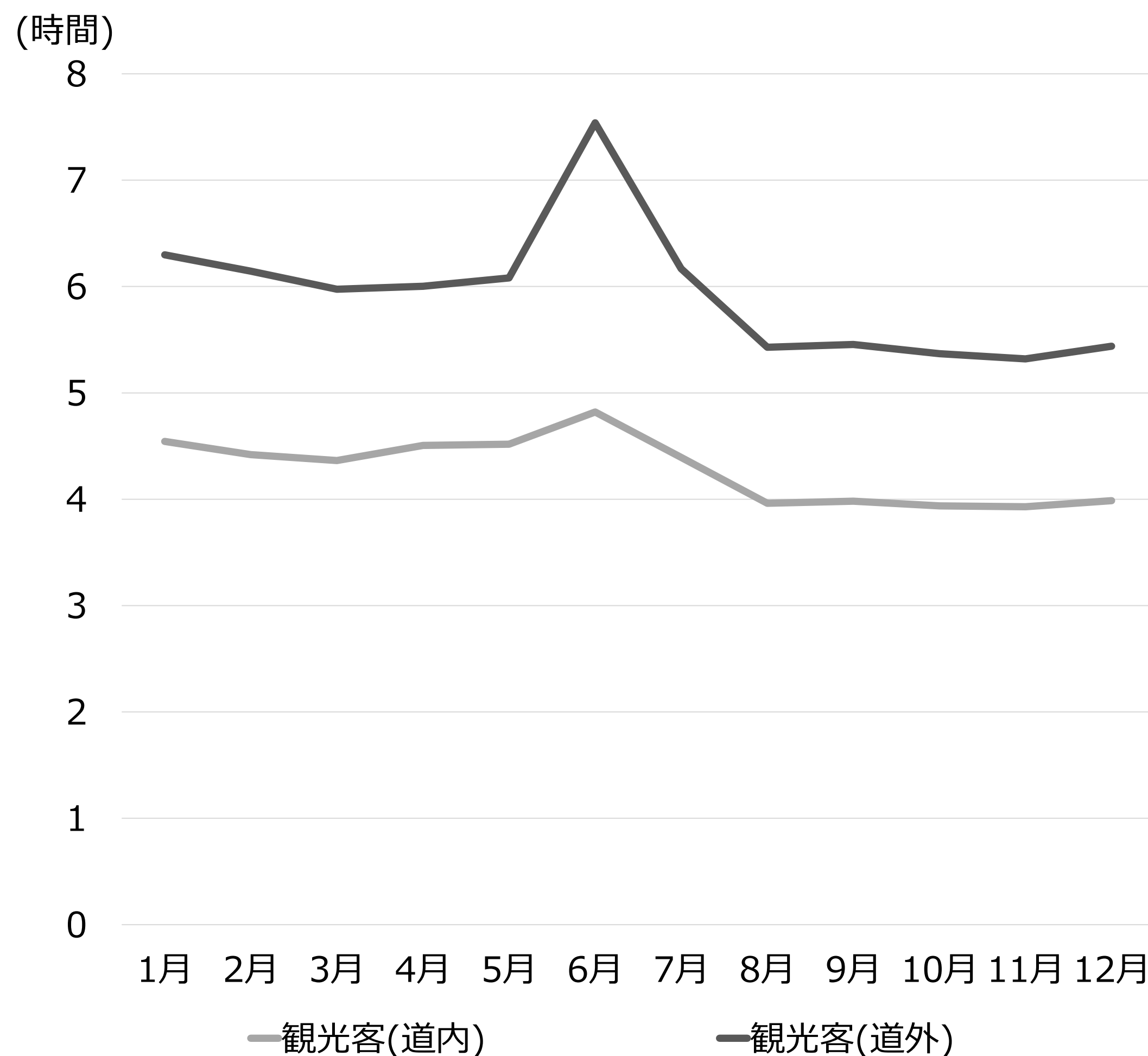
● 平均市内宿泊数



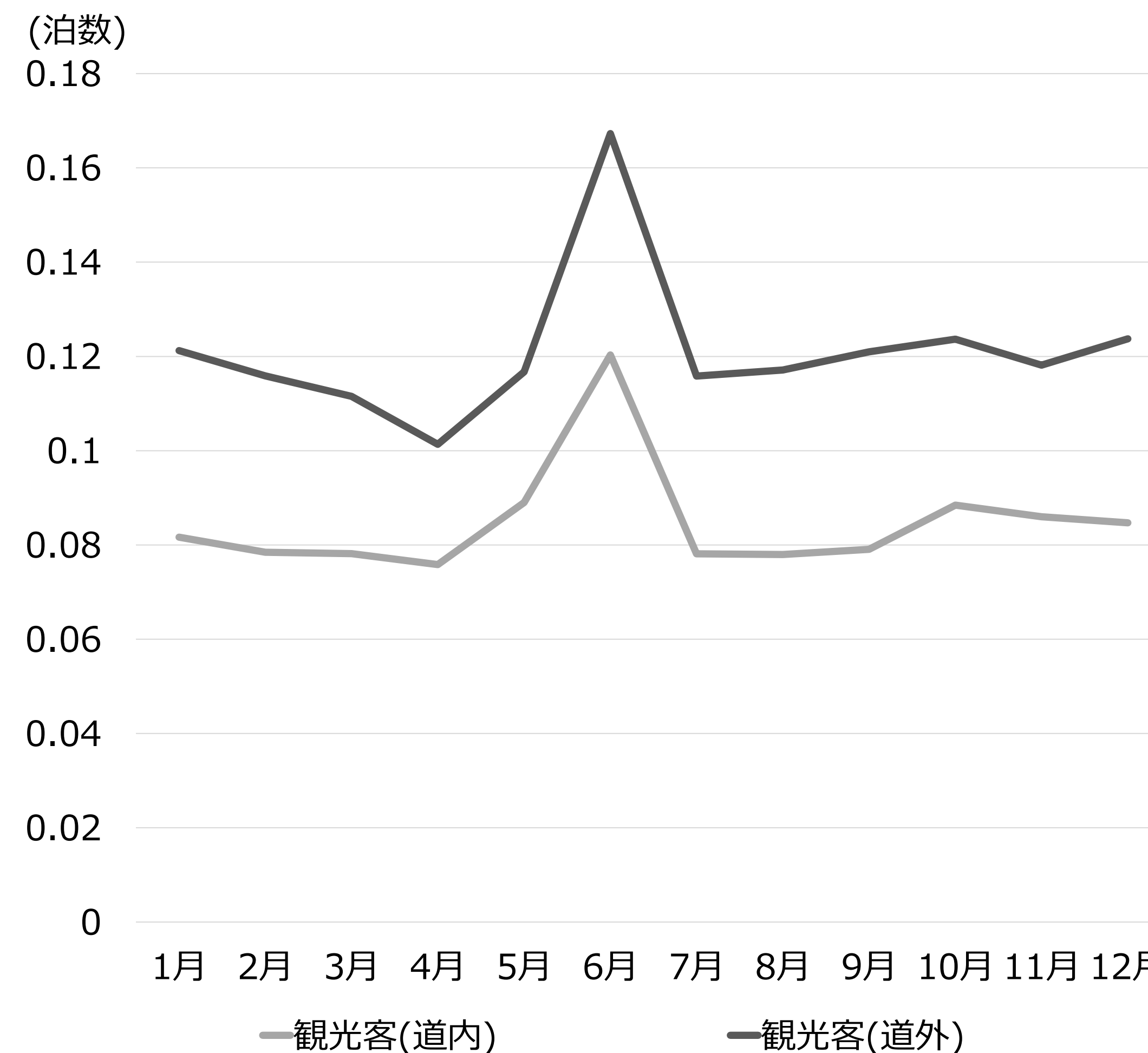
小樽市全域来訪者の平均滞在時間・平均市内宿泊数

- 道外客の平均滞在時間は6時間前後であるが、6月には1時間強の増加がみられる。
- 道外客の平均宿泊数は0.12泊前後であるが、6月には0.05泊ほどの増加がみられる。

● 平均滞在時間



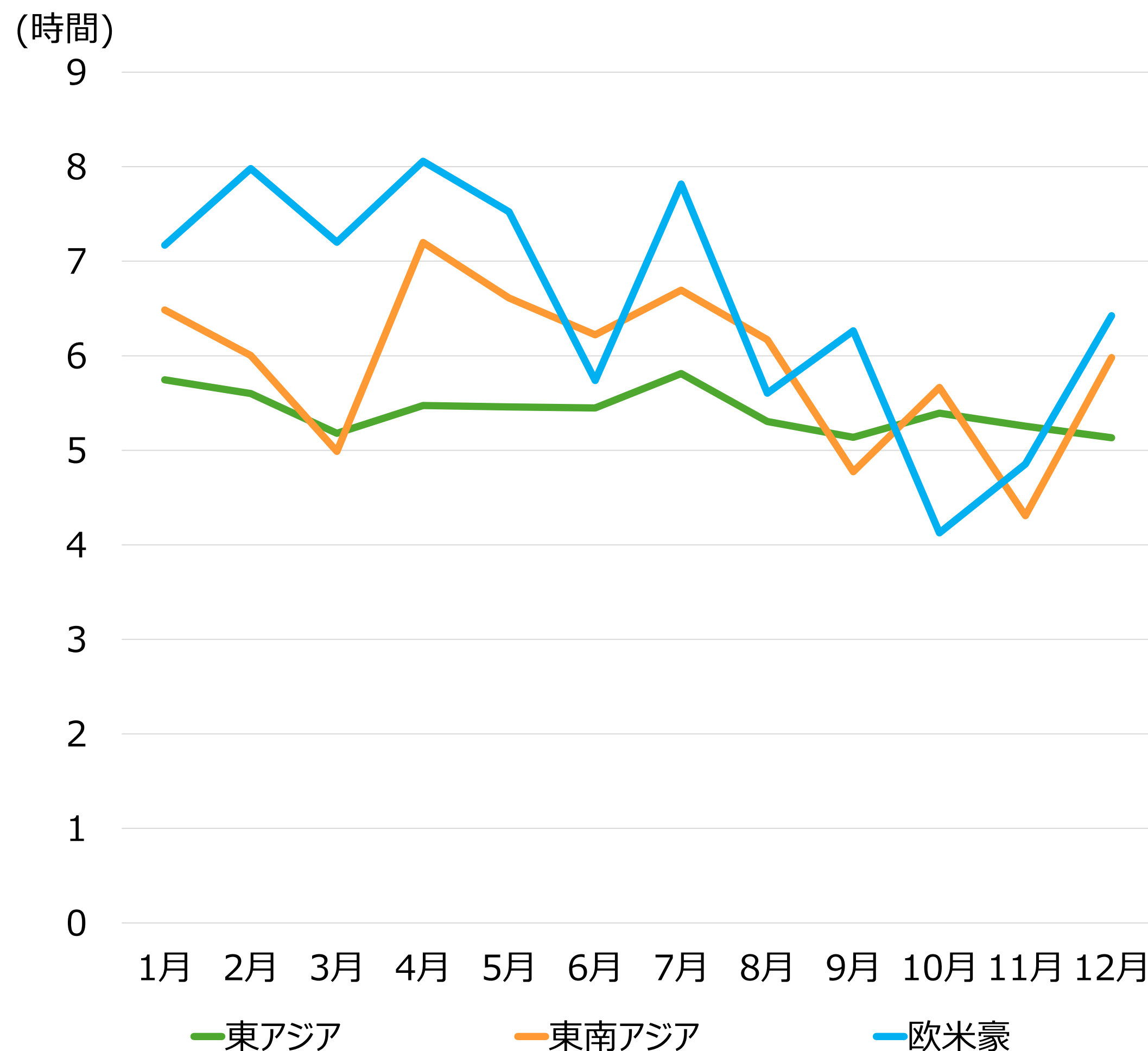
● 平均市内宿泊数



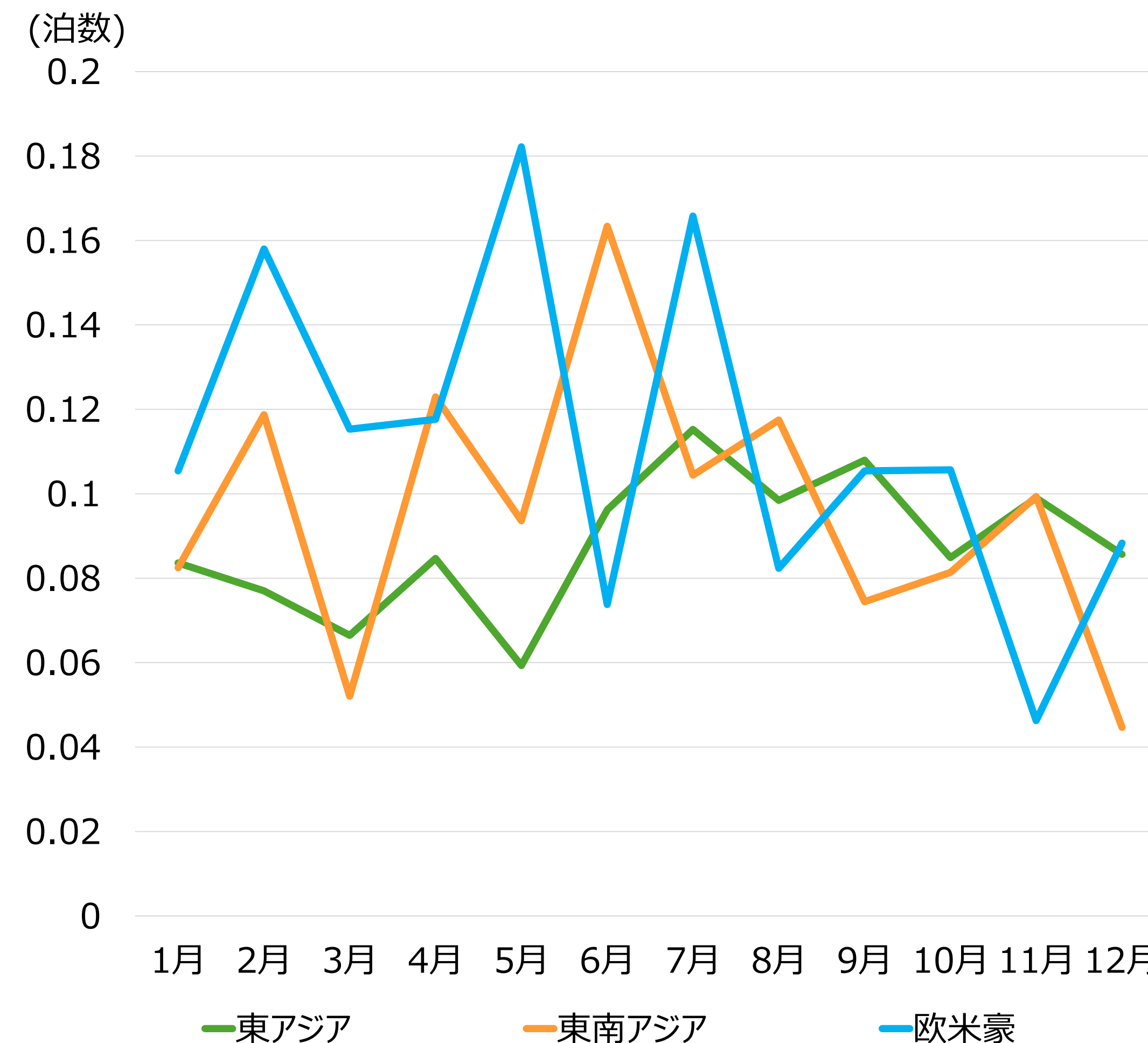
小樽市全域来訪者の平均滞在時間・平均市内宿泊数

- 東アジア居住者の滞在時間は、一年を通して5～6時間で安定している。
- 東南アジア・欧米豪居住者は滞在時間が東アジアよりも長い傾向にあるが、3月・6月と秋季には落ち込んでいる。

● 平均滞在時間



● 平均市内宿泊数

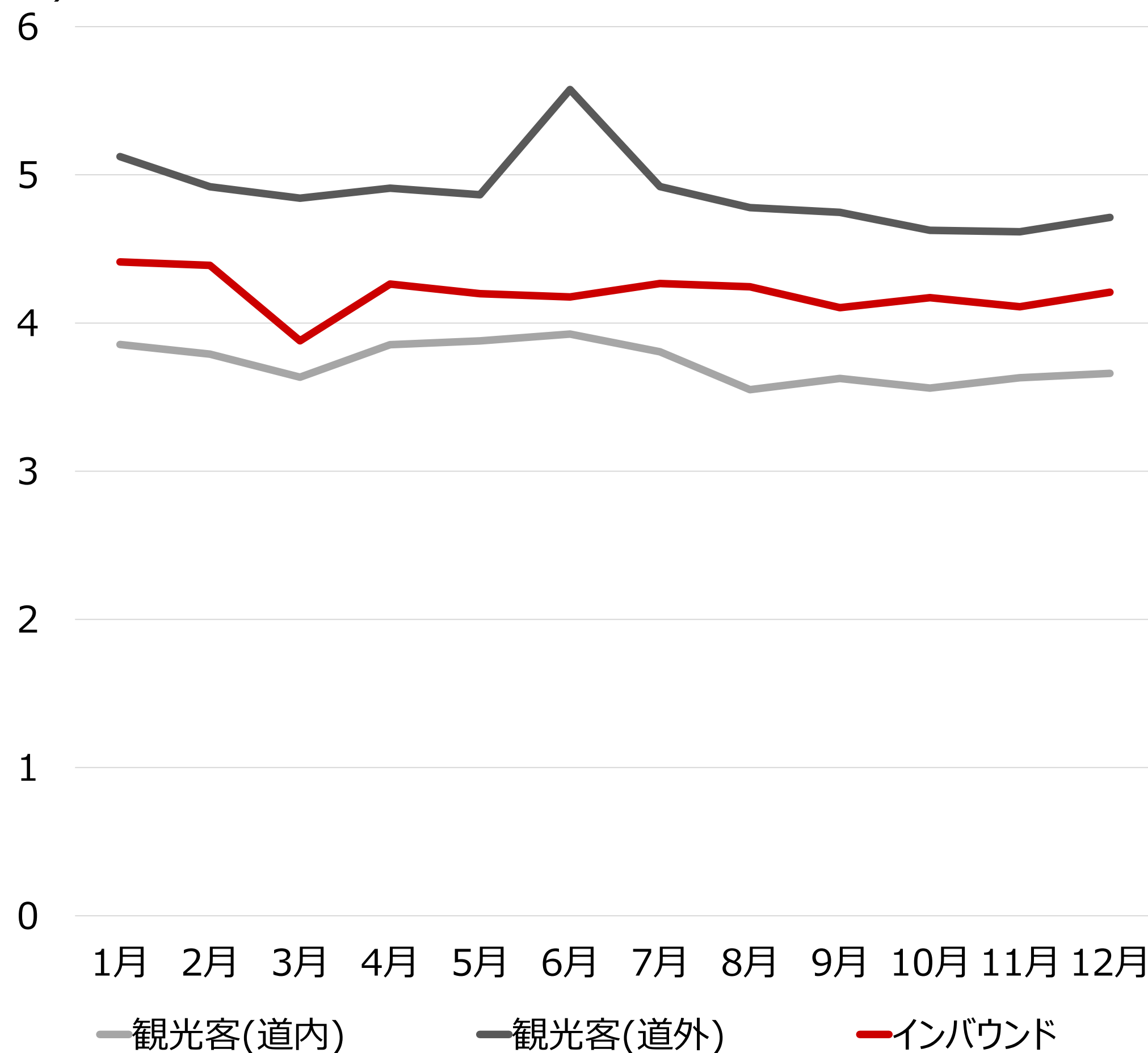


中心部エリア・小樽運河来訪者の平均滞在時間

- いずれのエリアでも、道外客に比べてインバウンドの平均滞在時間は少なく、短期滞在傾向がみられる。
- 中心部エリアと異なり、小樽運河では道内客の滞在時間が道外客・インバウンドよりも長くなっている。

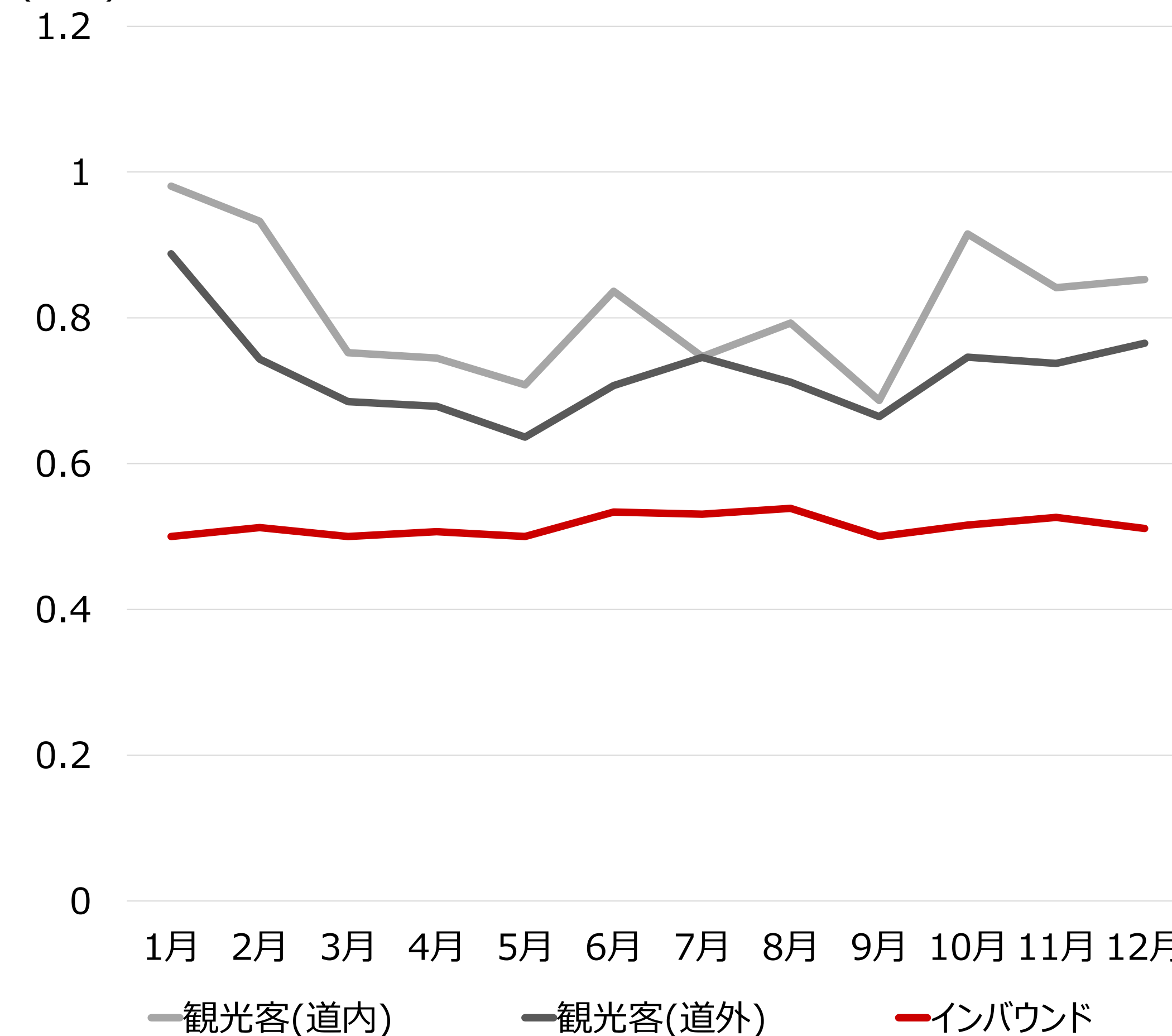
● 中心部エリアの平均滞在時間

(時間)



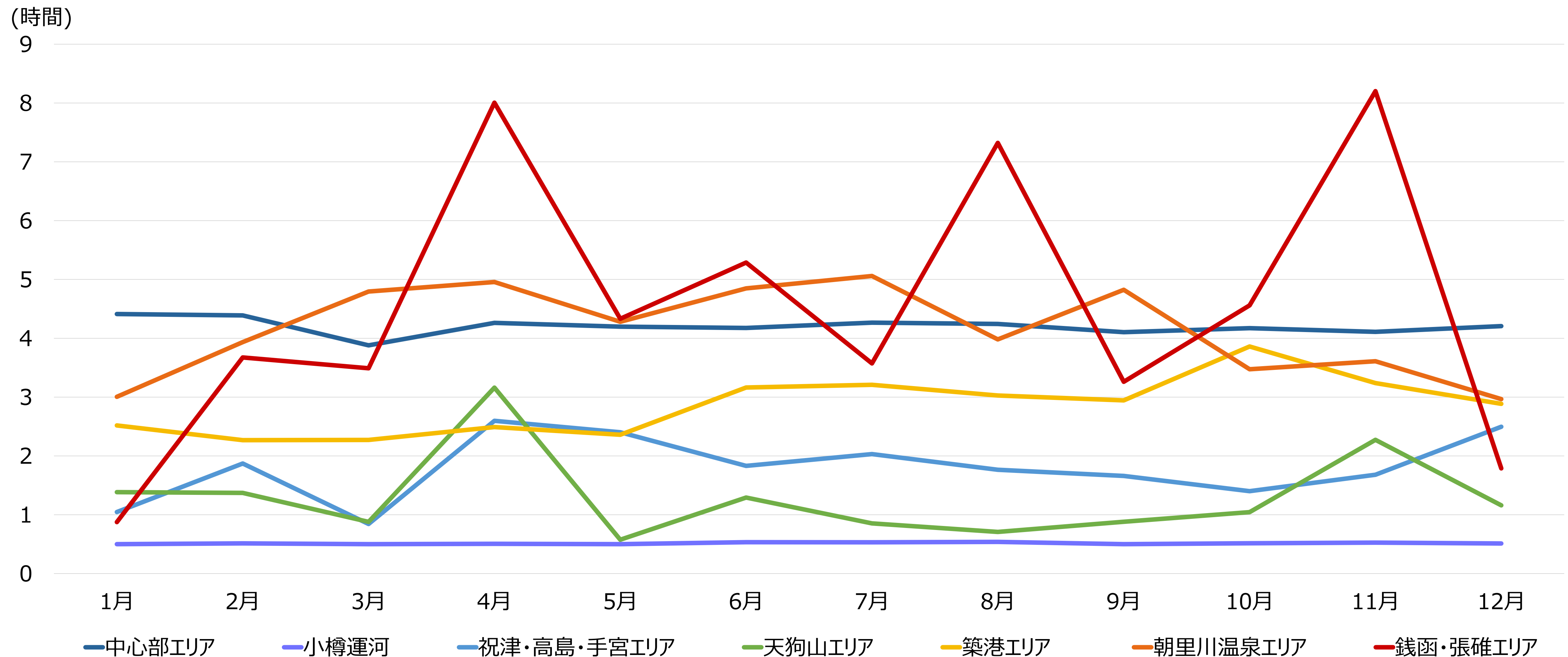
● 小樽運河の平均滞在時間

(時間)



各エリアの平均滞在時間（インバウンド）

- 築港エリアは、中心部エリアに比べると平均滞在時間が短いものの、夏季以降に滞在時間が増加傾向にある。
- 宿泊地である朝里川温泉エリアのほか、銭函・張碓エリアでも滞在時間が長い傾向にあり、特殊需要がうかがえる。



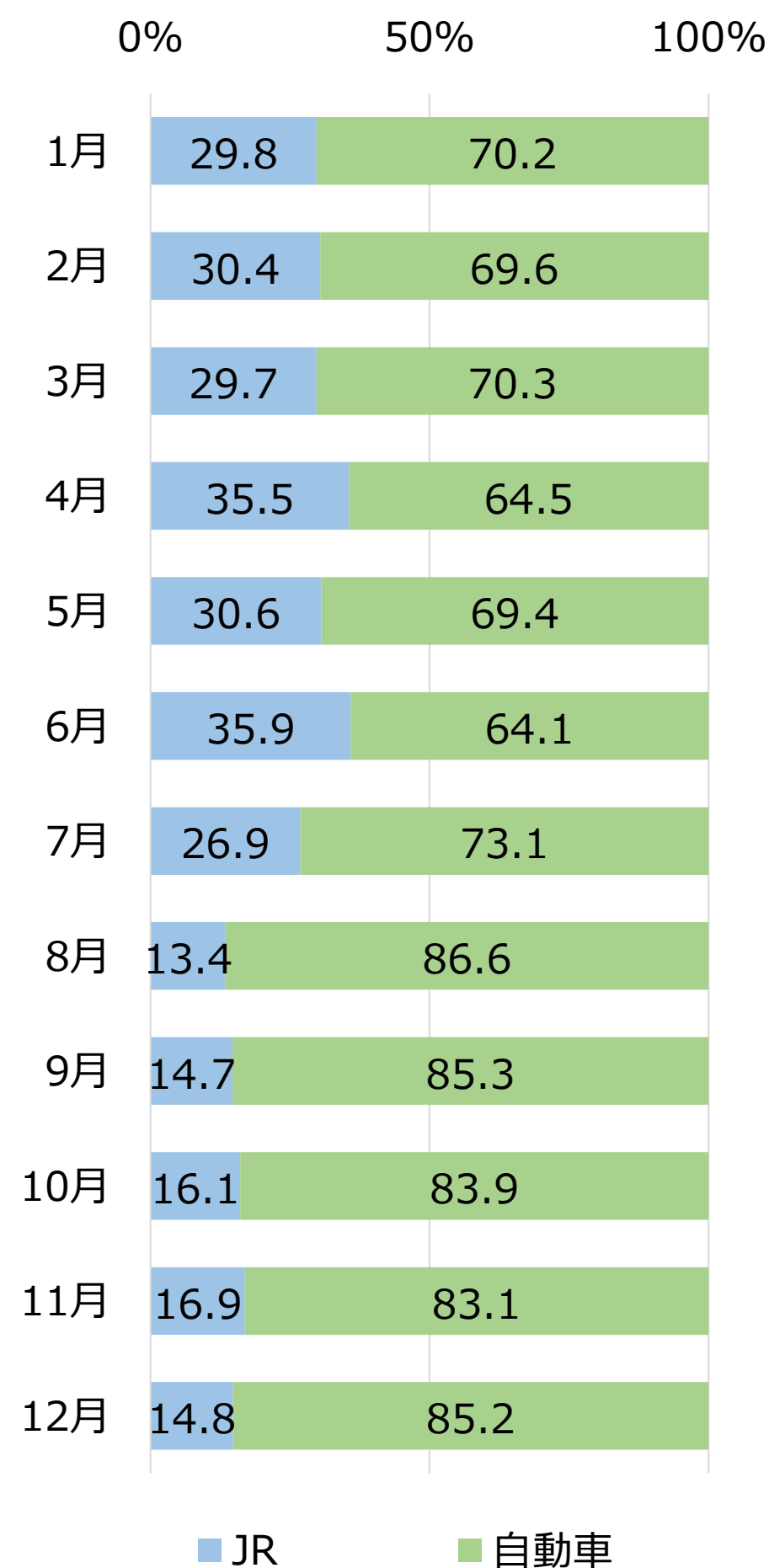
利用交通手段

小樽市全域来訪者の利用交通手段分布

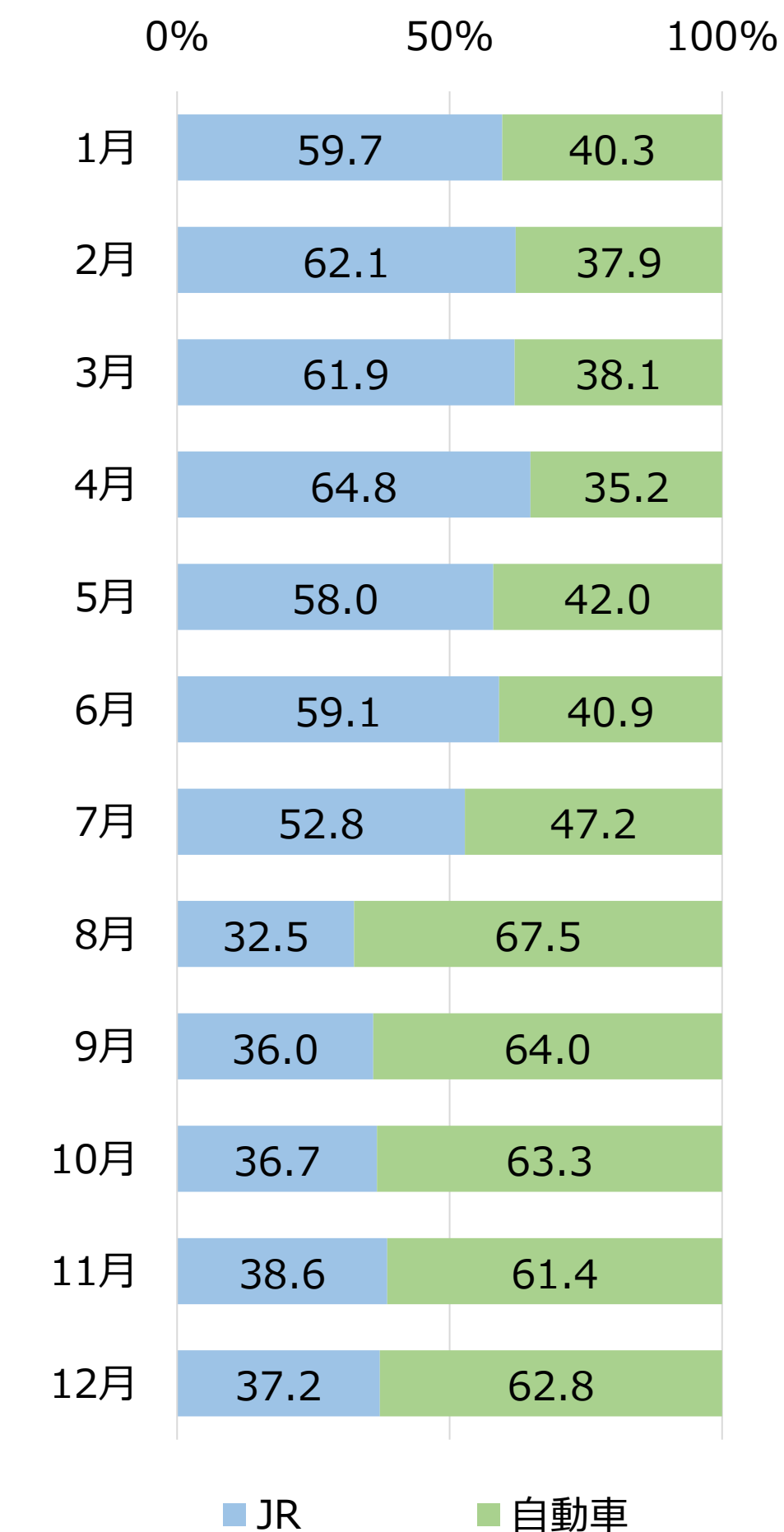
- 道内客は一年を通して自動車の利用が多いが、道外客は1月～7月はJR、8月～12月は自動車の利用が多い。
- 東アジア・東南アジア居住者は一年を通して自動車の利用が多いが、欧米豪居住者は10月・12月以外はJRの利用が多い。

● 利用交通手段分布 〈JR・自動車〉 ※自動車にはマイカー・レンタカー・バスのいずれも含む

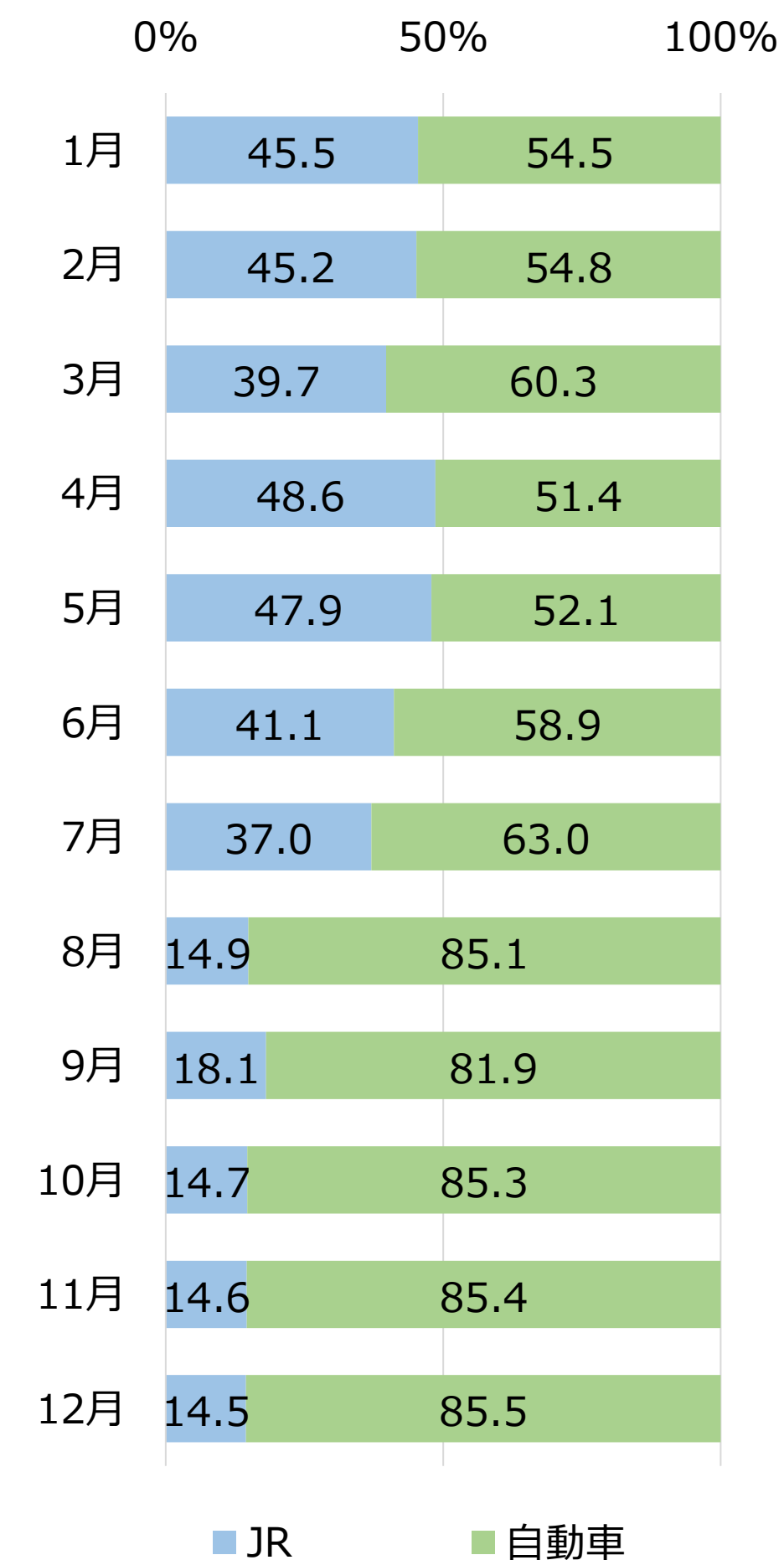
【日本人観光客(道内)】



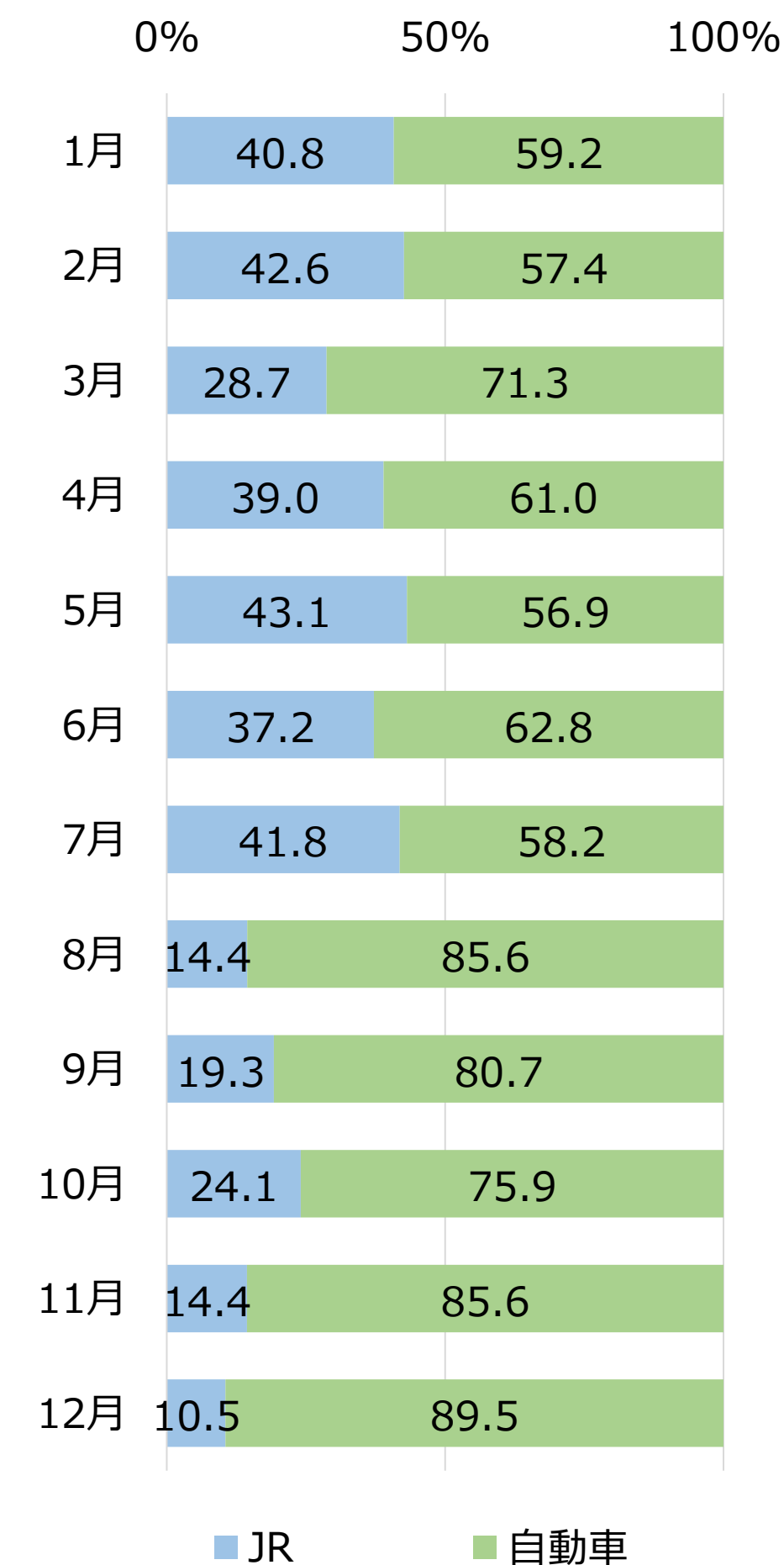
【日本人観光客(道外)】



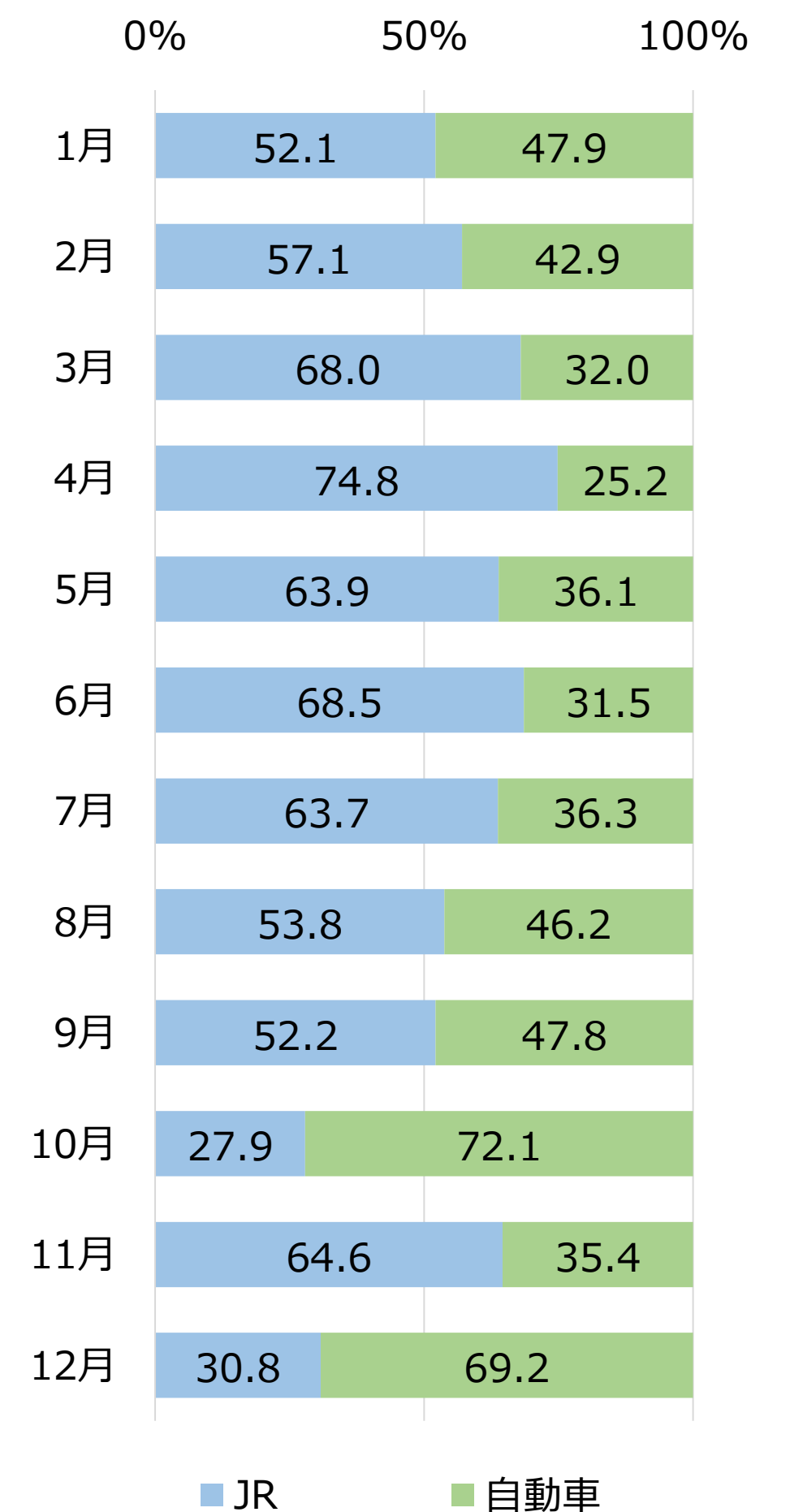
【東アジア】



【東南アジア】



【欧米豪】



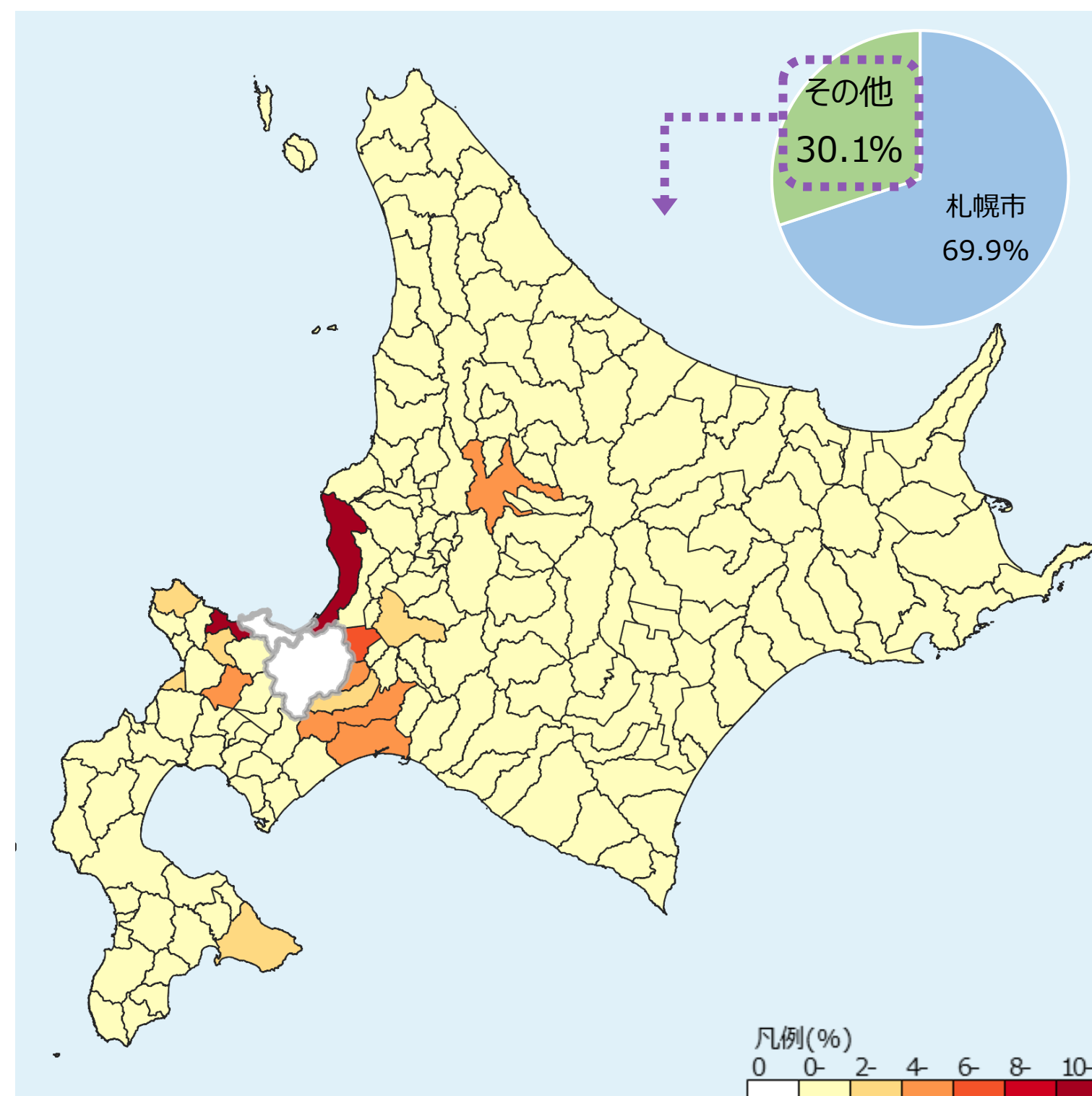
周遊先

小樽市全域来訪者の周遊先（2024年）

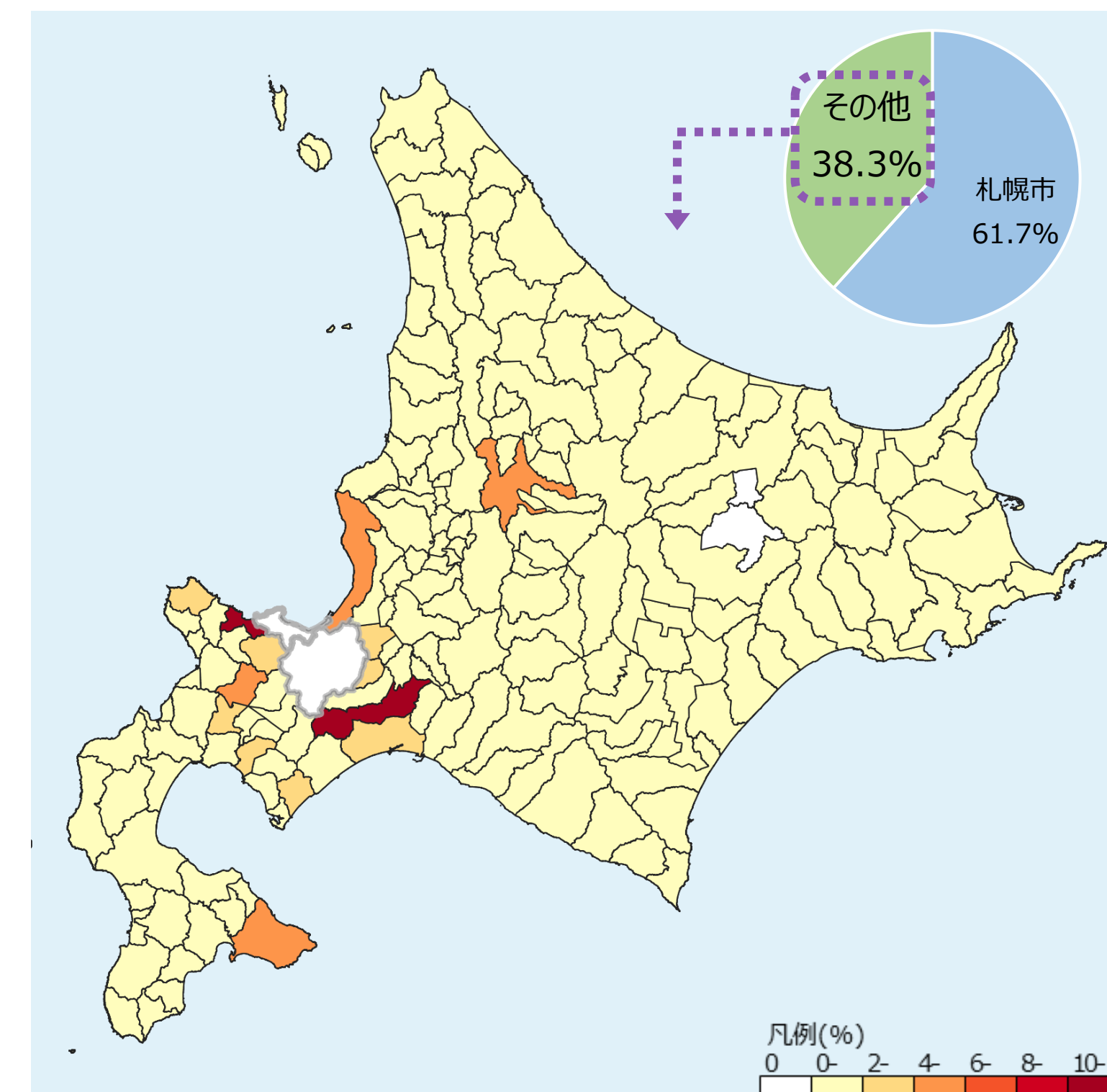
- 道内客は、札幌のほか余市・石狩との周遊が特に多く、次いで江別が多い。
- 道外客は、札幌のほか余市・千歳との周遊が特に多く、次いで石狩・倶知安・函館・旭川が多い。

● 周遊先分布 〈全道〉

【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】



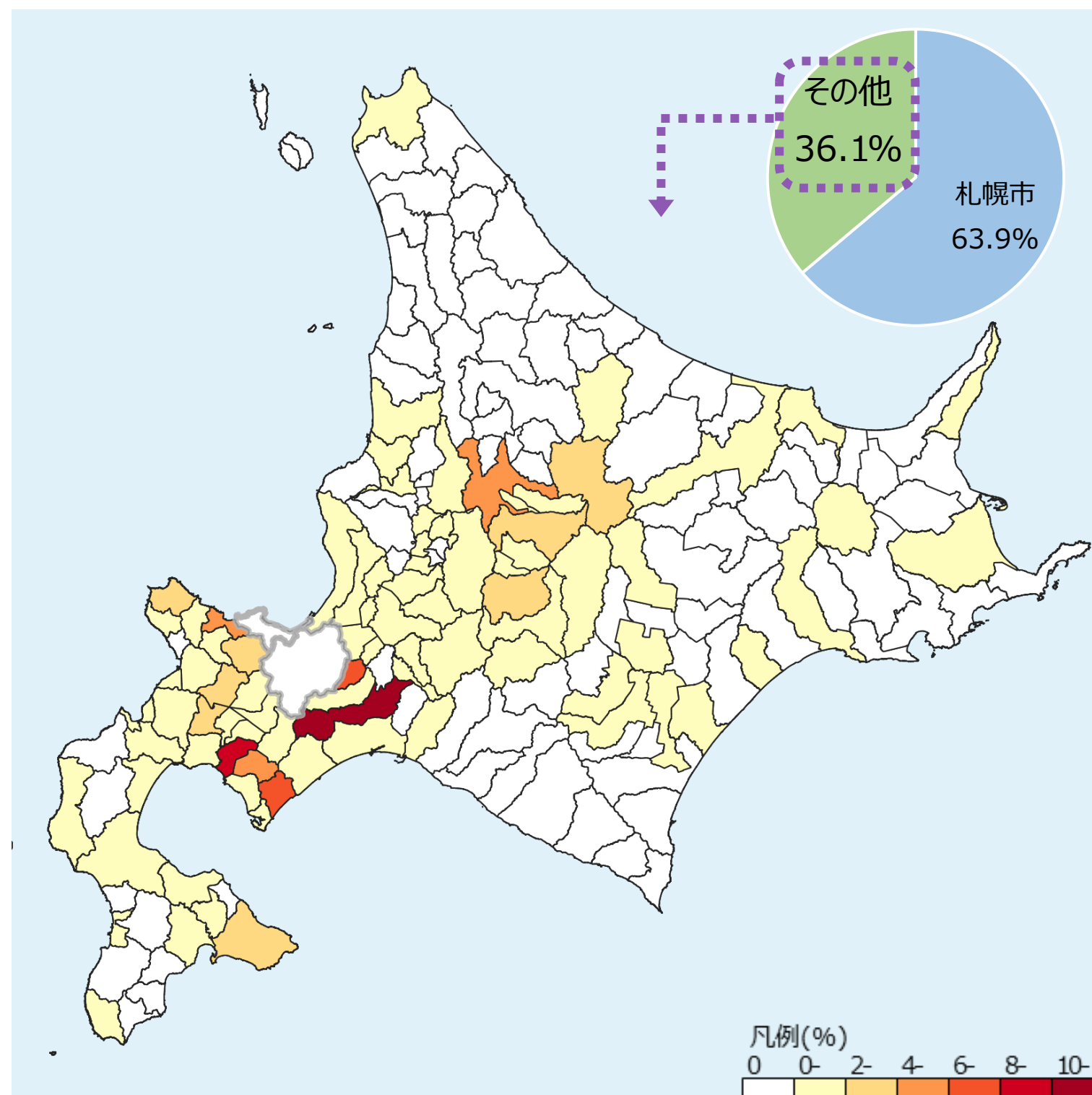
※ヒートマップは、札幌市と小樽市を除いた全道の合計値を100%としている。

小樽市全域来訪者の周遊先（2024年）

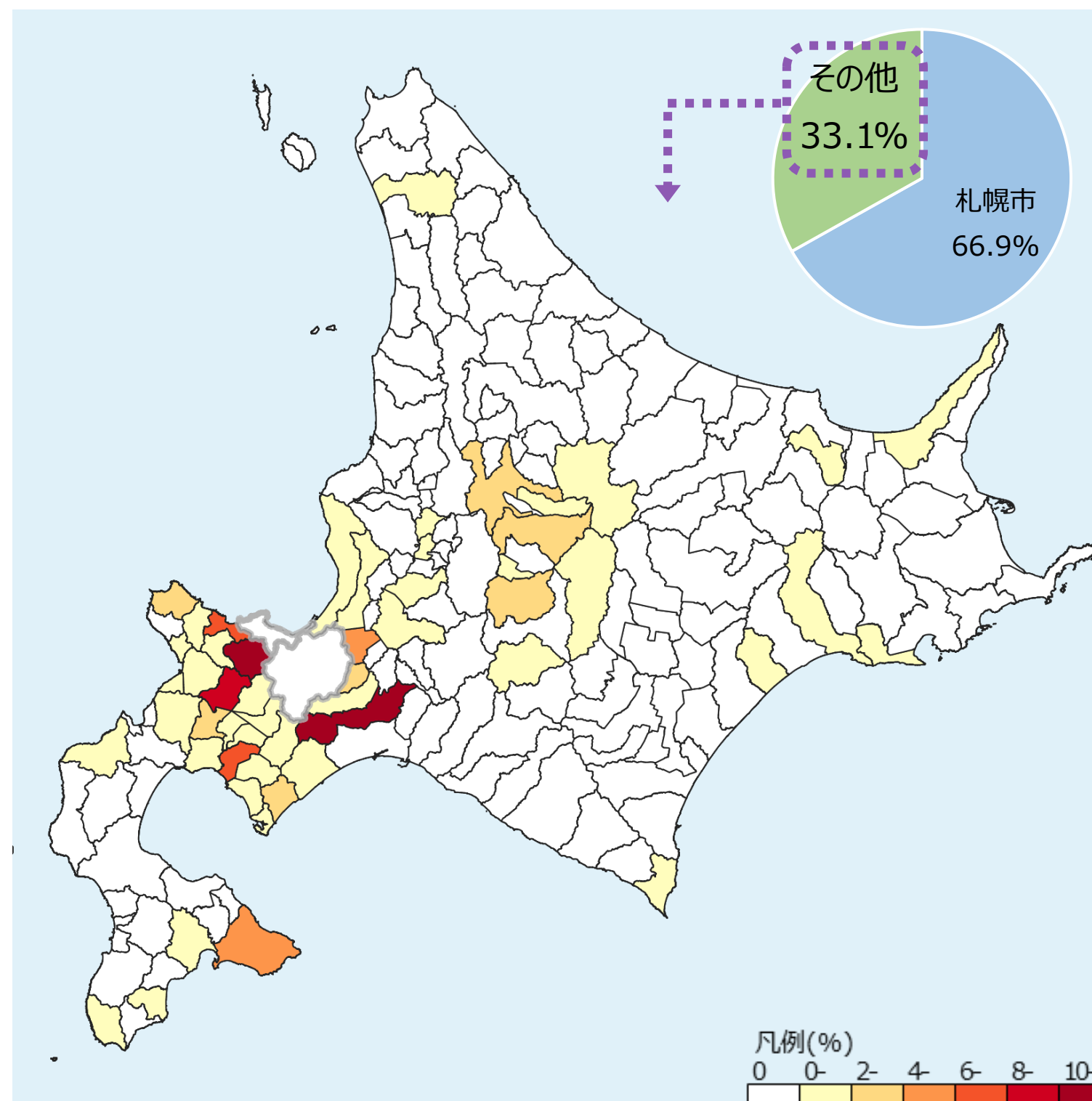
- 東アジア居住者は、札幌のほか千歳との周遊が特に多く、次いで洞爺湖・登別・江別が多い。
- 東南アジア居住者は、札幌のほか赤井川・千歳との周遊が特に多く、次いで倶知安・余市・洞爺湖が多い。
- 欧米豪居住者は、札幌のほか倶知安・登別との周遊が特に多く、次いで余市・千歳・上川が多い。

● 周遊先分布 〈全道〉

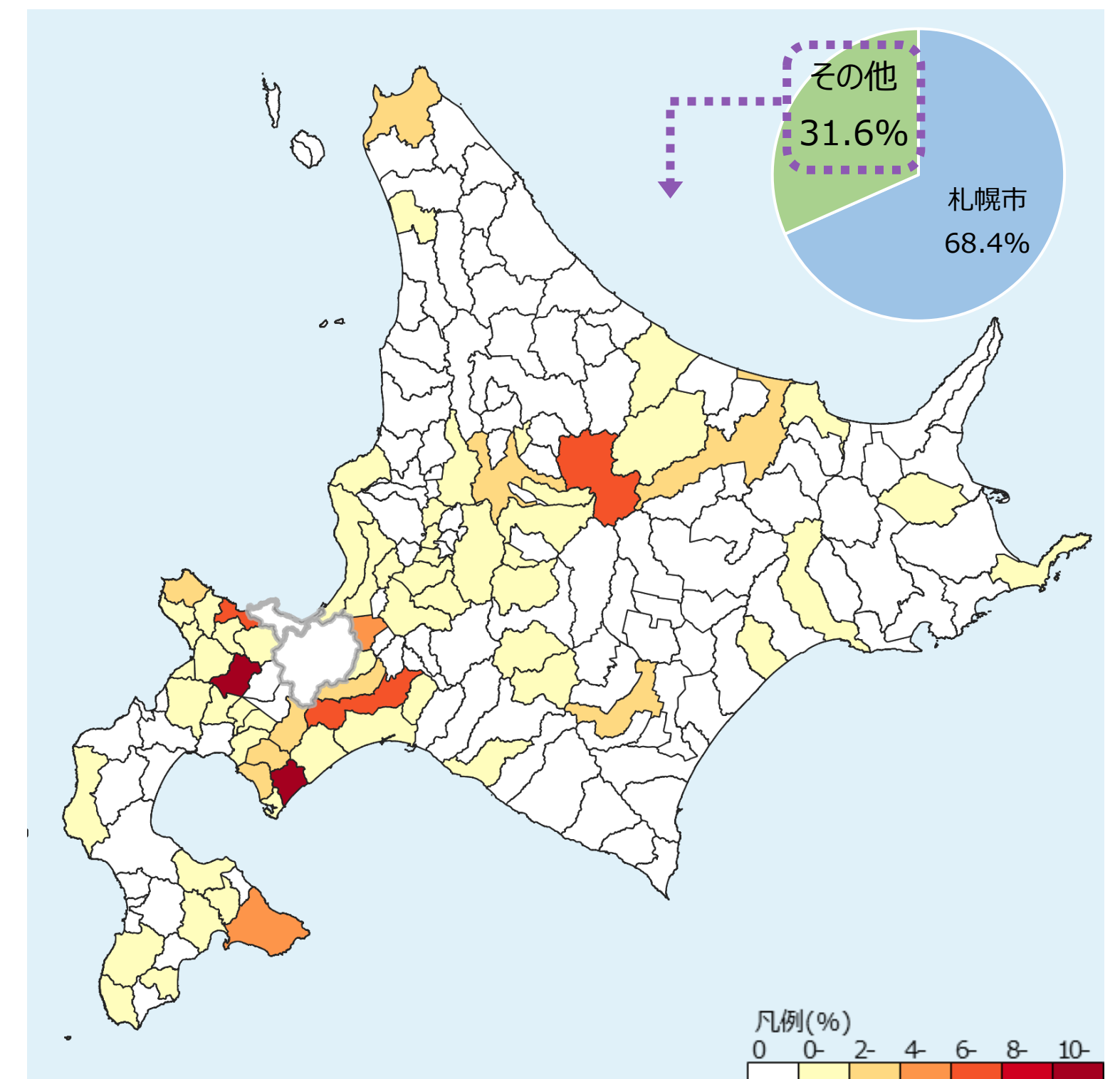
【東アジア】



【東南アジア】



【欧米豪】



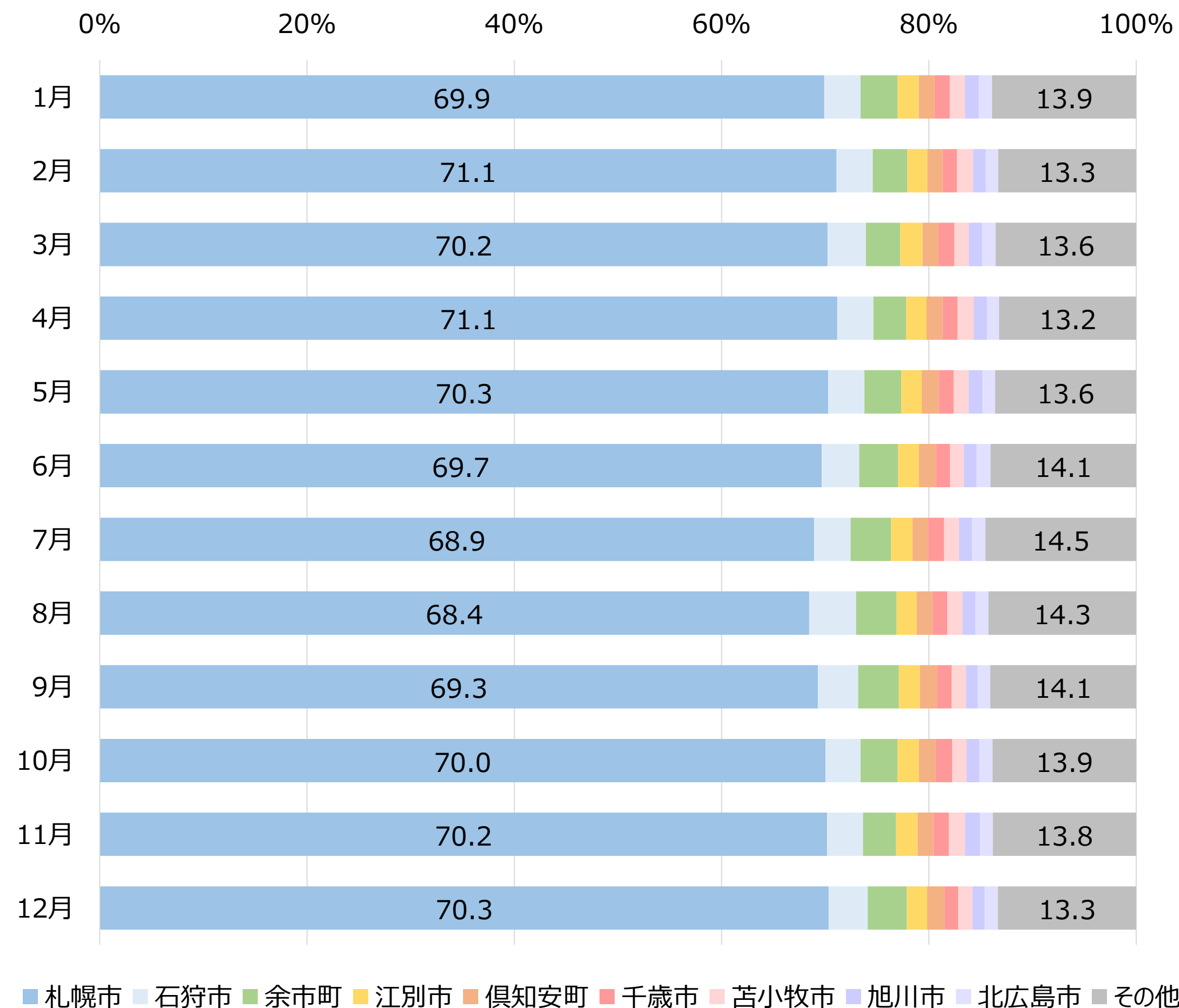
※ヒートマップは、札幌市と小樽市を除いた全道の合計値を100%としている。

小樽市全域来訪者の周遊先分布

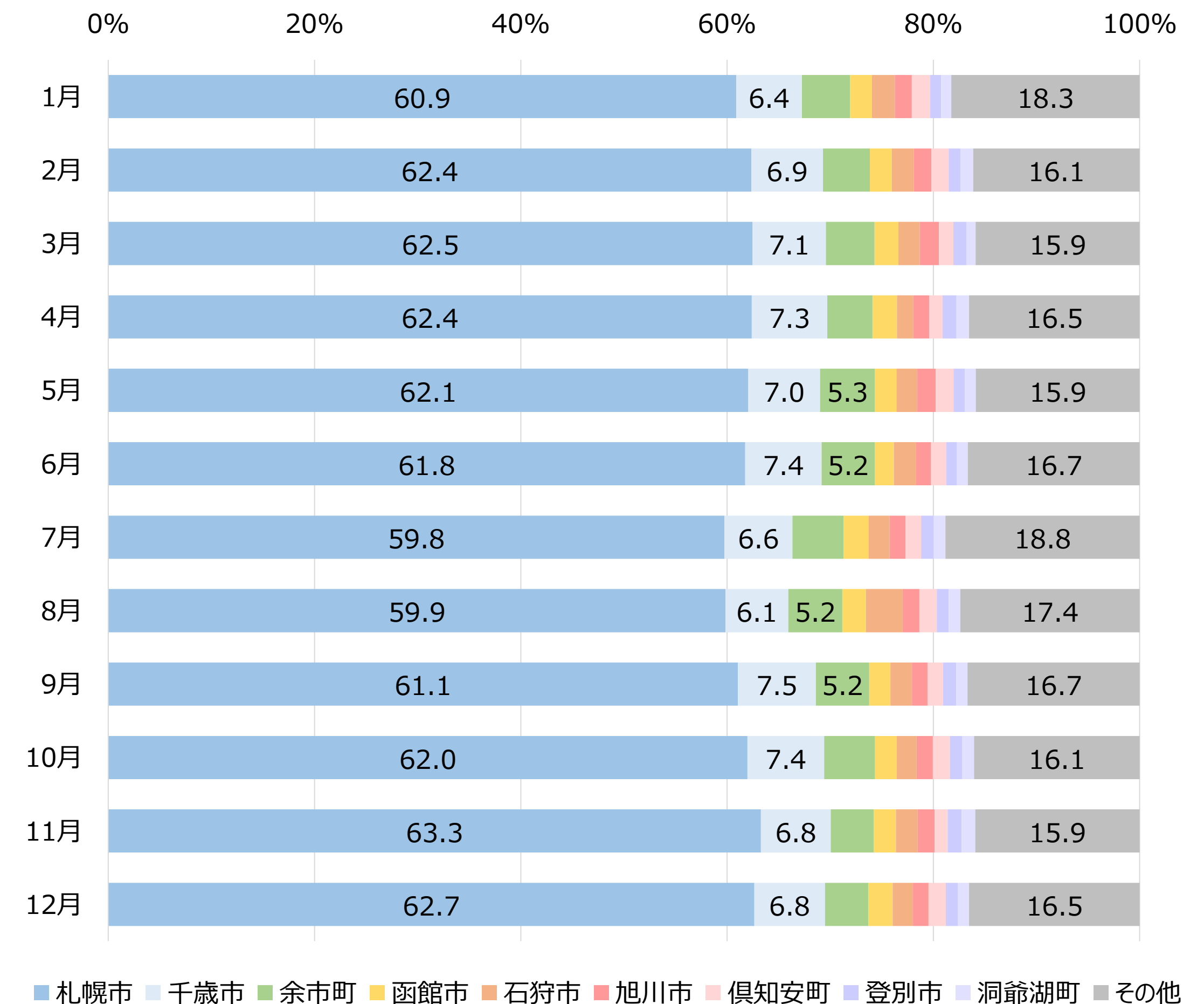
- 道内客は、一年を通して札幌のほか石狩・余市との周遊が特に多い。
- 道外客は、一年を通して札幌のほか千歳・余市との周遊が特に多い。

● 周遊先分布 〈全道〉

【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】

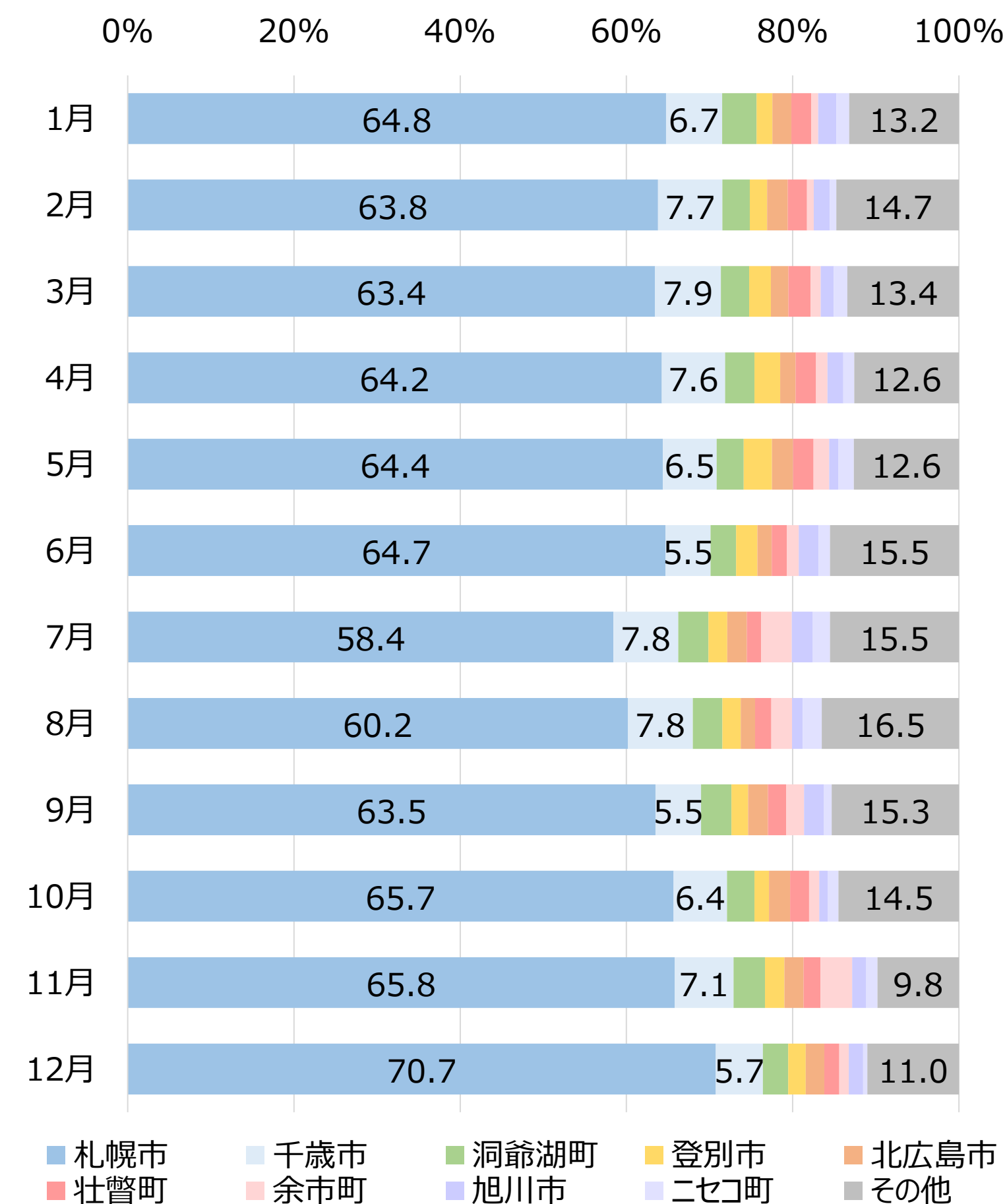


小樽市全域来訪者の周遊先分布

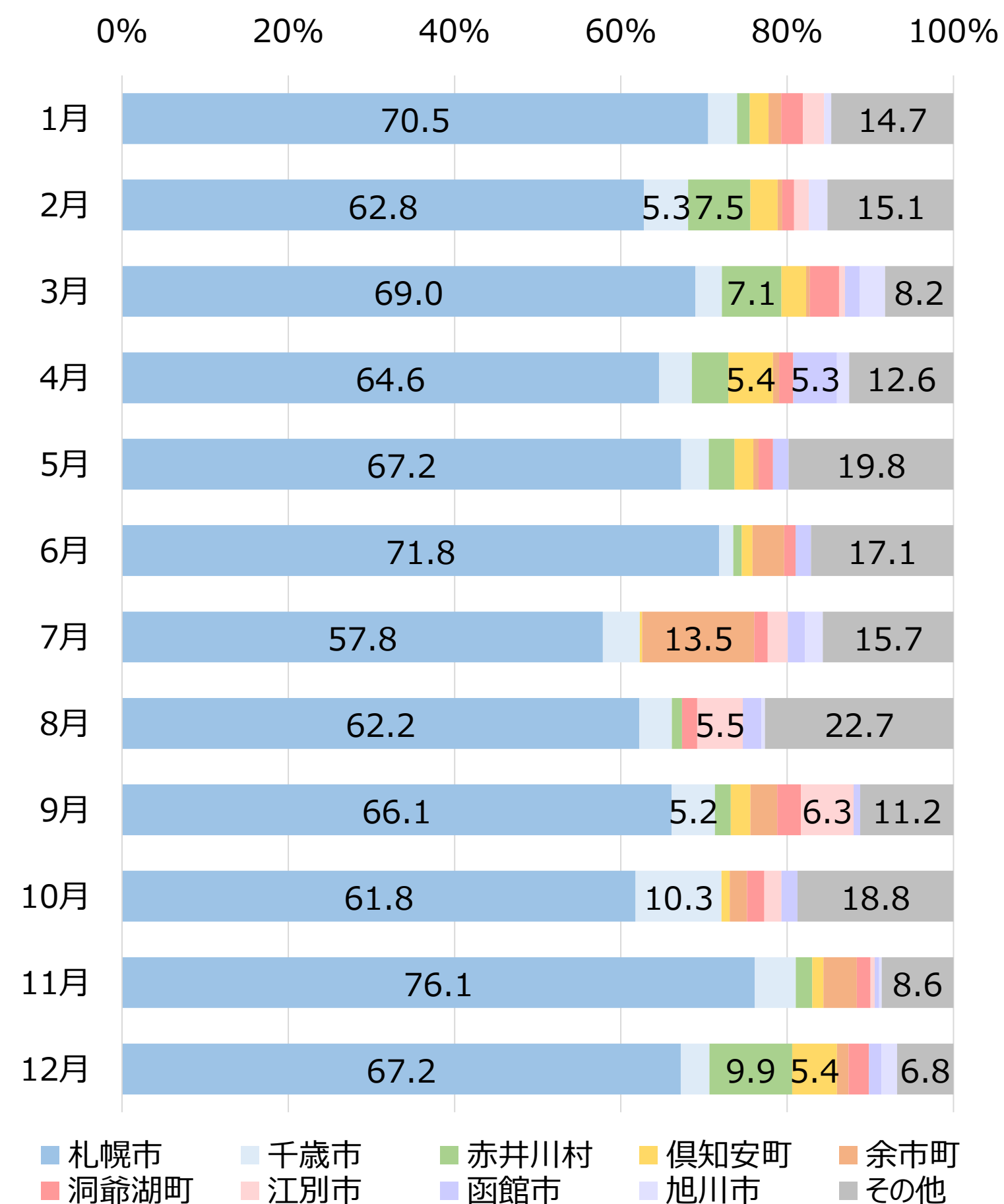
- 東アジア居住者は、札幌のほか千歳との周遊が特に多く、次いで洞爺湖・登別が多い。
- 東南アジア居住者は、札幌のほか、2月・12月は赤井川、7月は余市、10月は千歳との周遊が特に多い。
- 欧米豪居住者は、札幌のほか、2月・11月は登別、5月は函館、7月は江別、10月は上川との周遊が特に多い。

● 周遊先分布 〈全道〉

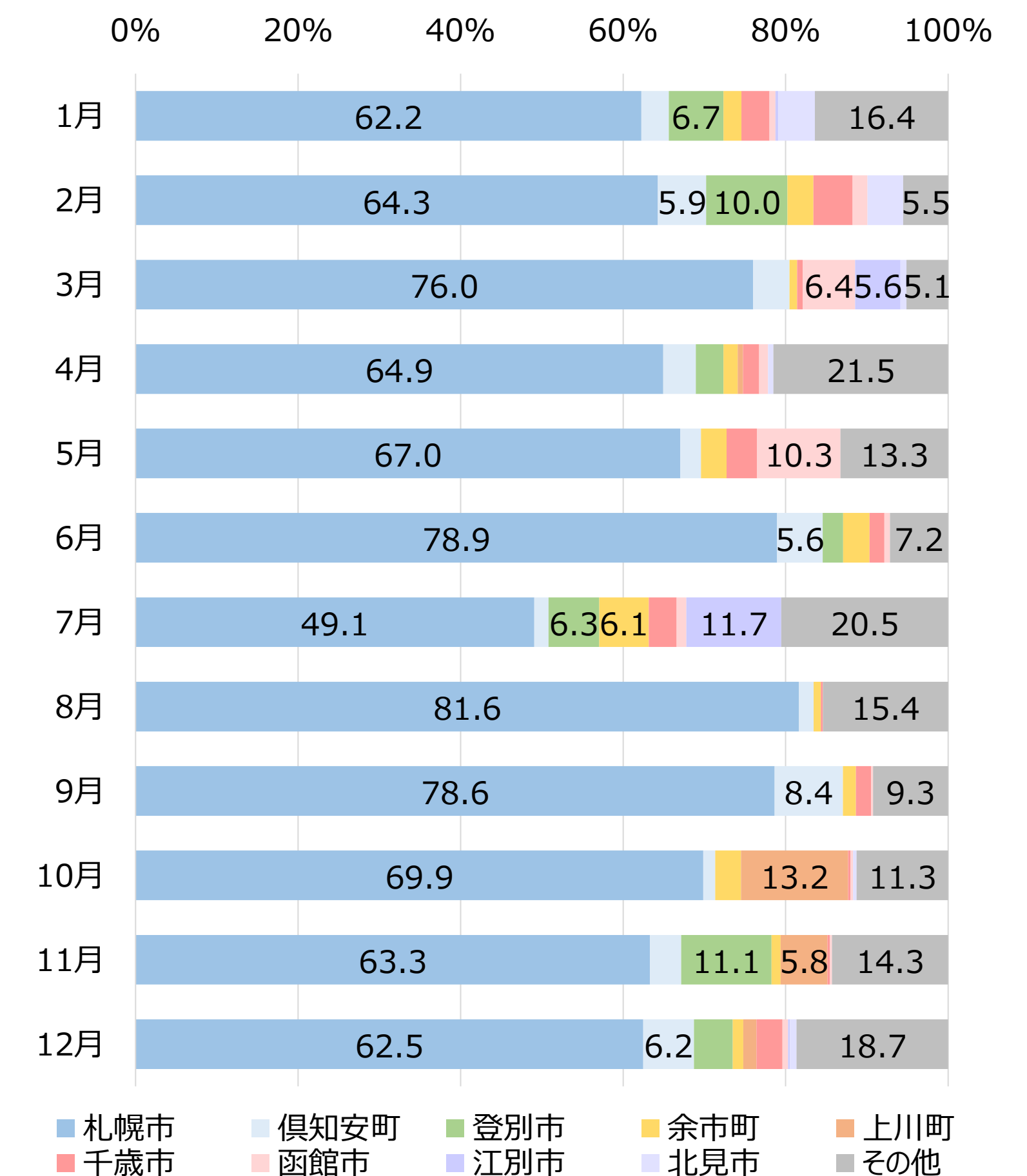
【東アジア】



【東南アジア】



【欧米豪】

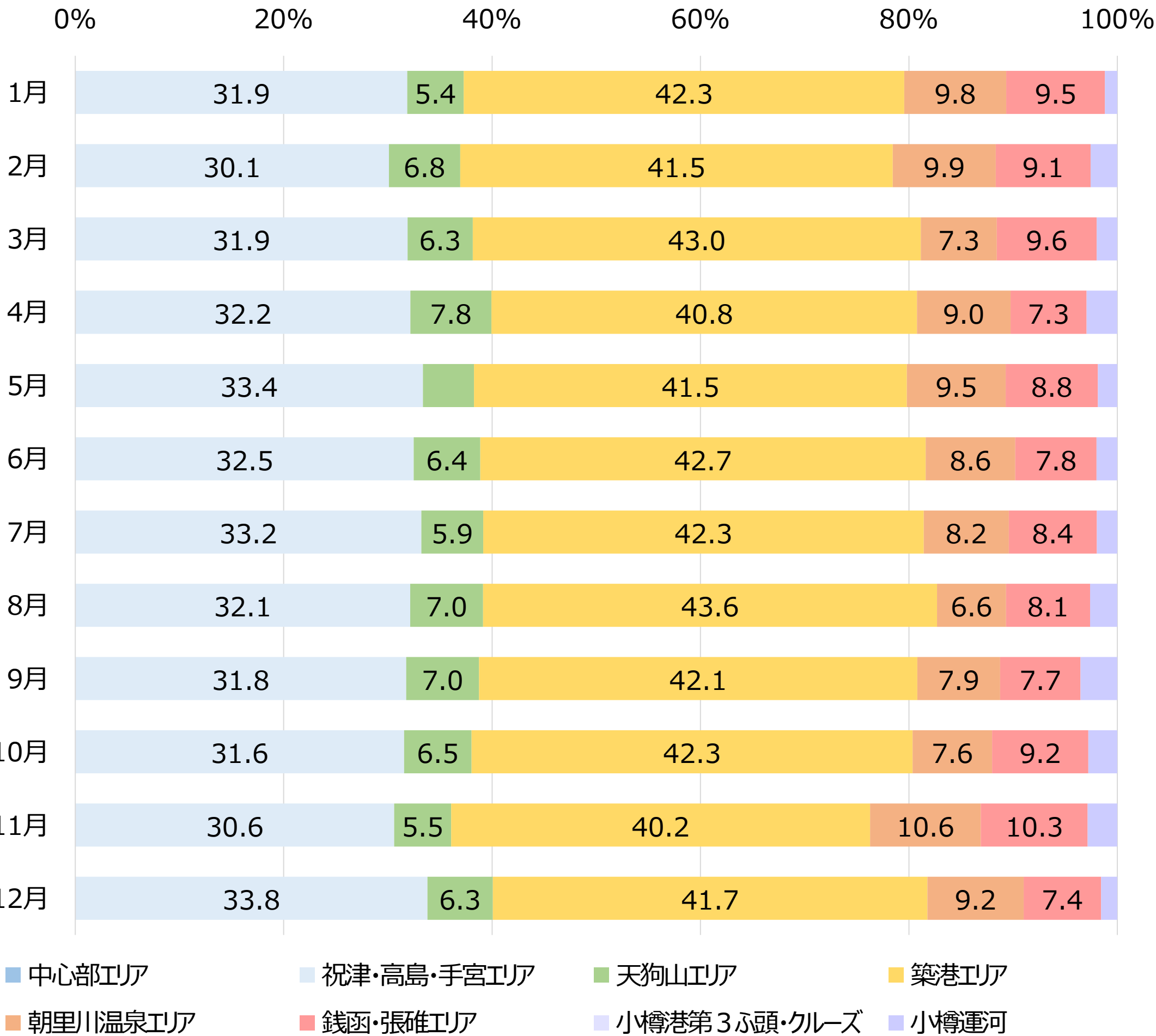


中心部エリア来訪者の周遊先分布

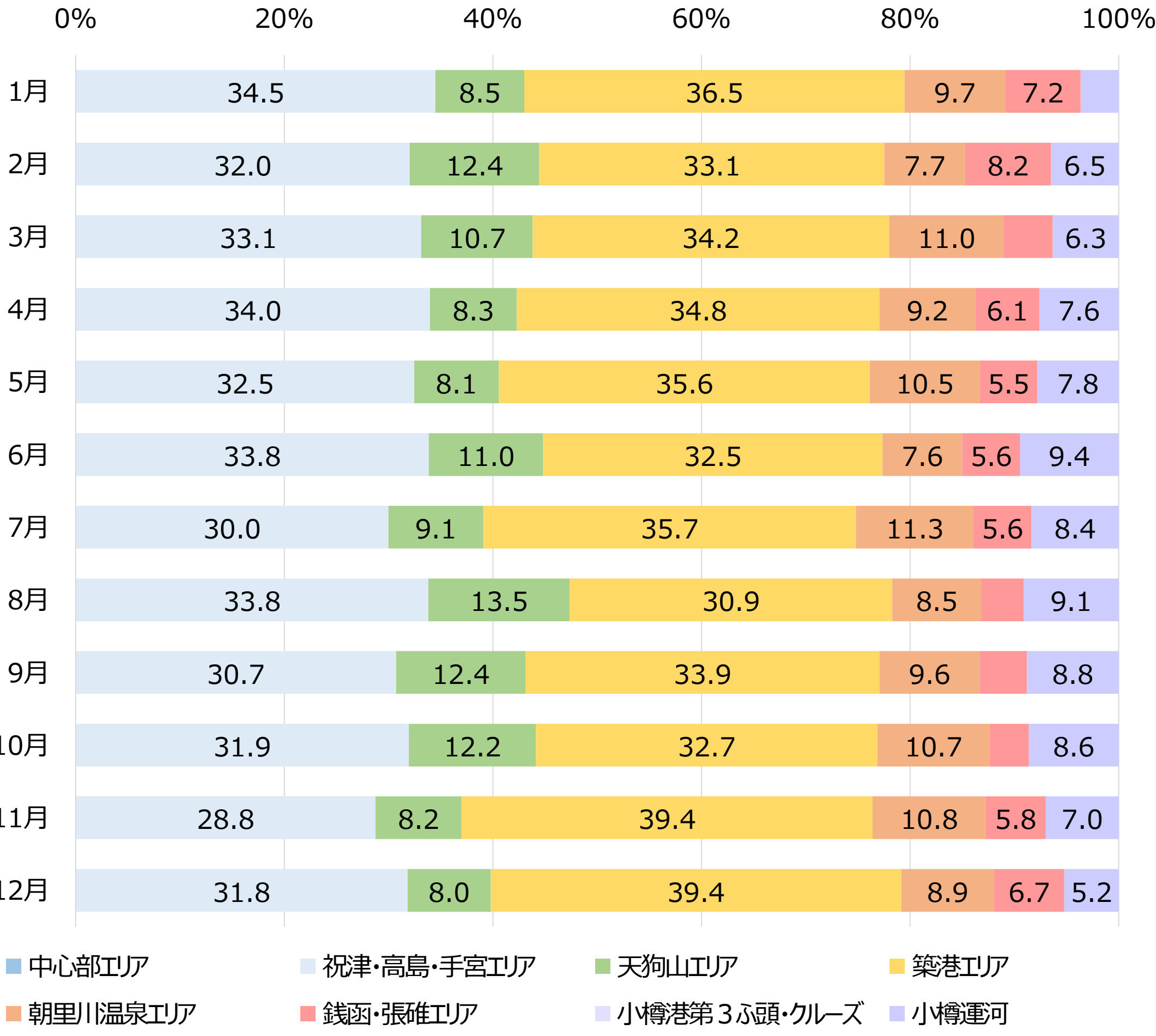
- 道内客・道外客とも、祝津・高島・手宮エリアや築港エリアとの周遊が多い。
- その他のエリアについては、道外客は道内客に比べて天狗山エリア・朝里川温泉エリア・小樽運河との周遊が多い傾向にある。

● 周遊先分布 〈小樽市内〉

【日本人観光客(道内)】



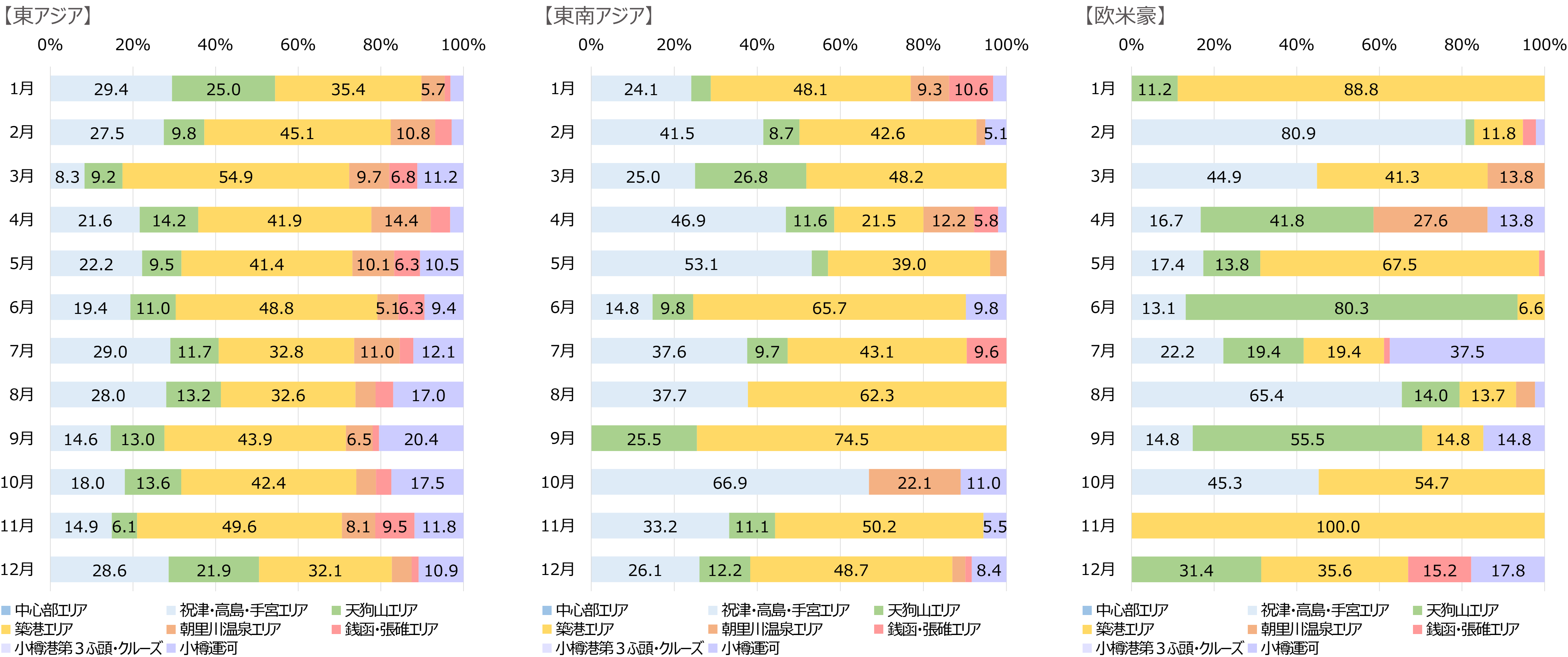
【日本人観光客(道外)】



中心部エリア来訪者の周遊先分布

- 東アジア居住者は築港エリアとの周遊が最も多く、3月に顕著である。また、秋季には小樽運河との周遊が増加している。
- 東南アジア・欧米豪居住者の周遊傾向は月により異なるが、祝津・高島・手宮エリアまたは築港エリアとの周遊が最多の月が多い。

● 周遊先分布 〈小樽市内〉

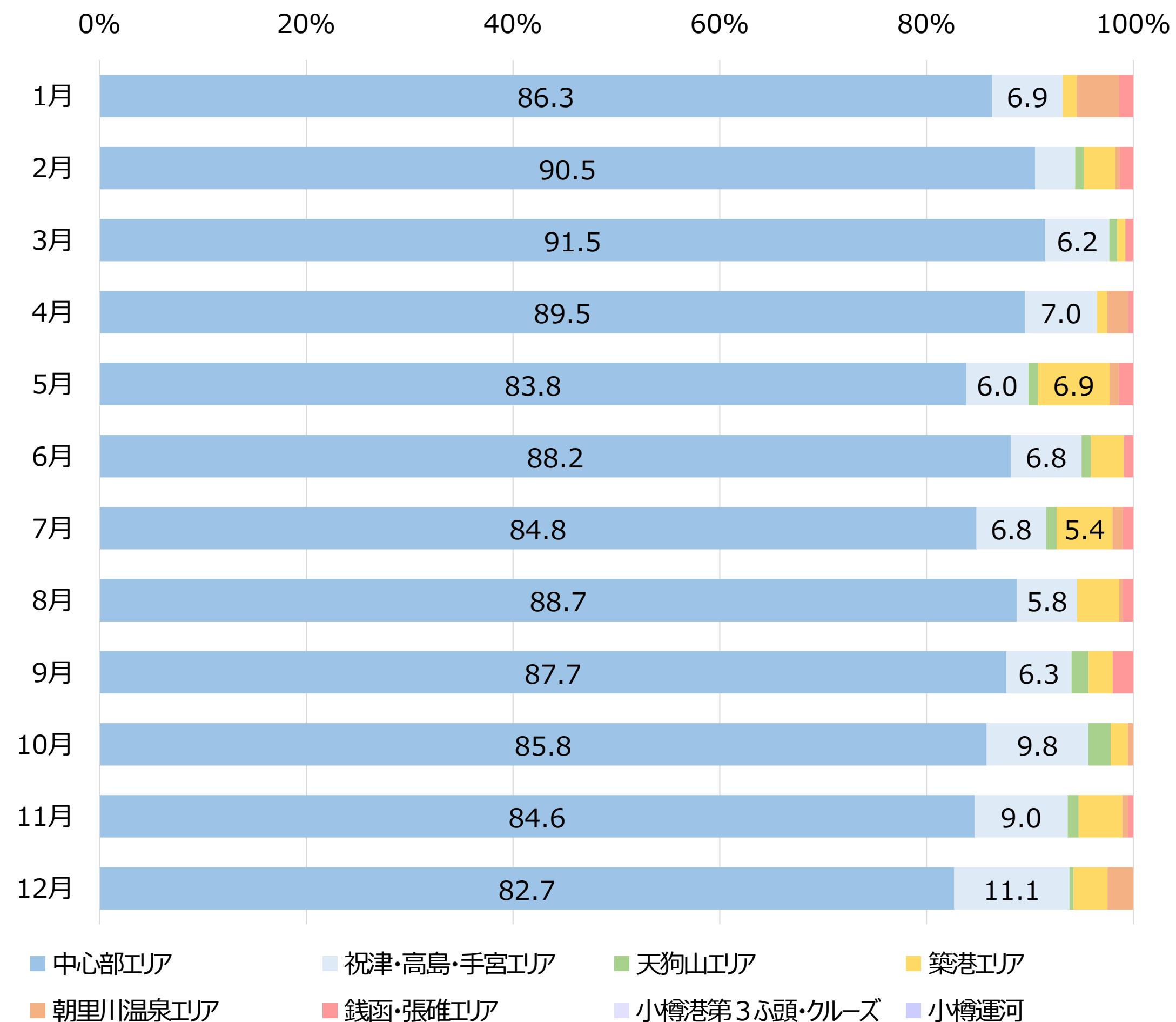


小樽運河来訪者の周遊先分布

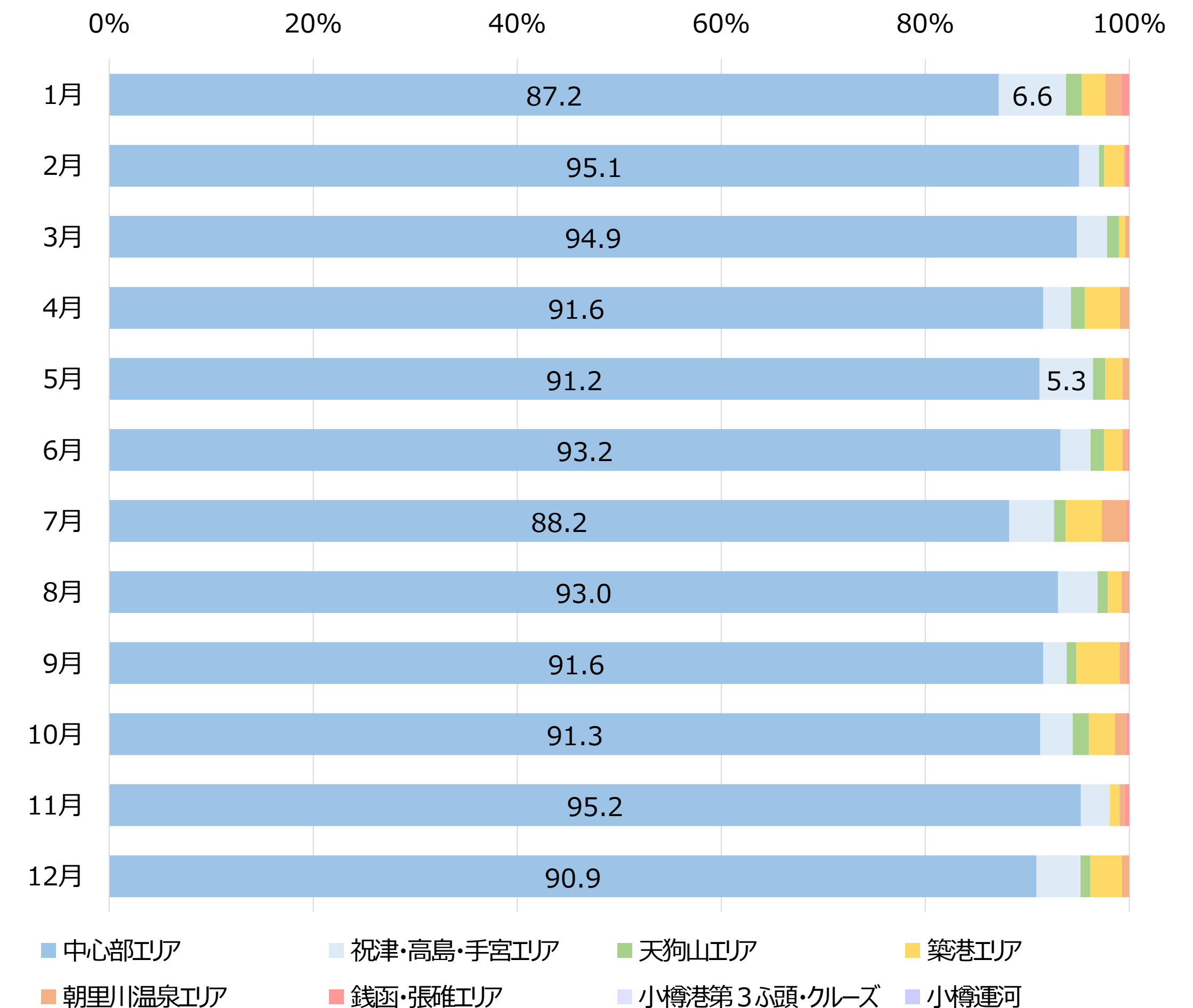
- 道内客・道外客とも、一年を通して中心部エリアとの周遊が圧倒的に多い。
- 道内客は、5月・7月は築港エリアとの周遊、12月は祝津・高島・手宮エリアとの周遊が比較的多くなる。

● 周遊先分布 〈小樽市内〉

【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】

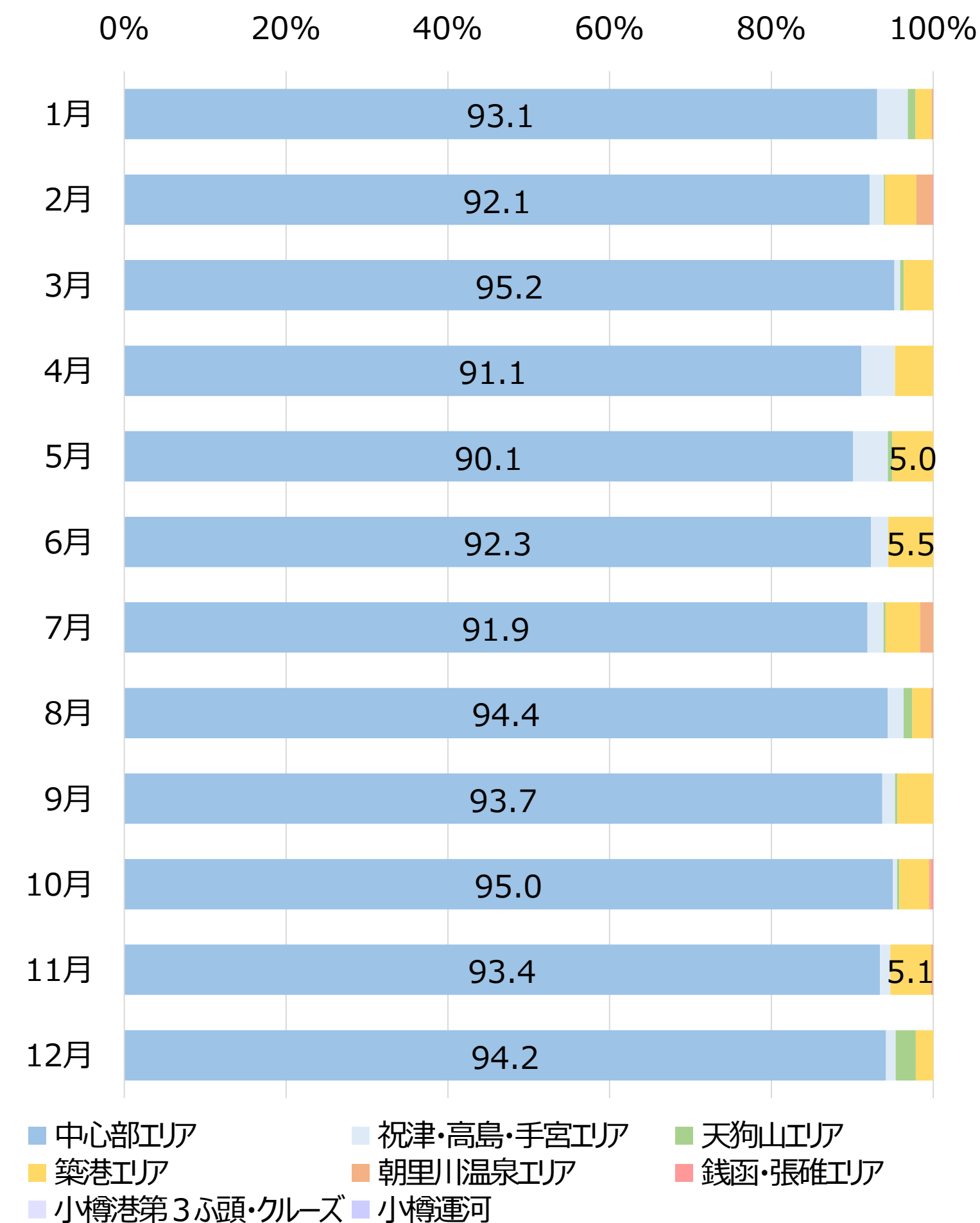


小樽運河来訪者の周遊先分布

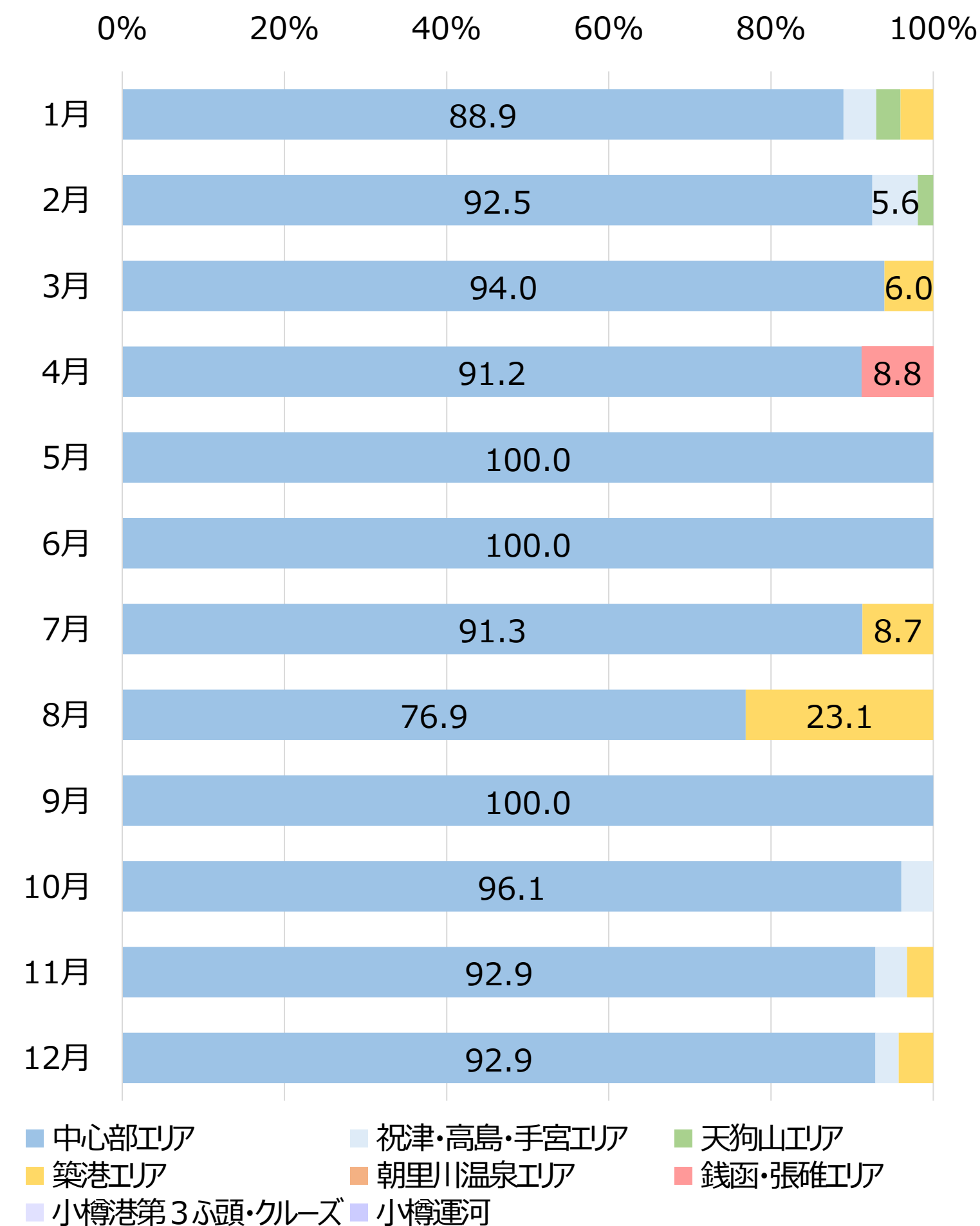
- 各市場とも、一年を通して中心部エリアとの周遊が多い。
- 東南アジアの8月は築港エリアとの周遊、欧米豪の1月は天狗山エリアとの周遊が比較的多くなる。

● 周遊先分布 〈小樽市内〉

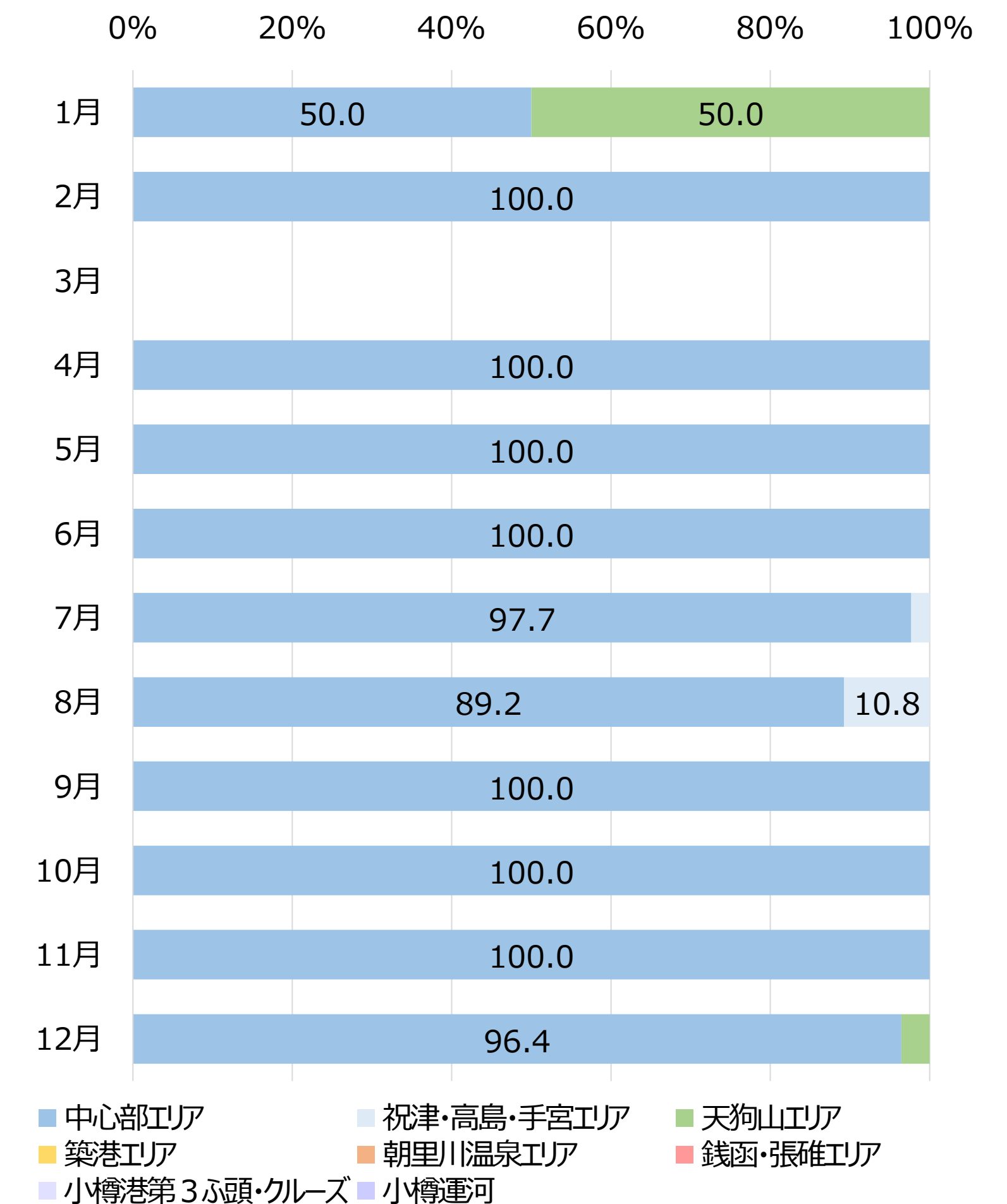
【東アジア】



【東南アジア】



【欧米豪】

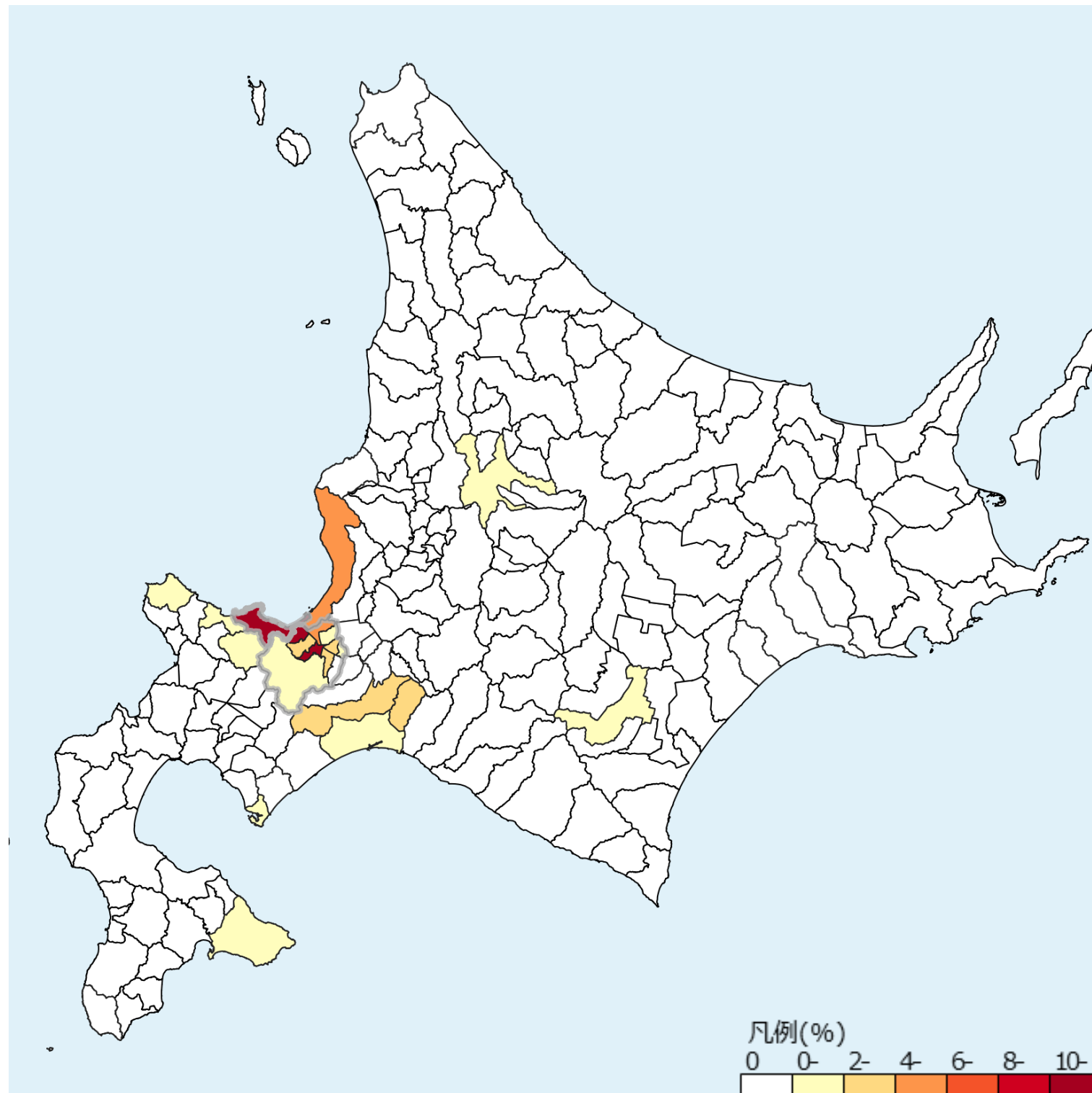


第3 ふ頭〈クルーズ〉来訪者の周遊先分布（2024年）

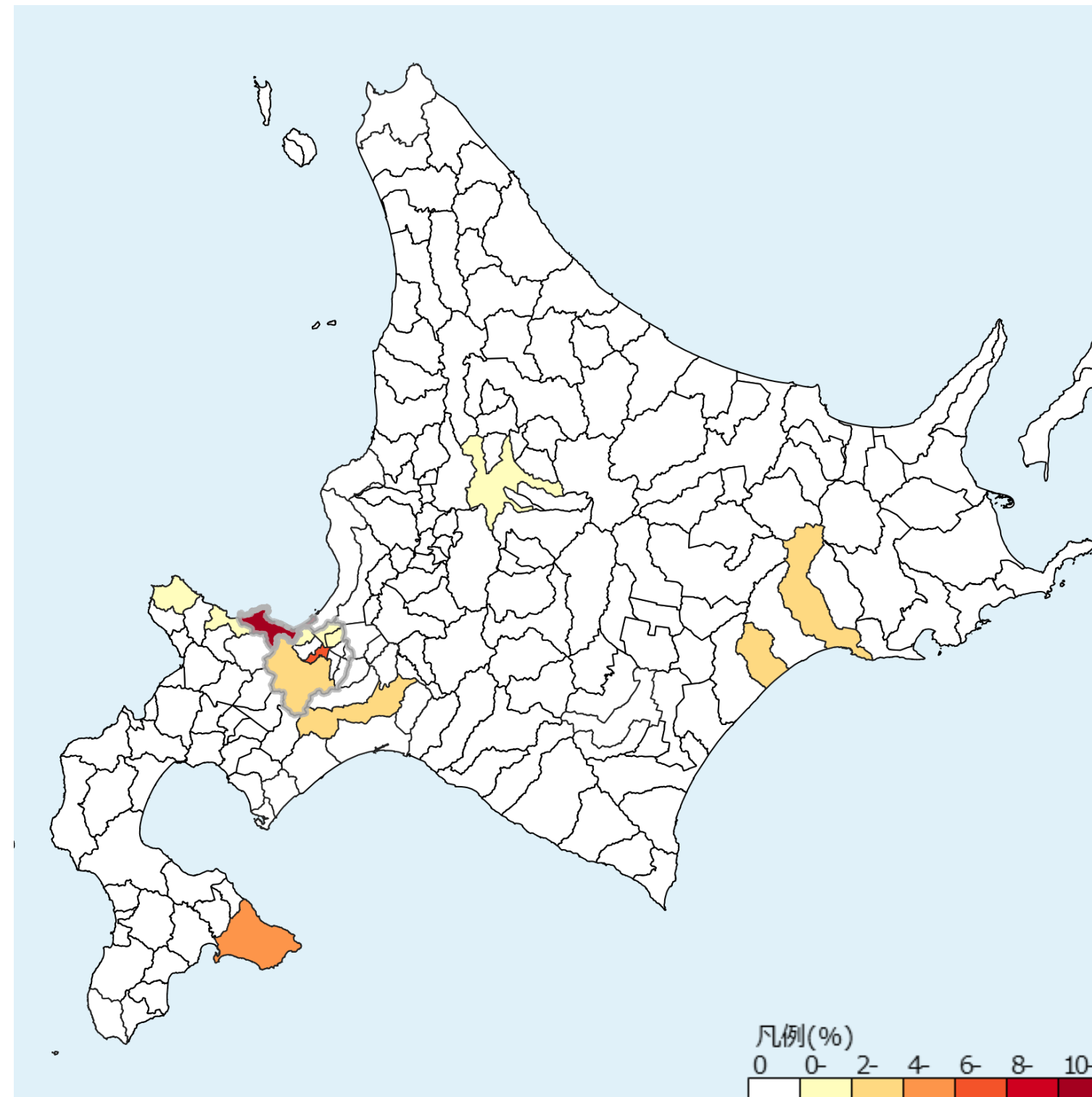
- 道内客の周遊先は、小樽市内のほか札幌市中央区・札幌市手稲区が多く、道外客は小樽市内のほか札幌市中央区・函館が多い。
- インバウンドの周遊先は、小樽市内のほか函館・札幌市南区・札幌市厚別区が多い。

● 周遊先分布 〈全道、2024年4～12月〉

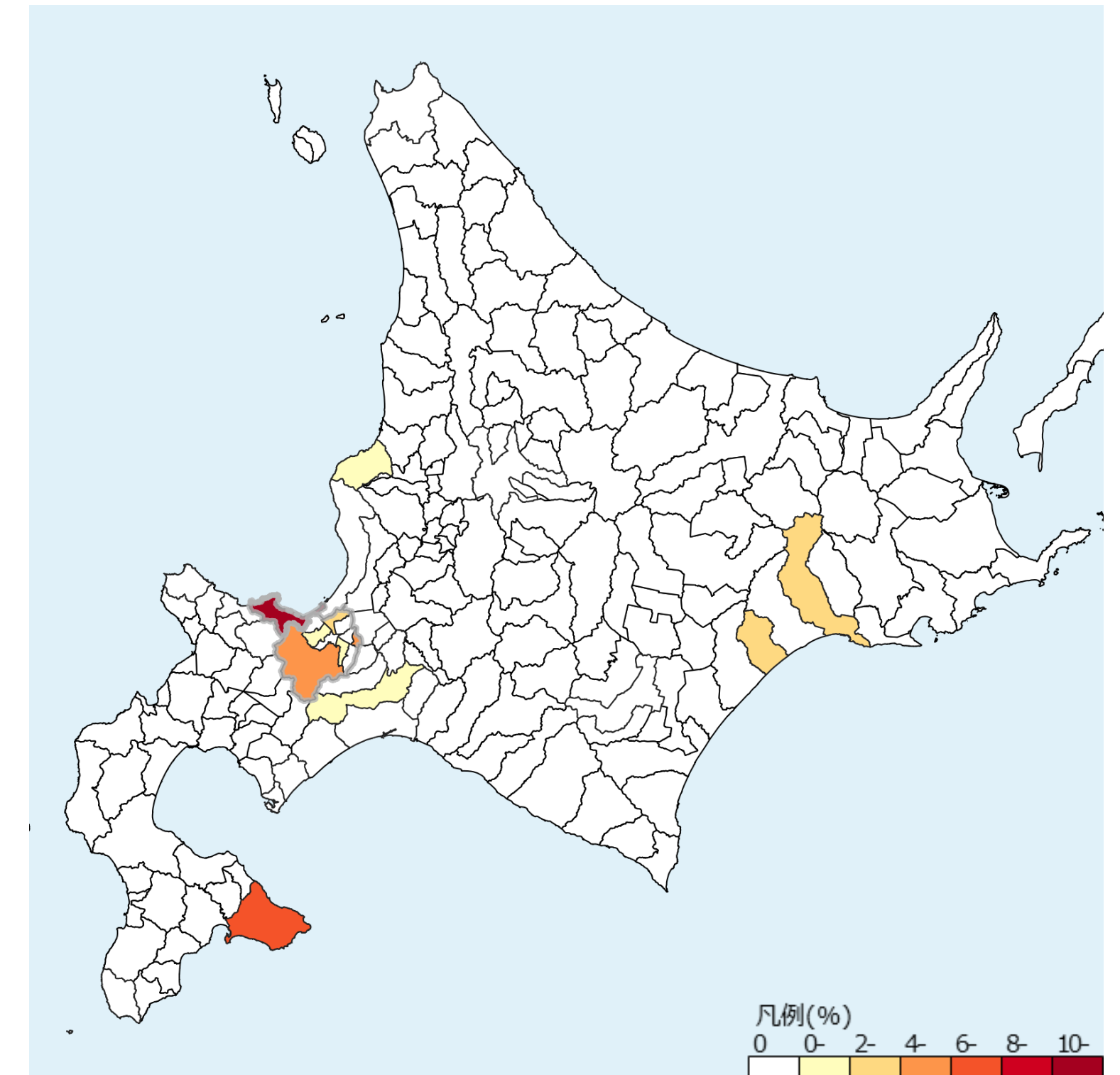
【道内客】



【道外客】



【インバウンド】

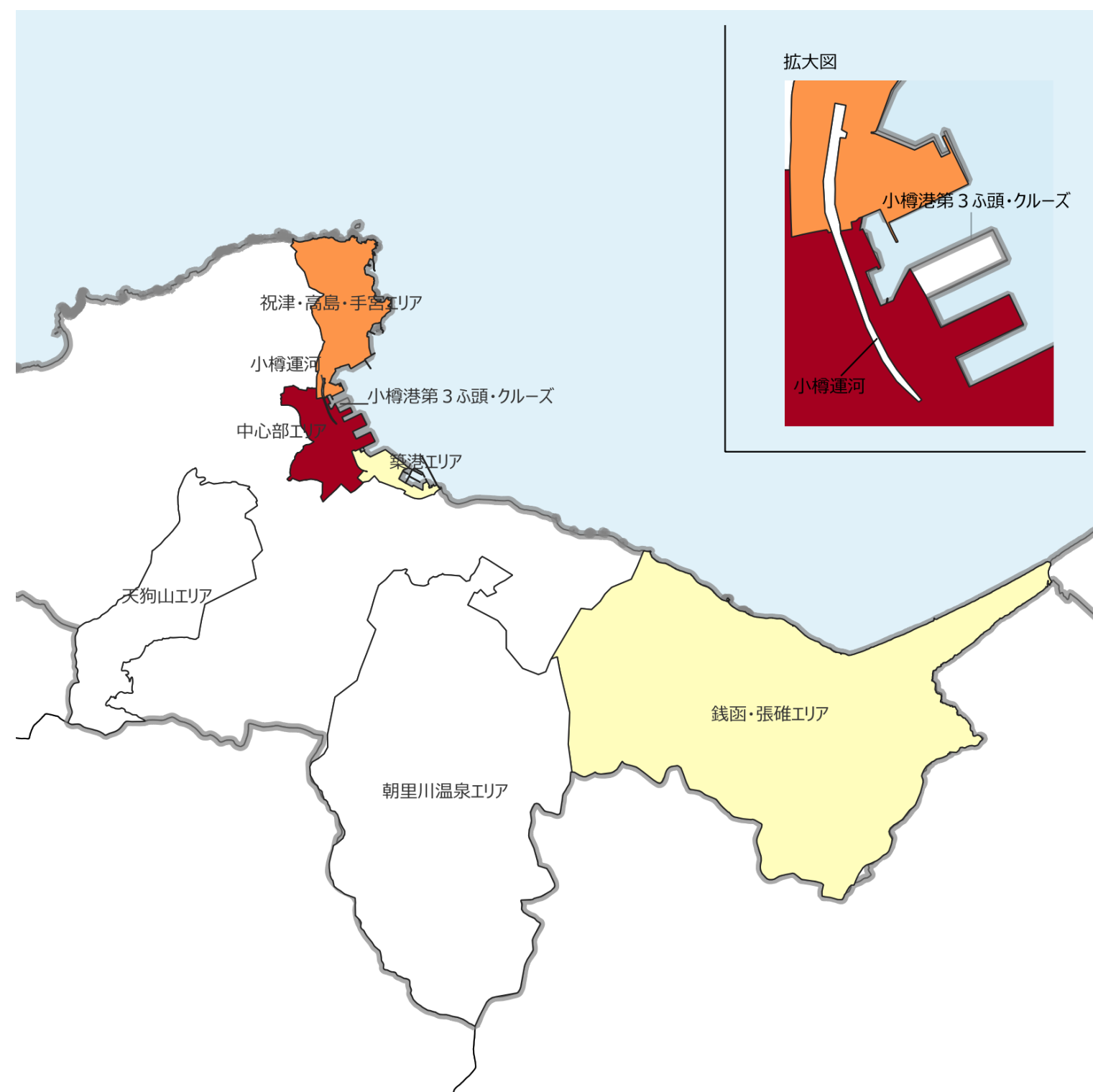


第3 ふ頭〈クルーズ〉来訪者の周遊先分布（2024年）

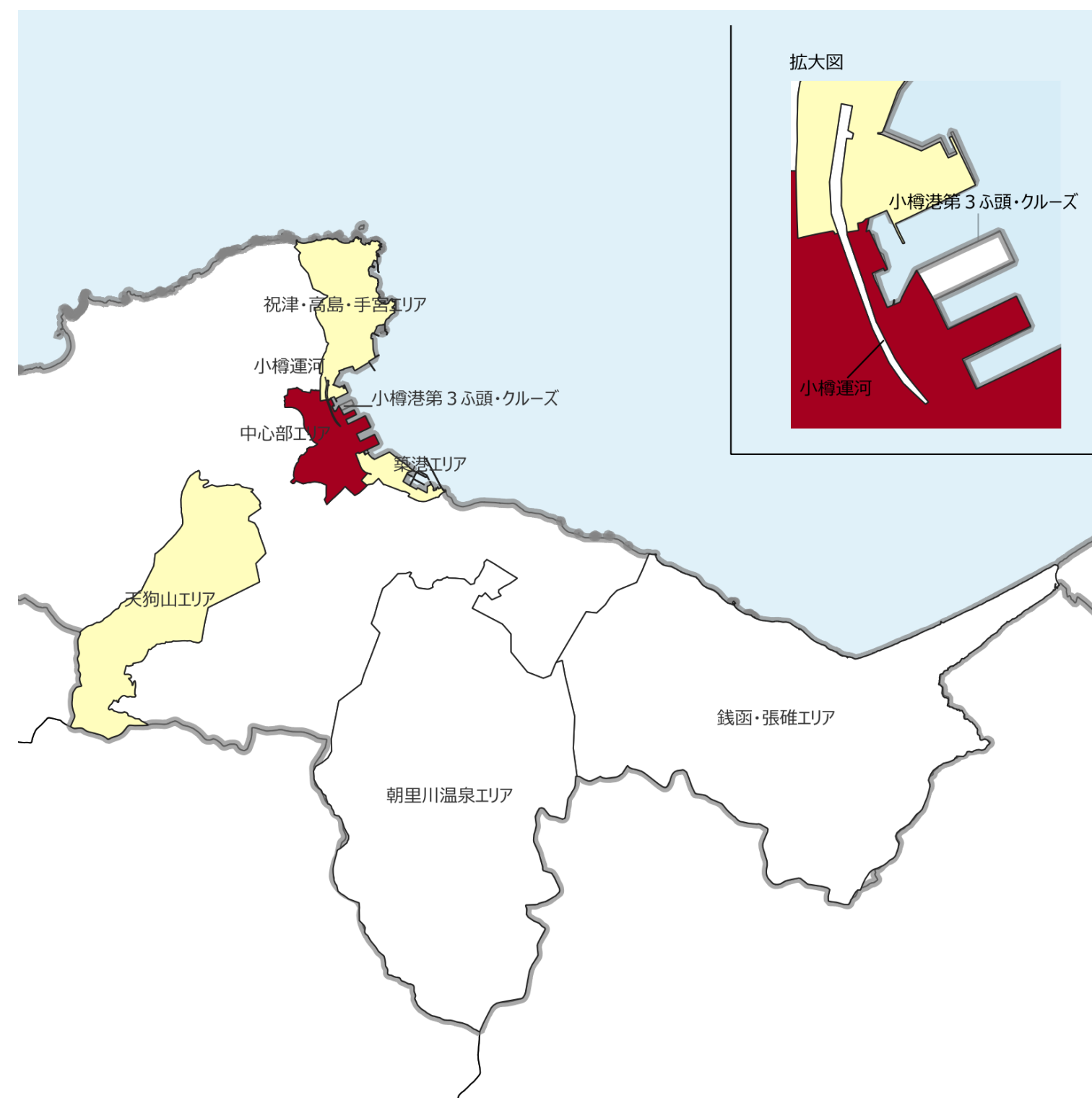
- 小樽市内における周遊先は、道内客・道外客・インバウンドともに中心部エリアが特に多く、道内客・インバウンドにおいては次いで祝津・高島・手宮エリアが多い。道内客は銭函・張碓エリアへの周遊も見受けられる。

● 周遊先分布 〈小樽市内エリア別、2024年4～12月〉

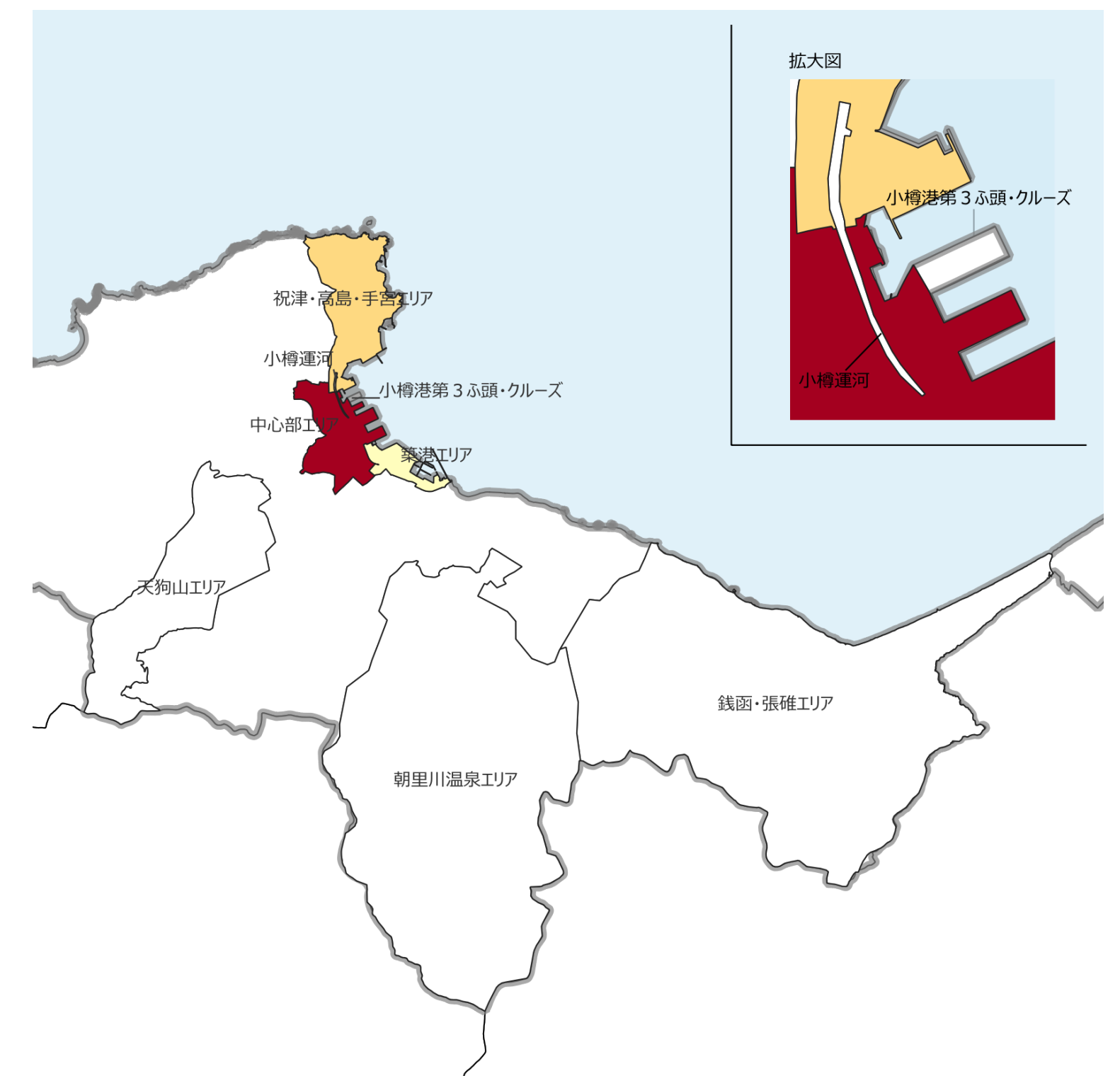
【道内客】



【道外客】



【インバウンド】



まとめ：小樽市インバウンド観光の概況（2024年）

観点	全域	エリア別
入込客数・居住国	➤ 総数では、8月・7月の来訪が多く、6月・4月は落ち込む ➤ 国別では、1月～4月・12月は台湾が最多、5月～11月は韓国が最多	➤ 小樽運河では冬季に、祝津・高島・手宮エリアでは一年を通して香港・タイが目立つ ➤ 天狗山エリアでは、総数で12月・8月の来訪が多く、割合では他のエリアに比べ台湾・香港が多い ➤ 朝里川温泉エリアでは、総数で12月・2月の来訪が多く、割合では韓国が一年を通して最多 ➤ 銭函・張碓エリアでは、総数で8月の来訪が顕著に多い ➤ クルーズでは、韓国が最多、次いでフィリピン・台湾が多い
来訪時間帯	➤ 日本人に比べて、9～14時台に来訪が集中 ➤ 東アジア居住者は、5月・7月・10月・12月が9～11時台、それ以外の月は12～14時台がピーク	➤ 中心部エリアでは、12～14時台にピーク ➤ 小樽運河でも、6月を除き12～14時台にピーク ➤ 天狗山エリアでは、12月を除き15～20時台にピーク ➤ 4月・6月は、来訪時間帯が比較的分散
滞在時間・宿泊数	➤ 東アジア居住者は、道外客に比べて滞在時間・市内宿泊数ともに少なく、短期滞在傾向 ➤ 東南アジア・欧米豪居住者は、滞在時間が東アジア居住者よりも長い傾向にあるが、3月・6月・9～11月は落ち込む	➤ 宿泊地である朝里川温泉エリアのほか、銭函・張碓エリアでも滞在時間が長い傾向にあり、特殊需要がうかがえる
周遊先	➤ 東アジア居住者は、札幌のほか千歳との周遊が特に多く、次いで洞爺湖・登別が多い ➤ 東南アジア居住者は、札幌のほか、2月・12月は赤井川、7月は余市、10月は千歳との周遊が特に多い ➤ 欧米豪居住者は、札幌のほか、2月・11月は登別、5月は函館、7月は江別、10月は上川との周遊が特に多い	➤ 中心部エリアの東アジア居住者では、築港エリアや小樽運河との周遊が多い ➤ クルーズでは、市外は函館・札幌との周遊、市内は中心部エリアとの周遊が多い

まとめ：本業務の成果、次年度に向けて

観点（業務目的）	本業務の成果（達成状況）	次年度に向けて（課題や展望）
(1) 小樽市では、昭和35年度から観光入込客数調査を実施しているが、外国人の日帰り客数や観光客の移動等については把握していない。また、適時性・迅速性に欠け、調査協力施設等（観光地点）の確保が難しいといった課題がある。	➤ GPS人流データの活用により、外国人を含む居住地別の分析、滞在時間や宿泊数の分析、周遊先の分析を実現した。 ➤ 既存統計調査に比べ、迅速なデータ提供を実現した。 ➤ 人流データの調査対象エリアとして設定することで、各観光地等の協力を得ずとも、また従来調査が困難であった屋外エリアであっても各種調査を可能とした。	➤ 2025年になり、オーバーツーリズムが俄かに小樽市の社会問題となったことから、本業務で定義したような「エリア別」のほか、細かい「メッシュ別」での分析も行うことが有効である（→参考③）。 ➤ エリアやメッシュが細くなり個別の観光地とほぼ同義になる場合、当該観光地において収集しているデータを提供いただくことで、人流データ分析の精度を向上させることができる。
(2) 外国人観光客が増加するなど小樽観光を取り巻く状況は変化しており、データ分析に基づく「打ち手」を検討する必要があることから、本業務においては、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準（令和5年改訂版）」の調査要領に準じ、GPS人流データを活用し多サンプルに基づく来訪者（国内・外国人）の把握を目的とする。	➤ GPS人流データの活用により、多サンプルに基づく来訪者（国内・外国人）の把握を実現した。 ➤ 観光動態に係る多様な情報を、エリア別に可視化・提供することにより、オーバーツーリズムの実態（繁閑傾向）など、観光関連事業者等による「打ち手」実行に資する情報を提供した。	➤ 本業務で使用した人流データでは中国人が捕捉対象外であったことから、自己申告であっても中国人を捕捉可能なデータを併用することも検討しうる。 ➤ 観光関連事業者等のニーズに応じたエリア設定の見直しを図ることが、より有益な情報提供に繋がると考えられる。 ➤ 分析結果をふまえた、観光関連事業者等に対する具体の「打ち手」の実行支援や成功体験の獲得とその周知が、データドリブンマーケティングやEBPMの全市的波及に繋がると考えられる。
(3) また、小樽市がこれまで実施してきた観光入込客数調査をGPS人流データを使用した調査に切り替える場合の両者の結果の違いの傾向を把握するとともに、GPS人流データを用いる際の観光入込客の定義や、観光入込客の移動元・移動先分布に係るデータ取得のあり方、観光消費額算定上の観光入込客数（実人数）把握のあり方についての検討も併せて行うことを目的とする。	➤ 既存統計調査と人流データ調査による結果の違いの傾向を把握した（→参考①）。 ➤ 観光入込客の定義をはじめ、人流データの活用に伴い検討が必要な事項について整理のうえ、集計を進めた（→参考②）。	➤ 観光地の特性（小樽運河、クルーズ、商店街等）に応じた観光客の捕捉や定義の方法については、継続した検討を要する。 ➤ 観光消費額算定にあたっては、居住地別に消費単価が異なると想定されることから、人流データ分析で得られた居住地別の入込客数を有効に活用できると期待される。なお、消費単価についても、決済データ等で居住地別に把握することが望ましい。

参考①：既存統計調査との比較

● 人流データによる入込客数・宿泊客数（再掲）

エリア	項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
小樽市全域	観光入込客数	592,513	664,042	549,240	431,169	531,715	633,254	764,602	826,114	658,581	680,940	489,755	763,546	7,585,471
小樽市全域	うち道内	416,719	497,804	380,726	293,194	367,638	480,065	533,240	566,533	456,696	472,713	343,860	543,990	5,353,177
小樽市全域	うち道外(外国人含む)	175,795	166,238	168,514	137,975	164,077	153,189	231,362	259,581	201,885	208,227	145,895	219,557	2,232,294
小樽市全域	うち外国人	106,893	103,775	106,953	82,631	93,596	73,283	152,393	173,698	128,346	119,568	92,152	141,229	1,374,518

エリア	項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
小樽市全域	宿泊客数	67,764	69,826	60,361	53,086	70,332	75,584	87,043	100,479	84,288	71,919	61,606	74,896	877,184
小樽市全域	うち道内	21,457	24,840	24,311	20,848	32,316	33,261	24,150	28,603	24,963	27,448	21,473	25,019	308,689
小樽市全域	うち道外	14,860	13,974	17,213	15,091	21,553	20,399	17,276	21,906	18,844	19,393	14,109	16,352	210,971
小樽市全域	うち外国人	31,447	31,012	18,838	17,147	16,464	21,924	45,617	49,971	40,480	25,078	26,023	33,524	357,524

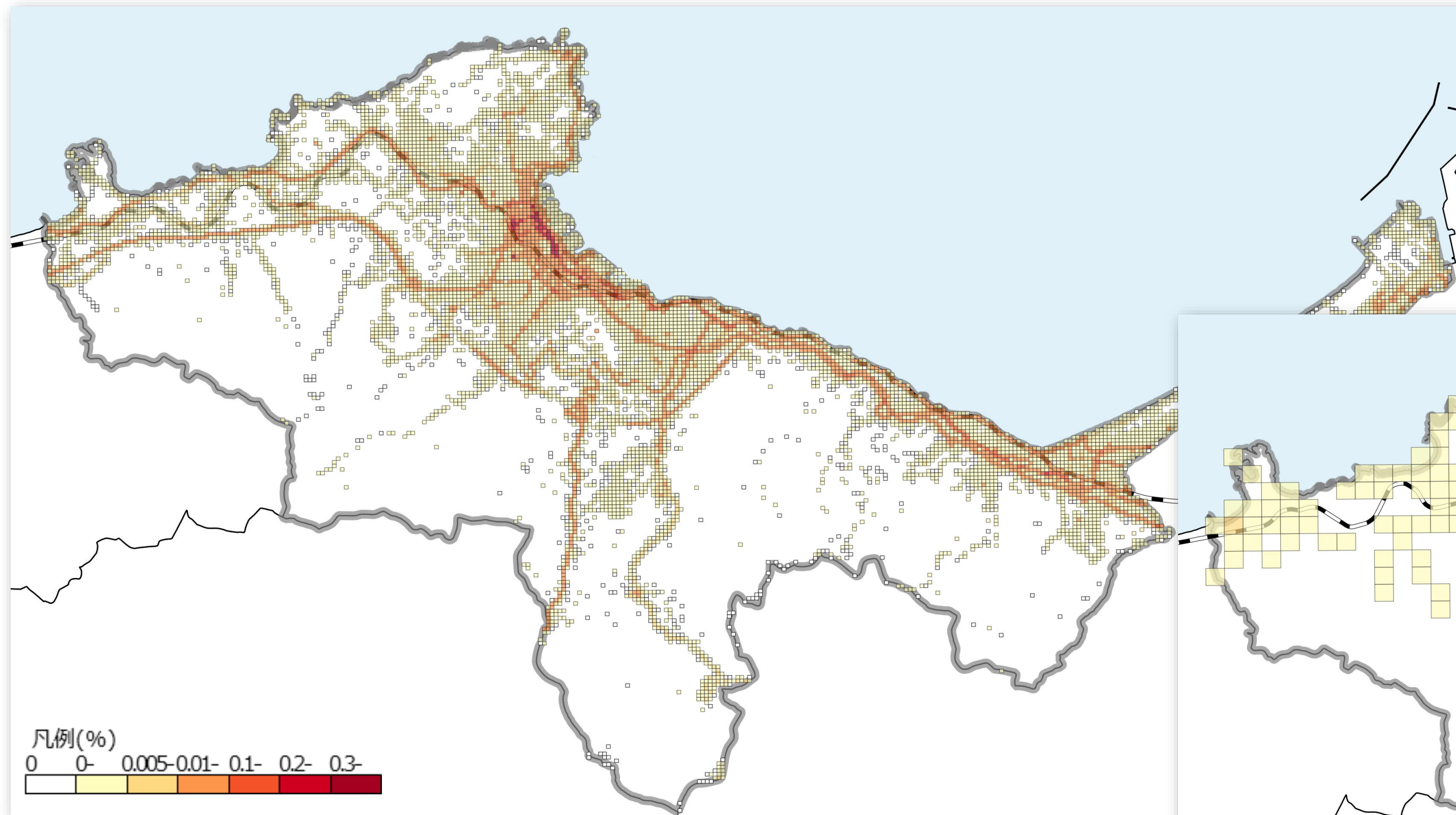
● 人流データと既存統計調査との比較 ※後者公表済みの9月までで比較

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
人流データによる観光入込客数	592,513	664,042	549,240	431,169	531,715	633,254	764,602	826,114	658,581	-	-	-	5,651,231
既存調査による観光入込客数	665,500	799,100	661,600	431,500	515,700	680,900	795,900	858,500	680,600	-	-	-	6,089,300
乖離率（ 人流データ/既存調査-1 ）	11.0%	16.9%	17.0%	0.1%	3.1%	7.0%	3.9%	3.8%	3.2%	-	-	-	7.2%
人流データによる宿泊客数	67,764	69,826	60,361	53,086	70,332	75,584	87,043	100,479	84,288	-	-	-	668,764
既存調査による宿泊客数	71,000	76,600	63,100	48,700	63,800	81,100	99,400	107,900	89,400	-	-	-	701,000
乖離率（ 人流データ/既存調査-1 ）	4.6%	8.8%	4.3%	9.0%	10.2%	6.8%	12.4%	6.9%	5.7%	-	-	-	4.6%

項 目	内 容
「（日本人）観光客」の定義について	日本人全体から、小樽市民のほか、小樽市に月6回以上来訪している人※および小樽市内が通勤/通学先と判定されている人を除いたもの。 ※「観光入込客統計に関する共通基準（令和5年改訂版）」（以下「共通基準」という）の定義に基づく。
インバウンドの捕捉について	国家体制上、中国人の位置情報は捕捉することができないため、以下の方法で人数の補完を行っている。 ①新千歳空港の出入国管理統計から、「中国人」と「台湾人＋香港人＋韓国人」の比率を算出。 ②人流データにおける「台湾人＋香港人＋韓国人」の合算値に上記比率を掛け合わせ、「中国人」の人数を補完。 ※中国人のほかロシア人の位置情報も捕捉することができないが、統計上無視できる状況にある（新千歳空港の入管統計で約2.5人/日）。
拡大推計について	主に、国別のサンプル率（日本人・インバウンド）、人口統計（日本人）、出入国管理統計（インバウンド）により、国別の拡大推計を実施している（いずれも詳細は非公開）。 なお、拡大推計も含め本頁記載の各種ロジックは、同一業務内で変更されるものではなく、安定性を確保している。
滞在判定について	15分以上 同一の500mメッシュに位置情報が存在した場合に「滞在」、それ以外を「移動」と判定している。 なお、エリアが狭域である小樽運河に限り、5分以上 エリア内に位置情報が存在した場合に「滞在」、それ以外を「移動」と判定している。
宿泊地/居住地判定について	午前2-3時台に最も多く滞在していた地点を宿泊地、数か月間に最も多く滞在していた宿泊地を居住地と判定している。 ※共通基準では「午前4時に滞在していた地点を宿泊地とみなす」としているが、午前4時ちょうどに位置情報を捕捉できるとは限らないため。
交通手段判定について	位置情報の「移動ルート」と「移動速度」により判定を行っており、JR/クルーズ/自動車/徒歩 の4つに分類される。 なお、自転車については走行速度に幅があることから、10km/hを閾値として自動車または徒歩に振り分けている。
個人情報保護について	位置情報から個人が特定されないよう、緯度経度がずらされて記録されることがある。 また、同様の観点から一定の閾値を下回ったデータは秘匿されるが、その可能性は分析項目により異なる。 インバウンドの一例として、「居住地」は国のみで細分化されており秘匿可能性が比較的低いが、「来訪時間帯×周遊先分布」は、国・時間帯・周遊先の掛け合わせとなるため秘匿可能性が高くなる。

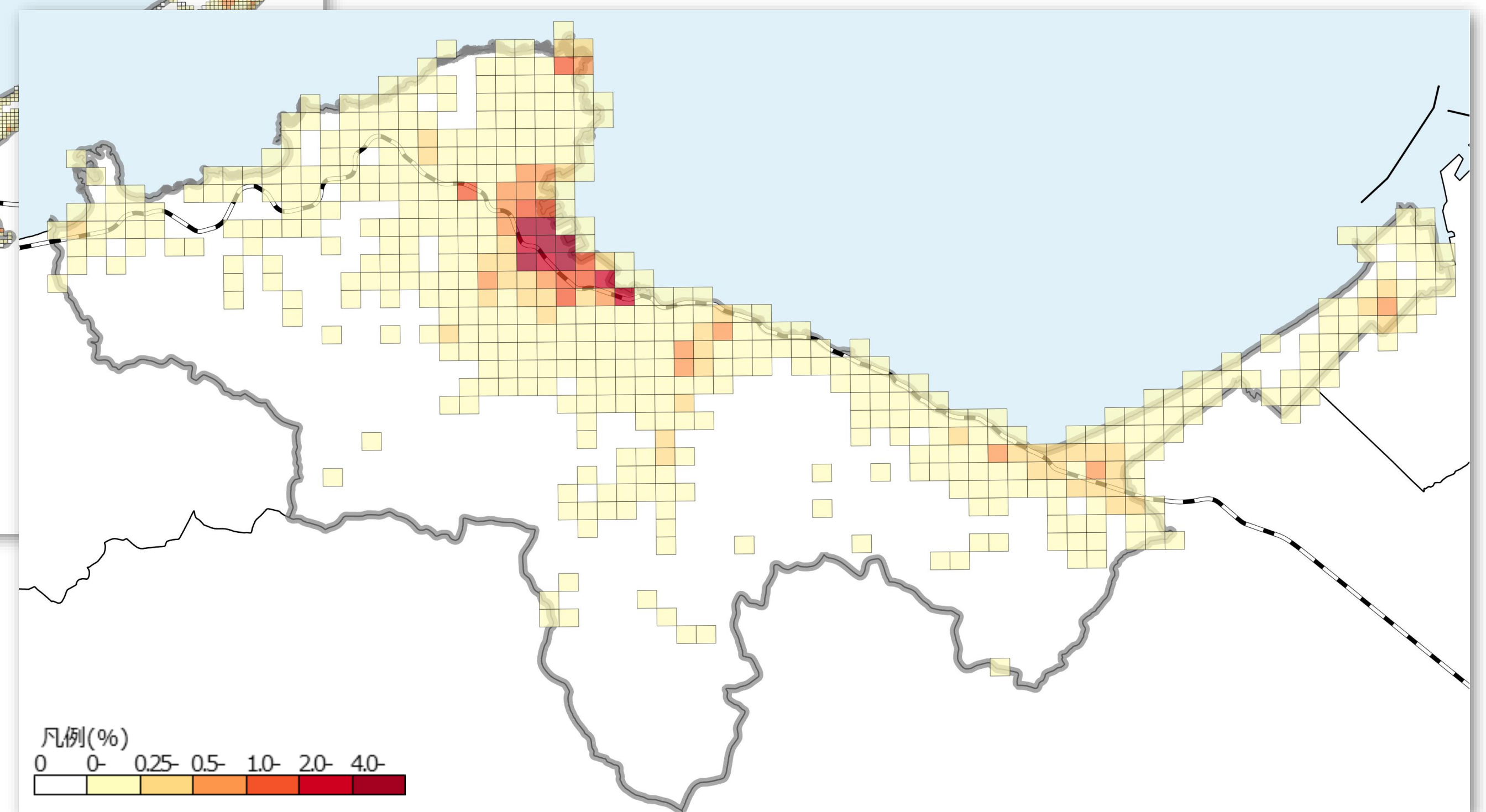
参考③：メッシュ別分析のイメージ

- メッシュ単位での分析を月別・日別・時間帯別・居住地別などの観点で行うことにより、オーバーツーリズムの実態を細密に把握することが可能となる。



↑ 100mメッシュ単位のヒートマップ

500mメッシュ単位のヒートマップ →



➤ 2024年1～12月の1か月毎およびゴールデンウィークの計13回の報告や本資料による総括のほか、以下の会議対応を行った。

会議名	開催日・場所	対応事項
① DMO形成連絡会議	2024年7月22日 @いなきたコミュニティセンター	本業務の実施概要の報告
② 小樽商工会議所 国際・観光委員会	2025年2月 7日 @小樽経済センター	本業務の成果概要（中間版）の報告
③ オーバーツーリズム対策連絡協議会	2025年2月10日 @小樽市役所	2024年春節連休期間における 日別インバウンド入込データの提供
④ DMOマーケティング部会・地域部会	2025年3月19日 @小樽文学館	本業務の成果概要の報告



上記②の様子



上記④の様子



上記④の様子